
中津川市

Nakatsugawa city Comprehensive plan

総合計画

2027-2036



中津川市

Nakatsugawa City

市長あいさつ

現在、当市を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の影響による人口減少の急速な進行や、想定外の災害発生などにより、将来の予測がますます困難になっています。

その中であっても、私たちは未来のこどもたちのために、将来にわたって持続可能でより豊かな中津川市を引き継いでいく責任があります。

そのため、令和9年度を始期とし、今後10年間にわたるまちづくりの指針として、この中津川市総合計画を策定しました。

現在整備が進められているリニア中央新幹線は、中津川市と大都市圏を直接結び、国内外のさまざまな地域への往来が短時間で可能となる新たな交通インフラです。ビジネスや観光の活性化だけでなく、二地域居住など多様なライフスタイルの可能性を生み出し、まちと私たちの暮らしに大きな変化をもたらします。

未来にむけたまちづくりを進めていくにあたり、これから大きく変わっていくまちと私たちの暮らしへの期待を込めて、市民一人ひとりが主役となり、「笑顔」と「ワクワク」にあふれる10年後の中津川市の都市像を「ワンダフル ウッズ ~ワクワクする森 なかつがわ~」としました。

この総合計画の基本構想・基本計画に定めた中津川市が目指すまちづくりに向けて、これから市民の皆さまとともに具体的な取り組みを考え、実行していくことで、中津川市ならではの魅力をさらに高めていきます。

市民の皆さまが心豊かに、笑顔で暮らし、中津川市を訪れる人々が期待感で心を弾ませるような未来に向け、全力でまちづくりを進めてまいります。

令和8年1月

中津川市長 小栗 仁志



目次

第1編 基本構想	3
第1章 総合計画策定について	4
1-1 計画策定の目的と役割	4
1-2 計画の構成と期間	4
第2章 社会情勢と中津川市の現状	5
2-1 時代の潮流	5
2-2 中津川市の姿	7
第3章 中津川市の特徴・課題	9
3-1 市民意向調査	9
3-2 前計画の評価・検証	13
第4章 課題の整理	14
第5章 目指すべき将来都市像	16
5-1 まちづくりの方向性と将来都市像	16
5-2 人口の将来展望	17
第6章 政策	19
6-1 分野ごとの政策	19
6-2 政策の方向性	20
第7章 土地利用構想	35
7-1 基本的な考え方	35
7-2 土地利用の方針	35
第2編 基本計画-前期	37
第1章 基本計画の概要	38
1-1 計画の概要	38
1-2 基本となる施策と重点的に取り組む施策	38
1-3 計画の期間、目標年次と数値目標	39
1-4 計画の体系	40
第2章 重点施策	42
2-1 重点的に取り組むべき課題	42
2-2 重点施策の目指すところ	43
2-3 重点施策の取り組み	44
2-4 重点指標	45
第3章 基本施策	46
政策1 心身共にたくましい子を育てるまちづくり	48
政策2 住み慣れた地域で、自分らしく健やかに安心して暮らせるまちづくり	53
政策3 さまざまな人々が尊重し合い、共に活躍できるまちづくり	57
政策4 人々が学びや活動を通して、いきいきと暮らすことができるまちづくり	63

政策5	支えあい、安全・安心に暮らせるまちづくり	69
政策6	恵まれた自然を守り、生かすまちづくり	73
政策7	商工業や観光業などが活発で、市内に活気があるまちづくり	78
政策8	恵まれた資源を活用し、さまざまな産業が活発なまちづくり	86
政策9	計画的に整備されたまちの中で、快適に暮らせるまちづくり	92
政策10	持続可能で安定した行政サービスが受けられるまちづくり	100
第4章	計画推進のために	105
4-1	計画の評価・検証	105
4-2	絶え間ない事業の改善	105
4-3	新しい時代の流れの活用	105
4-4	さまざまな連携	105

第 1 編 基本構想

第1章 総合計画策定について

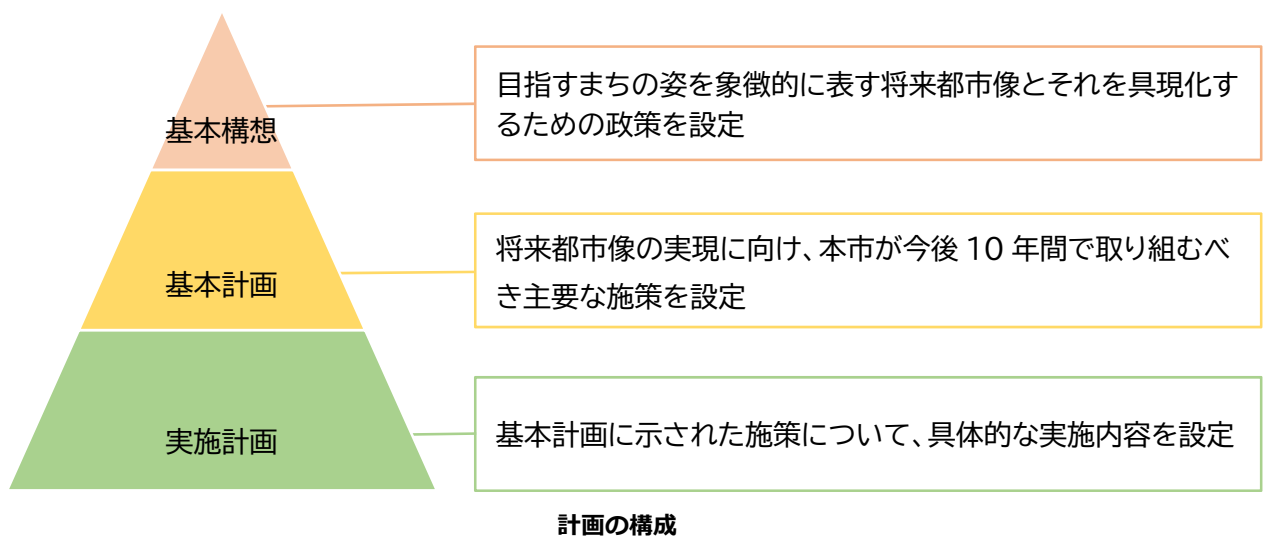
1-1 計画策定の目的と役割

中津川市総合計画は、2027年度から2036年度までの10年間に、中津川市のまちづくりの指針となるものです。長期展望に立って、中津川市の将来都市像と、その実現に向けた道筋を明らかにします。

変化が激しく先が見通せない社会環境の中で、市民が幸せに暮らすことができる中津川市を目指し、計画的にまちづくりを進めていくために本計画を策定します。

1-2 計画の構成と期間

総合計画は、3層の構成とし、10年間を計画期間とします。



計画期間	令和（年度）	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	西暦	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
	基本構想	10年間									
	基本計画	前期5年間					後期5年間				
	実施計画	前期5年間					後期5年間				

計画の期間

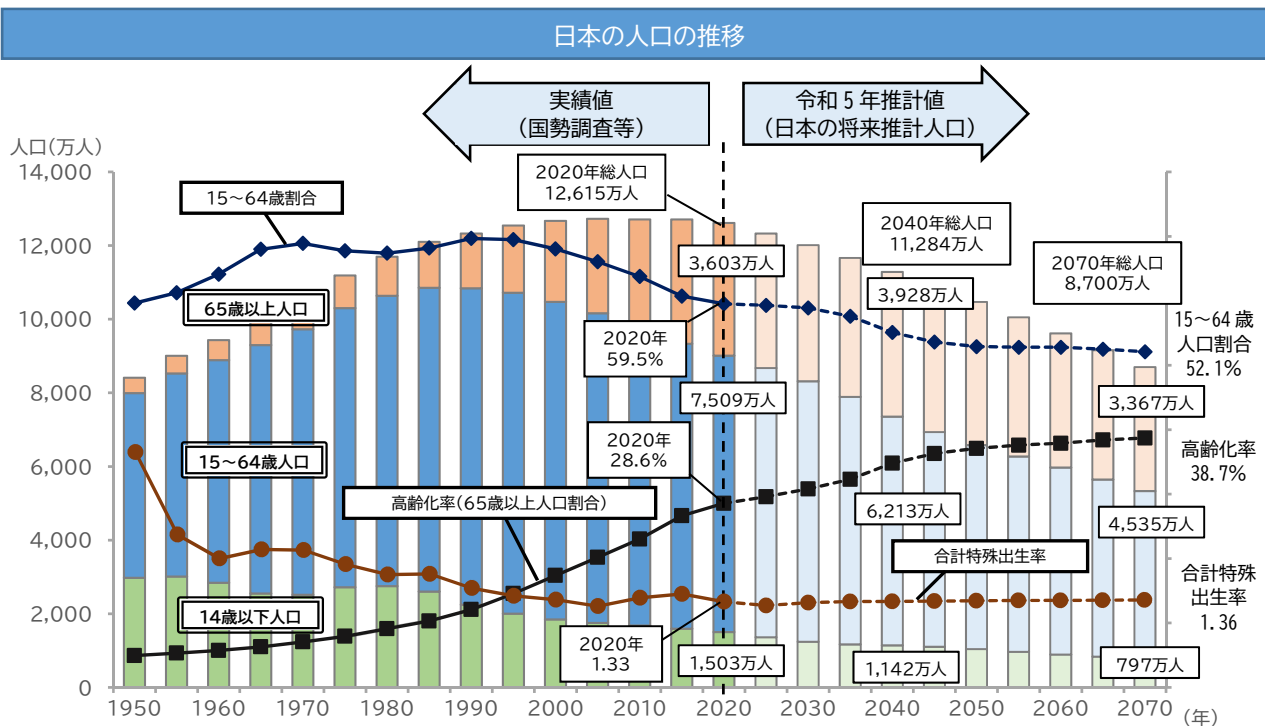
第2章 社会情勢と中津川市の現状

2-1 時代の潮流

(1)人口減少・高齢化

◆続く人口減少と人手不足

日本の人口は2008年をピークに減少に転じ、2070年には9,000万人を割り込むと推計されています。人口減少に伴い、日常生活に不可欠な社会基盤の維持が困難な地域が顕在化、深刻化していくことが想定されます。また、人口減少の進行と合わさって日本の高齢化は今後も急速に進み、生産年齢人口の減少が予測されます。



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

日本の人口推移

(2)持続可能なまちづくりに向けた取り組みの推進



◆SDGs への取り組み

2015年の国連サミットでは「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すため、「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられました。地球規模の環境問題や社会問題が深刻化し、あらゆるものの変化が激しく将来を予測することが困難な時代にあっては、人類の生存と繁栄にとって、持続可能な社会の実現が不可欠です。

◆デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

急速に進展するデジタル技術を背景に、AI の活用などに代表される DX の推進による「どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」、「暮らしに豊かさをもたらす高度情報社会」の実現などが推進されています。

(3)頻発化・激甚化する災害などへの対応

◆地球温暖化に伴う災害リスクの増大と対策強化

近年、地球温暖化に伴う気候変動による風水害や土砂災害が頻発化、激甚化する中、人々の暮らしの安全・安心の確保が重要となっています。災害時には互いに助け合える体制づくりも含め、ハードとソフトが一体となった自助・共助・公助による総合的な災害対策の確立が求められます。

左：「平成 30 年 7 月豪雨」による被害状況（岡山県倉敷市）
右：「令和元年東日本台風」による被害状況（長野県長野市）

出典：国土交通白書



地球温暖化の影響が評価された異常気象による気象災害

(4)多様性と多文化共生の推進

◆多様性の尊重

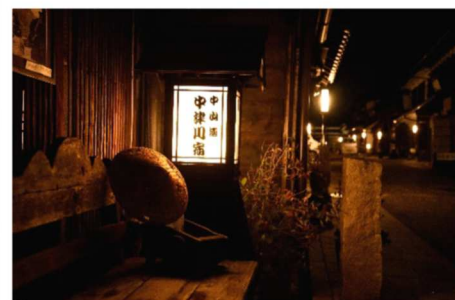
多様性とは、人種や性別にとどまらず、背景や経験、視点を包含する広範なものです。今日においては、異なる文化、信仰、人種、性別、性的指向、年齢、身体的能力、経済的背景など、人々が持つさまざまな側面を認識し、尊重することが求められています。

◆多文化共生

2024 年末の日本国内の在留外国人数は約 377 万人、2024 年 10 月末現在の外国人労働者数は約 230 万人であり、いずれも過去最多を更新しました。少子高齢化の進行による労働者不足に伴い、今後も在留外国人の増加が見込まれる中で、外国人住民と地域住民がお互いの文化や考え方などを理解し、安心して快適に暮らすことのできる地域社会の実現が求められています。

◆インバウンド観光をめぐる動向

2021 年の訪日外国人旅行者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対前年比 94.0%減の 24.6 万人となりましたが、2023 年の水際措置撤廃以降、右肩上がり急回復を遂げています。今後、人口減少が加速する日本の地域経済にとって、インバウンドの増加は地域のにぎわいを取り戻すといった効果が期待できます。このため、観光振興施策を通し、持続可能な魅力ある地域を実現させることが求められています。



2-2 中津川市の姿

(1)中津川市の概要

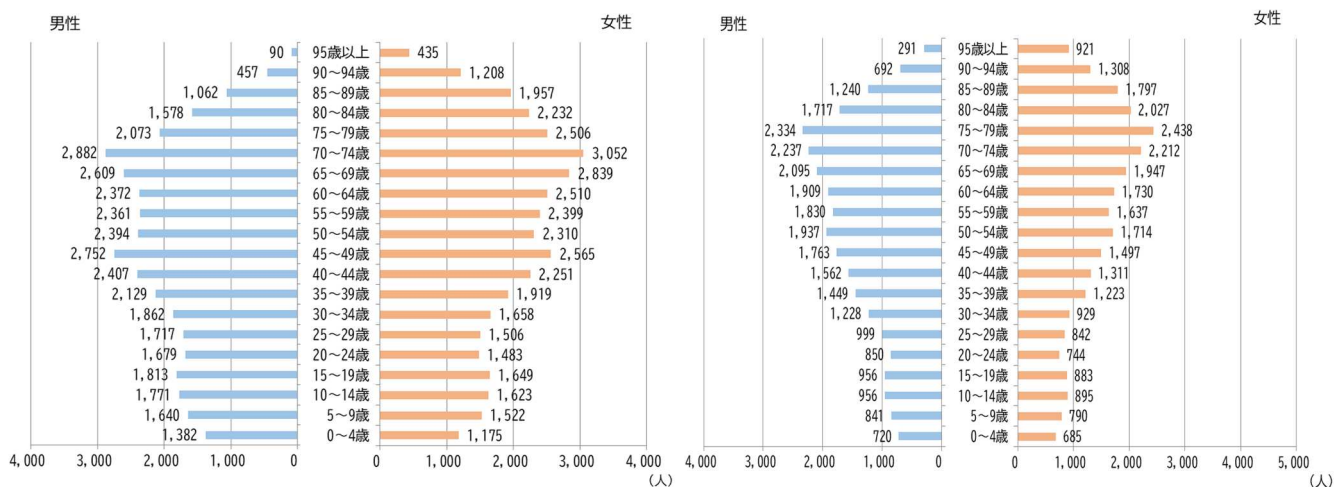
中津川市は、日本列島のほぼ中央にあり、森林と清流とに育まれた自然豊かな市です。市の面積は 676.45 ㎢で、総面積の約 80%を森林が占めています。1952 年 4 月に市制が施行されて以来、周辺町村との合併をくり返し、2005 年 2 月に現在の中津川市が誕生しました。複数の地区で構成されており、豊かな自然、歴史、文化など、それぞれ異なる特性を持っています。

本市は、江戸時代より中山道の宿場町として栄え、鉄道・高速道路などの交通網により都市圏からのアクセス性に恵まれたまちであり、さらに、リニア中央新幹線が開業すると、都市圏と直結し、全国各地だけでなく、世界中とつながるようになります。これは単に交通が便利になるだけでなく、暮らしの幅を広げるとともに、産業の活性化に大きく寄与するものと考えられます。千載一遇のチャンスであるリニア開業をまちづくりにし、その効果を県全域はもとより広域的な周辺地域に行きわたらせる必要があります。

(2)人口推計

2020 年に実施された国勢調査によると、中津川市の人口は 76,570 人でしたが、2023 年 12 月に公表された国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による将来人口推計では、当市の将来人口は 2035 年で 66,022 人、2050 年で 55,136 人になるとされています。

2020 年の年齢別の人口をみると、「団塊の世代」にあたる 70～74 歳でほかの年代より人数が多くなっている一方、就学や就職時における市外流出の影響がある 20～29 歳の年代の人数は男女ともに少なくなっています。また、社人研による 2050 年の年齢別の将来人口推計によると、高齢者の比率が一層高くなっていくことがわかります。



中津川市年齢別人口（2020）

中津川市年齢別人口（2050）

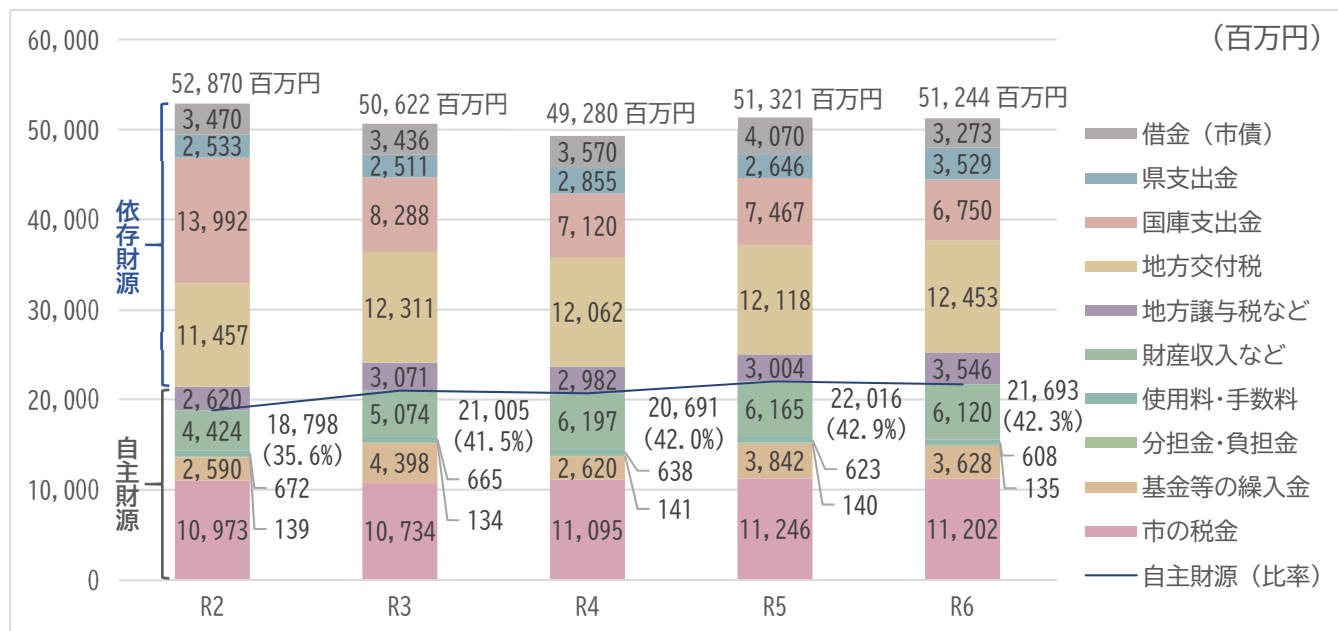
資料：総務省「国勢調査」（2020）
社人研「将来の地域別男女 5 歳階級別人口（10 月 1 日時点の推計人口）（2023）」

(3)財政状況

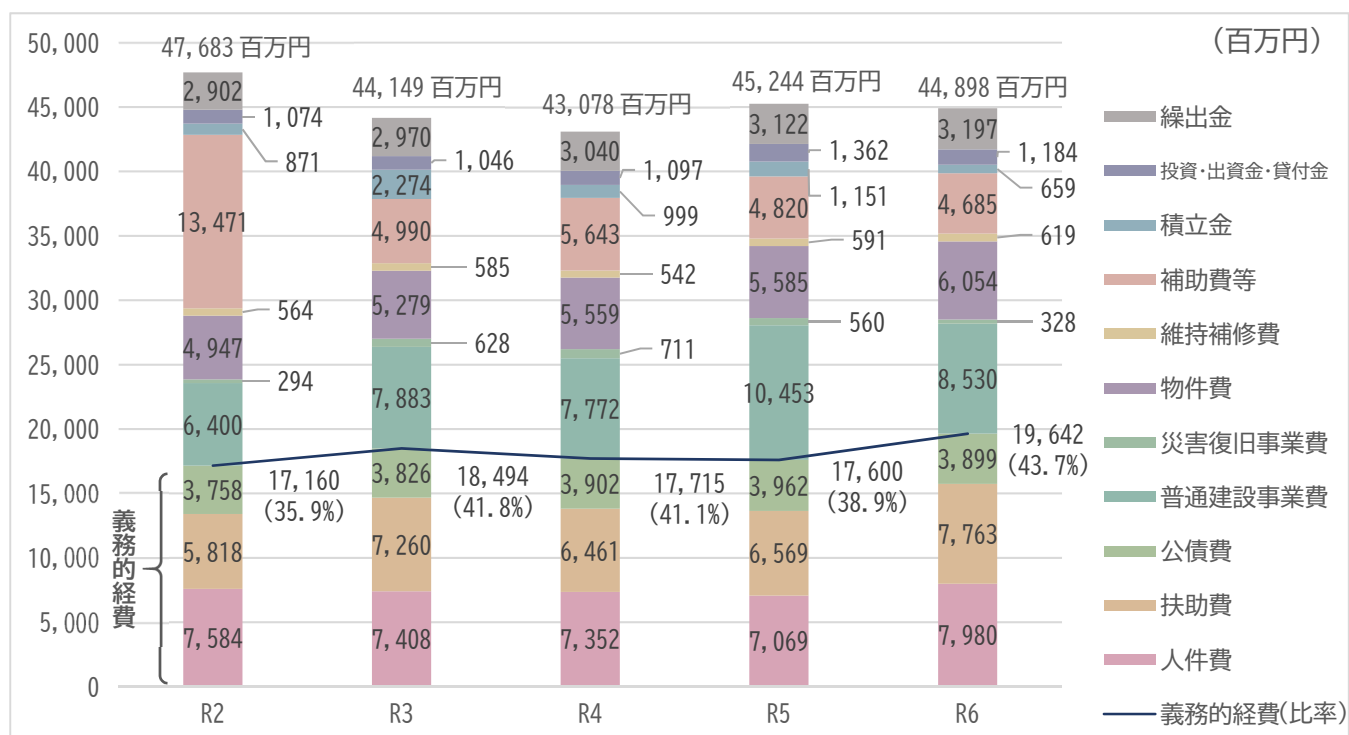
本市の財政規模は、近年 500 億円前後となっています。

歳入は、市税やふるさと納税などにより自主財源比率は 42%前後で推移するとともに、国・県の補助金や有利な地方債の活用などにより財源を確保しています。

歳出は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時的な対応や物価高騰・人件費の上昇などによる経費負担の増加、リニア関連事業や教育施設の統廃合に伴う大型事業の影響などにより、450 億円前後で推移しています。



歳入決算額の構成



歳出決算額の構成

第3章 中津川市の特徴・課題

3-1 市民意向調査

(1) まちづくり市民アンケート調査(一般)

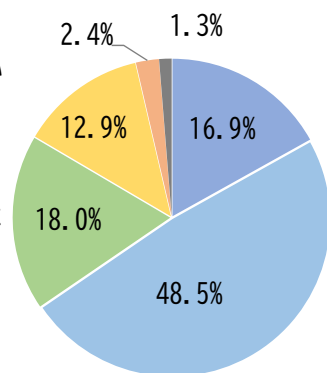
本計画の策定にあたり、市民の意見を把握するため、令和6年度にまちづくり市民アンケート調査を実施しました。

調査の概要	
対象	無作為抽出による18歳以上の市民1,500人
有効回答数	550件（回答者の47.6%が60代以上）

※同時にWeb形式調査を実施（回答者の58.0%が10代）

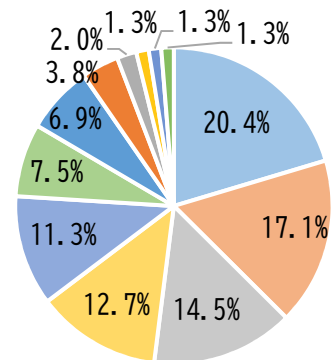
◆市の暮らしやすさ

- 暮らしやすい
- まあまあ暮らしやすい
- どちらともいえない
- あまり暮らしやすいとはいえない
- 暮らしにくい
- 無回答



◆市の将来イメージとして望ましいもの

- 健康・福祉のまち
- 安心・安全なまち
- 子育てのまち
- 自然のまち
- 便利なまち
- 無回答
- 観光のまち
- 産業のまち
- その他
- 共生のまち
- 文化・スポーツのまち
- 農林業のまち



◆リニアを活用したまちづくりで重要なこと

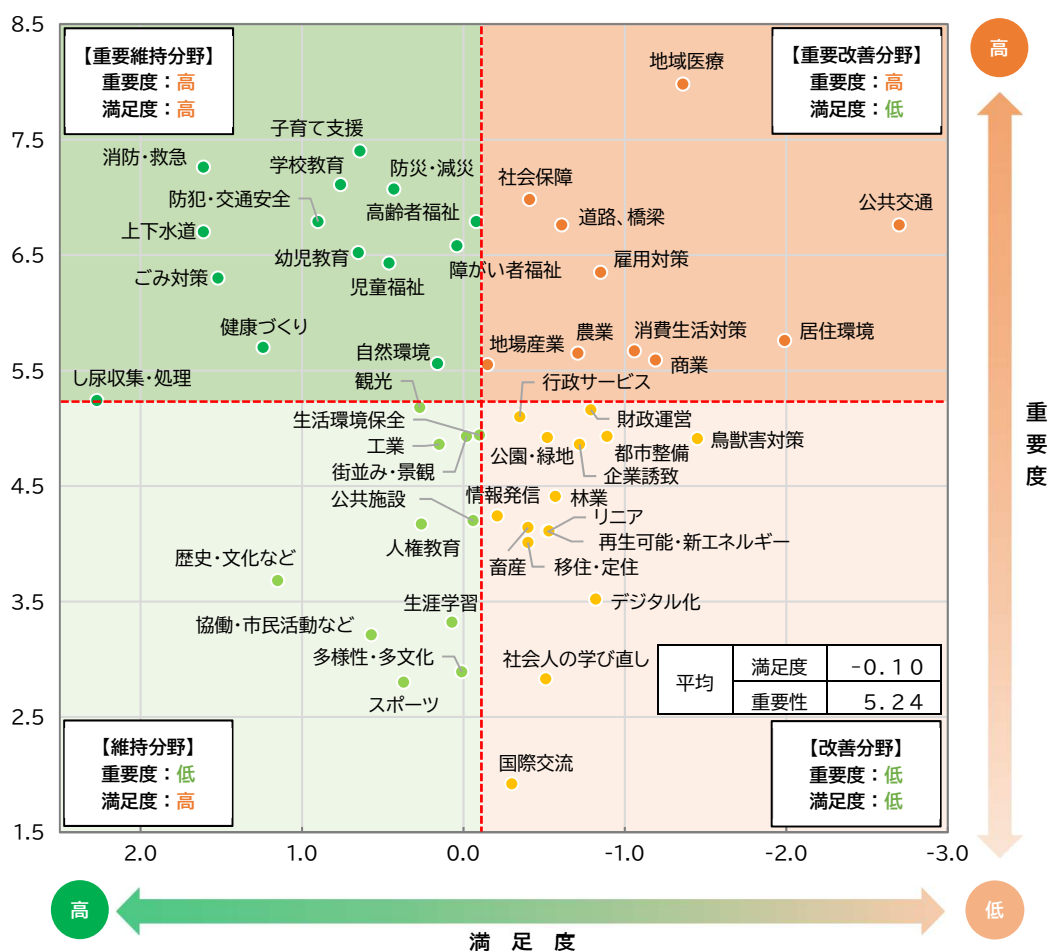
- 「若者の雇用機会の確保」「地域公共交通システムの利便性向上」「中心市街地（中津川駅周辺）の活性化」が上位3項目

（Web調査では、「リニア駅周辺の商業施設等の整備」「リニア駅周辺の道路、駅前広場、公園等の整備」「中心市街地の活性化」が上位）

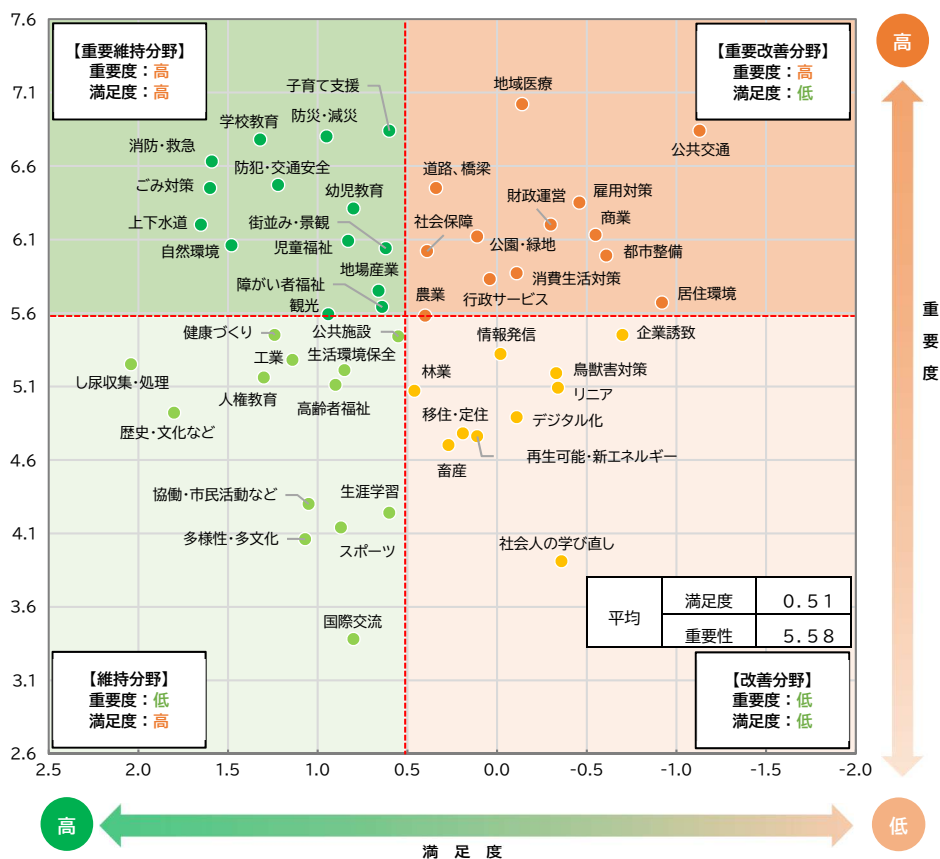
◆まちの発展や市民の暮らしを豊かにするための意見や提案、夢（自由意見を抜粋）

- ・買い物・遊べる場所をもっと増やして若者が楽しめる街づくりをしてほしい。
- ・子育て支援の充実に積極的に取り組んでほしい。
- ・移住、定住希望者には助成制度を設けて、若い世代の移住者を増やしてほしい。
- ・医療施設、特に小児科や婦人科をもっと増やしてほしい。
- ・観光資源の整備と開発を両立させ古き良き物と最先端が共存するまちづくりが必要。
- ・リニア駅～中心部と農村地域、それぞれの良さを積極的にアピールしてほしい。

◆【施策の重要度・満足度】



(参考：Web 調査 回答者の 58.0%が 10 代)

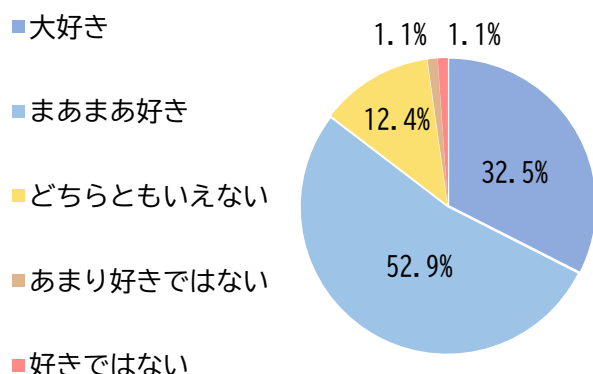


(2)まちづくり市民アンケート調査(小中学生)

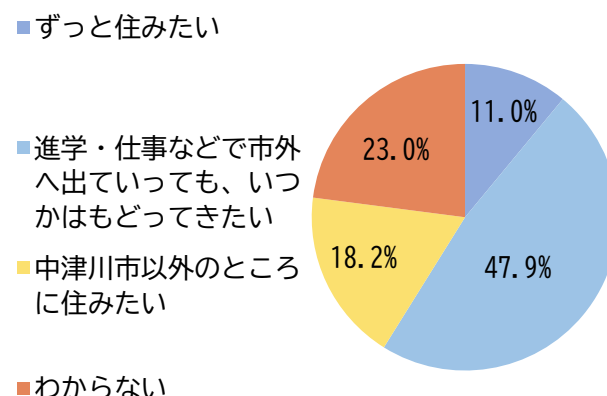
幅広い意見を把握するために市内の小中学生を対象としたまちづくり市民アンケート調査を実施しました。

調査の概要	
対象	小中学生（市内の小学５年生～中学３年生）3,193人
有効回答数	1,172件

◆市への愛着



◆今後の居住意向



◆もし市長になったらしたいこと（自由意見を抜粋）

「住みやすいまち」「商業施設（ショッピングモール、コンビニ、映画館など）の充実」「自然を守る・活かす」といった意見が多くありました。

- ・自然がたくさんあって、交通手段も便利で、もっと産業や人が集まるよう計画を立てて、誰もが便利に生活できるまちづくり。
- ・災害などの対策もしっかりして、ほかの市や県が困っていたら助けられて、全国を支えられるまちづくり。
- ・「こだわる」中津川市にしたい。（「個」人個人が中津川に住む人が増えるようにするために、「駄」菓子や「和」菓子造りを行ったりして、「ル」ンルンな中津川市にする。）

◆市に住んでよかったこと（自由意見を抜粋）

- ・夏場は川遊びにたくさん出かけられること。
- ・大きな災害がないこと。
- ・意外に便利なこと。
- ・ひと・まちテラスができて、たくさんの本やイベントが増えたこと。
- ・地域の人達が優しい、温かい、親切。

(3) グループインタビュー(団体)

各団体の代表者などから調査票を配布する形式でグループインタビュー調査を実施しました。

調査の概要	
対象	市に関係する各分野の団体・グループ（依頼数 146 団体）
有効回答数	56 件

◆市の強み、弱み（抜粋）

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林・清流などの自然資源が豊か ・ 特産物の栗（栗スイーツ） ・ 観光資源が多い（馬籠宿、苗木城、中山道、滝など） ・ 歴史文化が豊か ・ 伝統芸能が息づいている ・ 大規模な製造業が集積している ・ 市内で働く場がある ・ リニアや高速道路建設による、今後大きく成長できるポテンシャル ・ 災害に強く、近年大きな被害がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層の流出と高齢化により地域の活力が低下している ・ 行きたくなる商業施設が少ない ・ 公共交通機関（バス、タクシー）が充実していない ・ 新規分野・新規開拓への取り組みが停滞気味 ・ 将来ビジョンや取り組みが住民に伝わっていない ・ 強みを生かし切れていない ・ 市としての一体感がない

◆魅力的なまちにするために必要な取り組み（自由意見を抜粋）

団体だけでなく行政との連携による取り組みを望む意見が多く、市はそれぞれの地域の特徴を生かす活動のサポートを行うべきという意見が本設問以外でも挙げられていました。

- ・ 中津川市はそれぞれの地域がとても特徴的です。
- ・ 平等、公平を意識しながらも、差別化を使い分けて個性を活かす活動をサポートし、各地区が切磋琢磨して中津川市全体を盛り上げていけるようにしていただきたい。

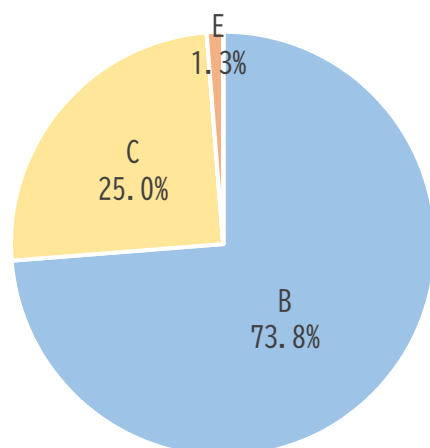
- ・ 地域共生社会の実現のため「重層的支援体制整備事業」の取り組み（地域の福祉サービスを一体的に提供し、住民の生活を総合的に支援する取り組み）が必要であると考えます。

3-2 前計画の評価・検証

前計画で実施した事業の改善や見直しなどを本計画策定につなげるため、前計画の進捗状況の把握と評価・検証を行い、課題を抽出しました。

検証の概要	
対象	中津川市総合計画（2015-2026）に定める 36 施策に基づく取り組み
評価数	80 件

◆全体の進捗評価割合



- A：施策が計画以上に進捗し、期待以上の成果を得た
- B：施策が概ね順調に進捗し、ほぼ期待した成果を得た
- C：施策の進捗が遅れ気味で、期待したほどの成果も得られなかった
- D：施策の進捗が遅れており、成果もあまり得られていない
- E：施策が進捗しておらず、成果はない

【展望】

多くの施策については進捗が順調であり、ほぼ期待どおりの成果が得られていますが、進捗・成果が期待どおりでない施策も一定数あったため、施策の方向性を検討し、取り組みの強化や見直しに努める必要があります。

また、その時点において求められるものが絶えず変化し続けていることにも配慮する必要があります。

今後の方向性として、目指すビジョンを明確に共有し、進捗が期待どおりでない施策は見直しに努め、期待どおりである施策も強化して継続的に取り組むとともに、新たな分野の施策についても積極的に取り組みます。

特に、周知不足などにより認知度の低い取り組みについての対応を強化する必要があります。

第4章 課題の整理

社会情勢や本市の現状、市民意向調査や前計画の評価・検証などから、総合的に課題を整理しました。

子育て・教育	特徴	・「子育てのまち」がまちの将来イメージとして捉えられている
	課題	・人口減少の度合いが全国平均、岐阜県平均よりも高く、人口減少への対応が必要 ・子育て支援の強化が求められている
健康・福祉	特徴	・「健康・福祉のまち」がまちの将来イメージとして捉えられている
	課題	・地域医療の充実が重要視されている ・担い手不足への対応や、さまざまな分野への幅広い支援が求められている
共生・協働・定住	特徴	・本市に住んでよかった理由の上位に人のやさしさ、温かさ、親切さが入る ・市内各地区それぞれに地域性が色濃くある
	課題	・少子高齢化などにより地域の活力が低下している ・若者の移住・定住の取り組みが必要とされている
生涯学習・文化・スポーツ	特徴	・歴史文化の豊かさや伝統芸能などの歴史・文化資源が強みとして認識されている
	課題	・学んだ成果の活用が求められている ・市内には多くの魅力があるものの、それを生かし切れていない ・人材の育成が求められている
防災・防犯	特徴	・治安の良さや自然災害の少なさが強みとして認識されている ・防災・減災対策の充実が重要度の高い施策として認識されている
	課題	・市民の防災意識の向上とインフラの耐震化などが求められている

環境	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来像として「自然」に言及するキーワードが多い ・ 森林・清流などの自然資源が強みとして認識されている
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境保全の担い手不足と高齢化が進行している ・ 下水、ごみ処理施設などの老朽化が進行している
商工観光	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通網が発達しており交通アクセスに恵まれている ・ 大規模な製造業が集積している ・ 観光資源が多い
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業施設を含む遊ぶ場所が不足しており、若者に不満が多い ・ リニアを生かした若者の雇用機会の確保が求められている ・ 観光の効果を地域全体に波及させる取り組みが必要とされている
農林畜産	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏秋トマト、栗、飛騨牛などの特産物がある ・ 森林資源が豊富であると認識されている
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材不足が深刻であり、担い手の育成が必要である
基盤整備	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ リニア中央新幹線整備による市の発展のポテンシャルが強みとして捉えられている
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路網などのインフラの老朽化が進行している ・ 公共交通の重点的な改善が求められている
行政	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行総合計画の施策の実施状況は「概ね順調」である
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規分野への取り組みが停滞しており、市が目指すビジョンが伝わっていない ・ 取り組みへの認知度が低く、周知不足である

第5章 目指すべき将来都市像

5-1 まちづくりの方向性と将来都市像

中津川市が目指すまちづくりの方向性は、これまで大切にしてきた豊かな自然や文化の中で、幸福に暮らすことができるまちを守るとともに、新しい技術や人の流れの中で、中津川市ならではの魅力が生まれ、未来に希望があふれるまちをつくることとします。

そのまちづくりの方向性と、中津川市を象徴する「森」をキーワードとして、未来への夢と期待を込めて、中津川市の将来都市像を次のとおりとします。

将来都市像

ワンダフル ウッズ
WONDERFUL WOODs
～ワクワクする森 なかつがわ～

“^{ワンダフル}WONDERFUL ^{ウッズ}WOODs” は、「ワクワクする森」という意味であり、この「森」には中津川市が誇る豊かな森林そのものだけでなく、その歴史文化や、そこから生まれる将来の産業の可能性など、さまざまな意味が含まれています。

ワクワク（＝“^{ワンダー}WONDER”）にあふれ、暮らすほどよい、遊ぶほどよい、働くほどよい、そしてこのまちがもっと好きになる、未来への期待感にあふれたまち なかつがわ

豊かな自然（＝“^{ウッズ}WOODs”）と、そこで育まれた歴史文化や温かい人々に包まれて、自然体で居心地よく暮らせる、笑顔で幸福に暮らせるまち なかつがわ

そんな期待と幸福の2つの意味を込め、訪れた人がこのまちの魅力を五感で感じ、期待感や楽しさなどに心弾ませるとともに、このまちに住む人が便利で心豊かに暮らせる魅力にあふれた将来都市像“WONDERFUL WOODs ～ワクワクする森 なかつがわ～”を目指します。

5-2 人口の将来展望

本市の将来の人口の展望を示します。

将来の合計特殊出生率は社人研の推計と比較して、岐阜県が2023年3月に策定した「岐阜県人口ビジョン」と同じ数値を採用し、以下の表のとおりとします。

	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
社人研推計	1.42	1.46	1.46	1.47	1.47
市独自推計	1.80	1.94	2.07	2.07	2.07

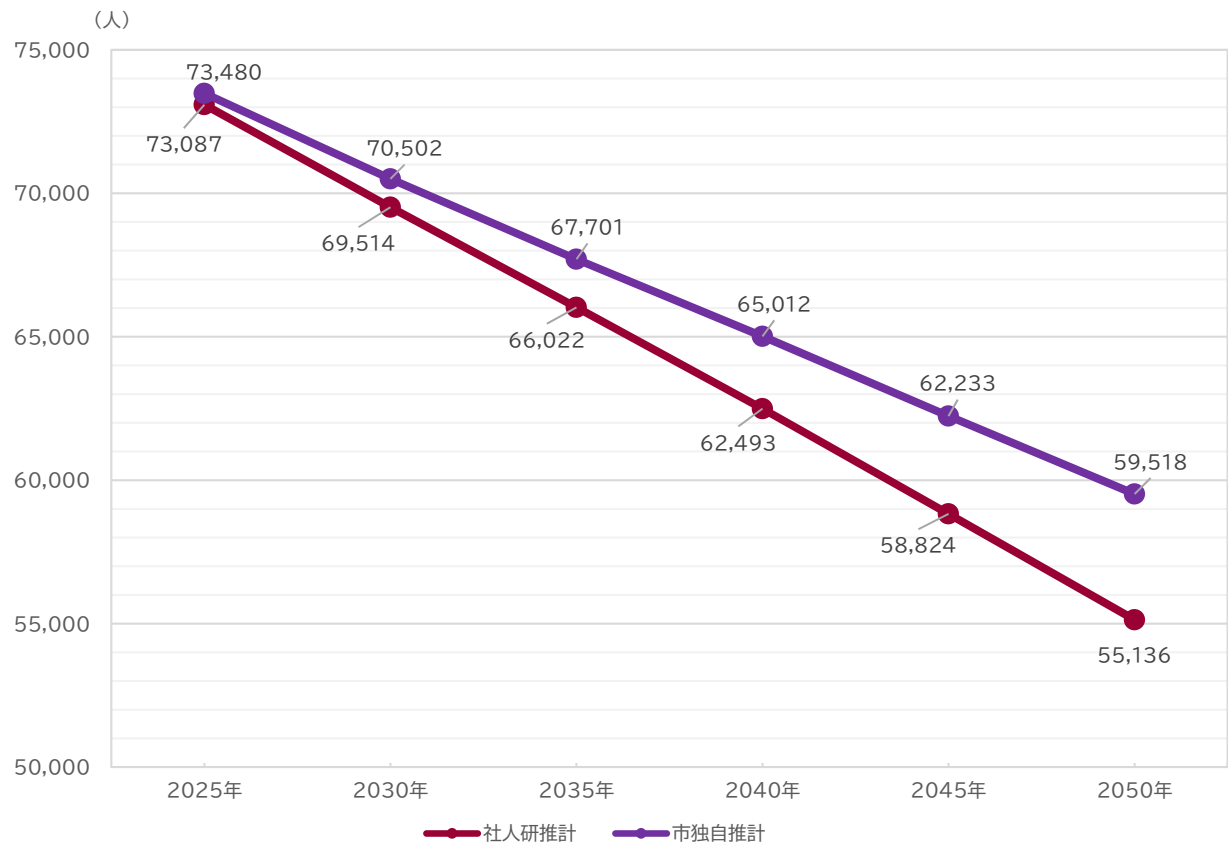
合計特殊出生率の設定値の比較

人口の移動率は社人研の推計と比較して、以下の表のとおりとします。

移動率の設定概要	
社人研推計	2015年から2020年の転出と転入による人口移動の実績値を踏まえて推計
市独自推計	2035年までは社人研による想定値を基に転出人口を2%減少、転入人口を2%増加して推計 2040年以降は、リニア中央新幹線の開業を見据え社会増減を均衡して推計

移動率の設定値の比較

本市の将来の人口は社人研の推計と比較して、以下の表のとおりとします。

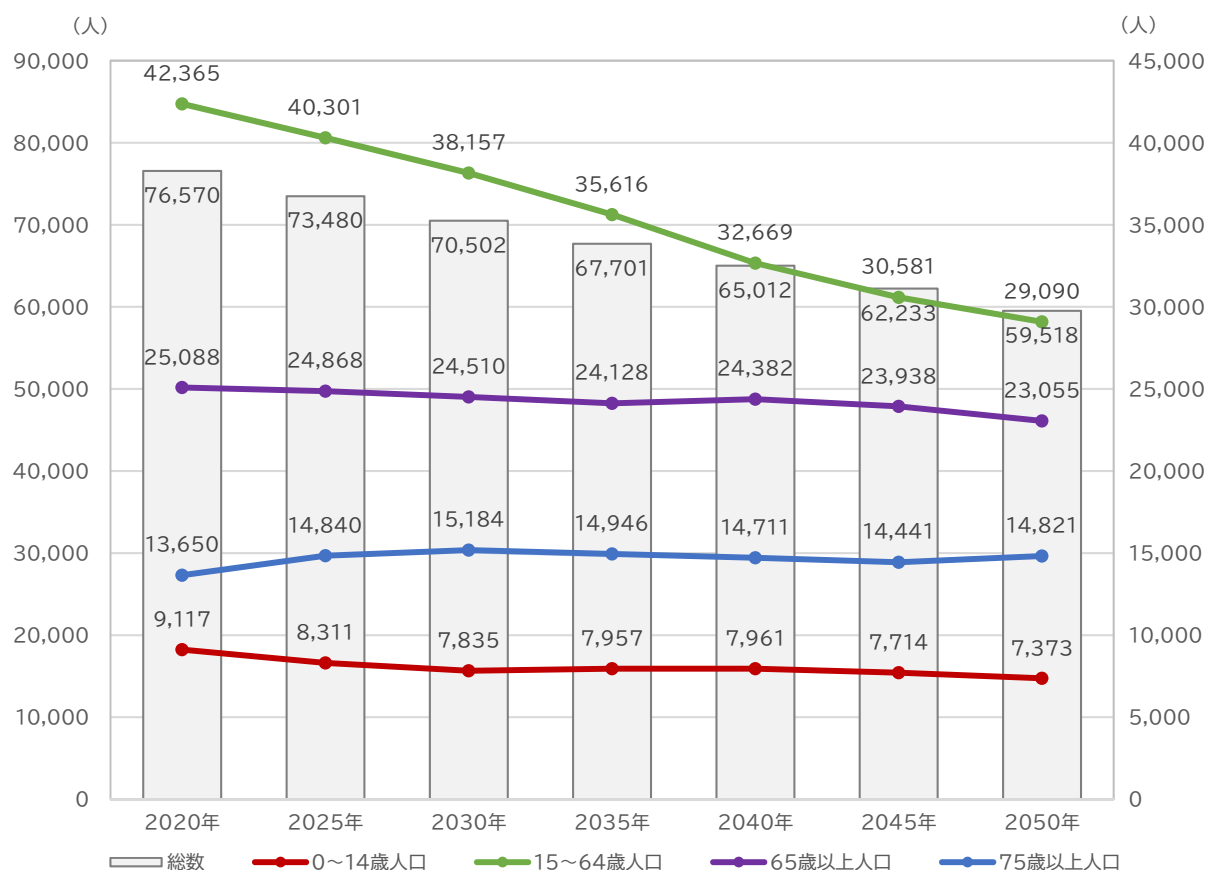


中津川市将来人口推計（社人研推計と市独自推計）

本計画の目標年度である2036年度の総人口は、2035年と2040年の推計値を踏まえて、社人研の推計より1,847人増加させた67,163人を目指します。

2036年度の目標将来人口：67,163人

以下に、市独自推計による年齢3区分別の将来推計人口を示します。



年齢3区分別の将来推計人口(市独自推計)

現在の人口構成や社会状況を鑑みると、現在の人口規模を維持することは極めて難しいと考えられますが、長期的な人口の展望の点から、将来にわたって本市が持続可能となるかは、総合計画に沿っていかに取り組みを進めていくにかかっています。

この市独自推計を実現するためには、市内への定住・移住を推進し、出生率を上昇させる必要があります。そのためには、市民の生活に幸福と希望がなければなりません。

市民一人ひとりが未来の生活を考えた際に、自身が幸福になれるという期待があることで、中津川市に住もう、ずっと中津川市で暮らそうという意思が生まれます。市民一人ひとりに希望や期待を抱かせ、それをかなえるまちづくりを進めるために、将来都市像である「WONDERFUL WOODs ～ワクワクする森なかつがわ～」を目指して中津川市は取り組んでいきます。

第6章 政策

6-1 分野ごとの政策

将来都市像実現に向け、政策を次のように設定します。

分野	政策
子育て・教育	1 心身共にたくましい子を育てるまちづくり
健康・福祉	2 住み慣れた地域で、自分らしく健やかに安心して暮らせるまちづくり
共生・協働・定住	3 さまざまな人々が尊重し合い、共に活躍できるまちづくり
生涯学習・文化・スポーツ	4 人々が学びや活動を通して、いきいきと暮らすことができるまちづくり
防災・防犯	5 支えあい、安全・安心に暮らせるまちづくり
環境	6 恵まれた自然を守り、生かすまちづくり
商工観光	7 商工業や観光業などが活発で、市内に活気があるまちづくり
農林畜産	8 恵まれた資源を活用し、さまざまな産業が活発なまちづくり
基盤整備	9 計画的に整備されたまちの中で、快適に暮らせるまちづくり
行政運営	10 持続可能で安定した行政サービスが受けられるまちづくり

6-2 政策の方向性

政策

1

心身共にたくましい子を育てるまちづくり

【分野】子育て・教育

市民の希望をかなえ、豊かな自然のなかで、健全でたくましい子どもを地域全体で育てます。地元への愛着をもつ心身共にたくましく子を育てることで、次の世代、またその次の世代へと引き継がれるまちをつくります。

目指す姿

市民の希望をかなえる【子育て】

- ・ 市民一人ひとりが結婚や出産、子育てに対して希望を持ち、その希望がかなうまちを実現します。
- ・ 子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援の強化、子どもの居場所づくり、交流の場の積極的な整備を進めます。
- ・ 地域や地元企業などさまざまな人と協働し、地域資源の活用を通じて、子どもたちが地元への愛着を育み、未来を担う人材として成長できる環境を整えます。

たくましい子を育てる【教育】

- ・ 児童・生徒が安心して、安全に楽しく生活・学習できる環境を整備します。
- ・ 確かな学力とたくましい体、豊かな心、集団の中でたくましく生きていく力を持つ子どもを育てます。
- ・ 安心して通学・通園できる環境の整備や、安全・安心・快適な幼児教育、保育環境の整備を行い、地域全体で子どもたちの成長を守る体制を築きます。



安定的に医療、介護、保険制度を維持し、人々が共に支え合うことができる持続可能な健康・福祉の基盤を確立し、豊かな心で健康的に、安心して幸せに暮らすまちをつくります。

目指す姿

健やかに暮らせる【健康】

- ・健康寿命の延伸に向けて、健康意識の向上や予防医療を推進するとともに、日常的な運動習慣の定着を促進します。
- ・安心して医療が受けられるように、人材の確保などに取り組むことで地域医療を安定して供給できる環境と、誰もが円滑に医療を利用することができる環境の整備を進めます。

安心して暮らせる【福祉】

- ・子どもや障がいのある人など、すべての人が環境に左右されることなく健全に成長し、平等に社会参加することで、生きがいを持って生活するための支援体制と環境を整備します。
- ・高齢者が自立して生活し、安心して便利に介護を利用できる環境を整備することで、尊厳を持って暮らすことができる地域づくりを促進します。
- ・支え合いや助け合いの仕組みを地域社会全体で強化し、共助の精神に基づくまちの絆を育みます。
- ・多様化し、複雑化していく課題に対して包括的な支援を行き届かせることで、市民が自立し、健康で安心して暮らせる社会を目指します。



多様性を尊重し、多様性を力にします。市民一人ひとりが自分らしく暮らし、学び、地域への愛着を育みながら、行政、市民、企業や地域団体、学生などが連携し、協働の力による活気あるまちづくりが自立して行われることを目指します。市民の幸福度を向上させるとともに、自然と文化、調和の中で住み続けたいまちをつくります。

目指す姿

共に認め合う【共生】

- ・国籍や年齢、性別などさまざまな背景を持つ人々が互いに尊重し、支え合い、受け入れ合い、自分らしく活躍できる共生社会づくりを進めます。
- ・男女共同参画社会や多文化共生の理解を深めるための教育や活動を通じて、多様性を力とする持続可能な地域社会づくりを進めます。

国際感覚を根付かせる【グローバル】

- ・国際理解と交流を促進し、地域在住の外国人や海外からの観光客との交流を深め、相互理解を助ける取り組みを進めます。
- ・市民がグローバルな視点を身につける機会を提供し、国際感覚豊かな次世代の育成と地域の国際化を推進します。

尊厳を守る【人権】

- ・子どもや高齢者、障がいのある人など、あらゆる人が人権の主体として尊重され、また、他者を尊重できるように、学校や地域をはじめとした多様な場において、人権についての学びの機会を充実させ、誰もが安心して生活できる地域社会を築きます。
- ・市民一人ひとりが互いを思いやり、不当な差別や偏見をなくす取り組みに積極的に参加できる環境を整えます。

共に地域をつくる【協働】

- ・ 市民活動やコミュニティ活動を支援するための情報提供や活動基盤の整備を進め、市民が主体的に地域課題の解決に取り組む土壌を育てます。
- ・ 若い世代の地域との交流を推進し、地域の文化や歴史などを通じて誇りや愛着を醸成することで、定住やふるさと回帰を推進します。

中津川に住もう【移住・定住】

- ・ 中津川市の自然、文化、教育、福祉などの地域資源を活用し、市に移住を希望する人々を積極的に受け入れる仕組みを整えます。
- ・ 移住者と地域住民が調和しながら共に歩む地域づくりを支援します。
- ・ 働きやすさ、住みやすさの向上を図り、若い世代や移住者が活力ある新しい生活を始められる環境を整備します。



人々が学びや活動を通して、いきいきと暮らすことができるまちづくり

【分野】生涯学習・文化・スポーツ

市民が生涯にわたり自由に学び、文化・芸術を創造・享受し、スポーツを楽しみ、その成果を自由に発揮することで、生きがいと活気のある地域社会を形成し、市民が暮らしの中で生きがいを感じられるまちをつくります。

目指す姿

学びを楽しみ、いかす【生涯学習】

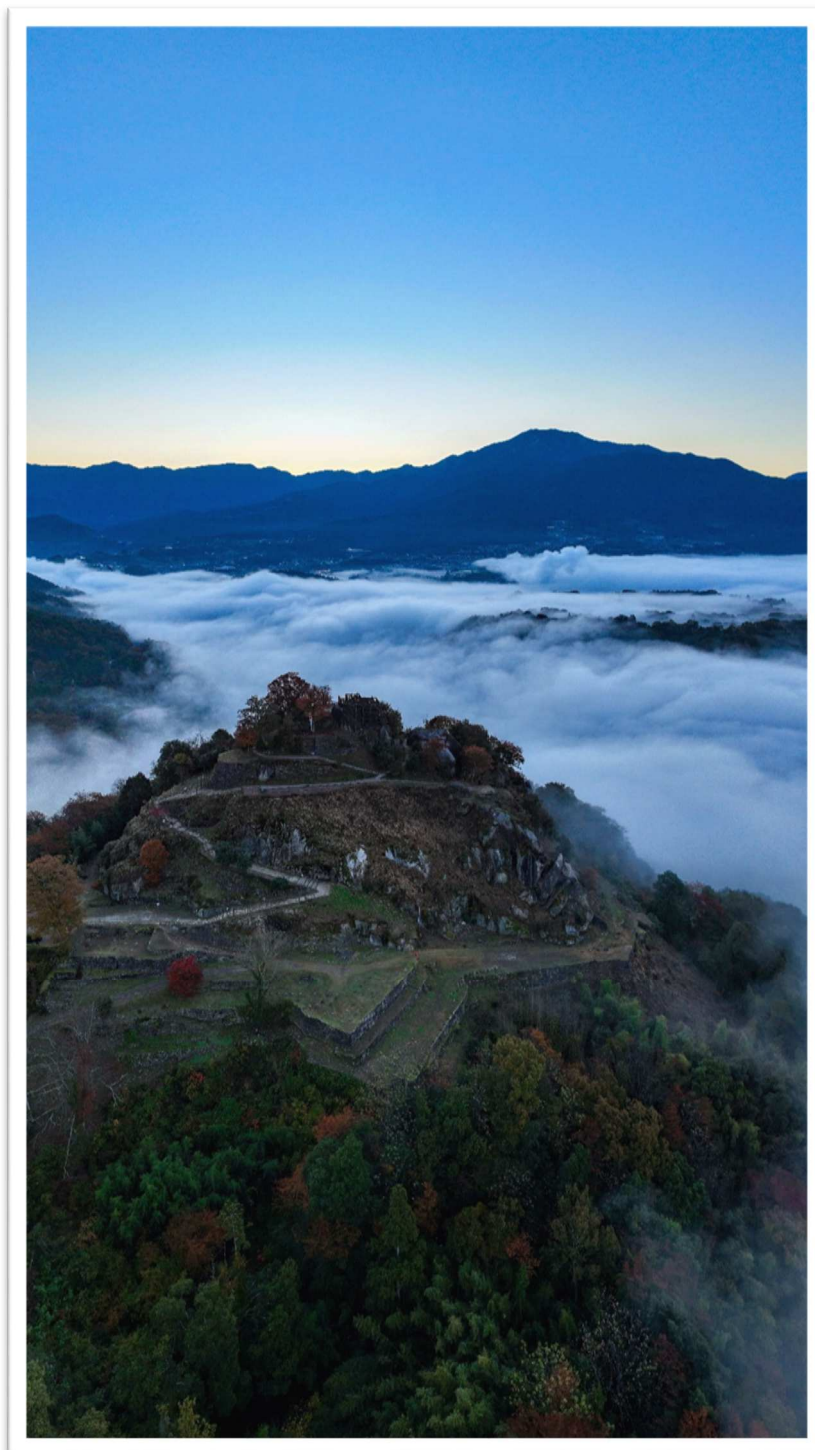
- ・市民が生涯にわたって主体的に学ぶことができる環境を整えることで、生き生きと自由に学びを続けられる環境を整えます。
- ・市民が新たな知識やスキルを習得できる機会を整え、学び直しを支援するとともに、学んだ成果を生かす機会を創出することで、知識の習得やスキル向上を地域の成長につなげます。
- ・幼いころから本への興味を育み、読書習慣の定着、促進を図ることで、幅広い世代が生涯にわたり学びの喜びを実感し、さらに深めていくことができる環境を提供します。

歴史、伝統を守り、いかす【文化】

- ・地域の歴史的資源や文化的価値を適切に保全し、地域の歴史や文化に親しむ環境を整えることで郷土愛を育み、地域への誇りを抱かせ、次の世代に継承します。
- ・伝統芸能や地域文化が持続可能な体制を確立し、継続した活動が維持できるよう支援するとともに、その魅力を発信することで資源としての活用促進を図ります。
- ・幼いころから優れた文化や芸術に触れることができる機会と環境を整えることで、豊かな心を育みます。
- ・地域の文化を共有・発展させる基盤を築き、市民が積極的に文化的活動に参加できる環境を形成します。

こころと体を育む【スポーツ】

- ・ スポーツ活動の推進を通じて、市民の健康を増進し、生きがいをつくりだすとともに、スポーツを通じた人と人とのつながりを促進し、地域コミュニティの一体感を醸成します。
- ・ 幼いころからスポーツに親しむ環境を整えることで、子どもたちの自信と誇り、豊かな心を育みます。



災害に強い基盤の整備や人と人との支え合うことができる環境をつくりだすことで、激甚化する災害、事故や犯罪などの予測ができない危険から市民を守り、安全に安心して暮らせるまちをつくれます。

目指す姿

市民を守る【防災・減災】

- ・ 市民一人ひとりに高い防災意識を醸成し、事前防災と自助・共助の重要性の理解を深めることで、地域全体で命を守る体制を構築します。
- ・ 防災に関する適切な情報が伝わる環境と、緊急時にも迅速かつ安全に避難できるインフラを整備します。
- ・ 道路・橋りょう、河川、水路などの整備と適正な維持管理を行うとともに、住宅等の耐震化や森林、農地の適正な管理を推進することで防災・減災力を高め、安全な住環境を整えます。

安心して生活できる【消防・救急】

- ・ 災害時に迅速に対応するための専門設備や災害被害を最小限に抑える設備を整備するなど、市民の命を守る確固たる基盤を築き上げます。
- ・ 防災に携わる人材の確保に努めるとともに、消防および救急体制の充実に努めることで、地域全体の安全を守ります。

安全・快適に暮らせる【交通安全・防犯】

- ・ 行政と市民、地域企業などが協力し合い、地域全体で交通安全・防犯活動に取り組むことで、持続的に安心して暮らせる環境を整えます。

住民、企業、行政が一体となり、未来へとつながる取り組みを推進します。自然環境と生活環境を守ることで、将来にわたって持続可能な社会を築き、市民が安心して快適に暮らせるまちをつくれます。

目指す姿

みんなで守る【自然環境】

- ・地域の豊かな自然の重要性を市民全員が共有することで、次世代へ継承し、持続可能な形で保全します。
- ・環境を保全する意識の高い市民を市全体で育てることで、地域の生態系を尊重し、自然との共生を実現します。

一体となって目指す【脱炭素】

- ・2050年のゼロカーボンシティの実現を目指し、再生可能エネルギーや新エネルギーの導入を積極的に推進します。
- ・地域のエネルギー供給の多様性を確保し、二酸化炭素排出の削減を図るとともに、環境に優しい持続可能な社会の実現を目指します。

快適な生活を守る【生活環境】

- ・廃棄物の適正な管理、収集、運搬を効率的に実施し、適切なごみ処理や、し尿の処理により、地域の衛生的な環境を保ちます。
- ・循環型社会の形成に向けたリサイクル推進とごみの減量化を市民と協働して徹底することで、衛生的で持続可能な環境を整え、次世代に引き継ぎます。
- ・斎場や墓地の適切な管理と整備を行うなど、多様化する市民ニーズに適正に対応できる環境を整えることで、地域社会における快適な生活を守ります。

商業、工業、観光などの発展を支援するとともに、地域の資源や特性を最大限に活用し、企業や地域社会との協力を通じて雇用や経済の安定と拡大を図ります。市民が地域に誇りを持ち、持続可能で活力に満ちたまちをつくります。

目指す姿

活気あふれる【商業】

- ・地域の文化や中山道の歴史的な風情などを活用して、市内外からの人の流れを創出し、市内全域の商業活動を活性化します。
- ・地域産品の販路拡大や消費者との新たなつながりを生み出す取り組み、担い手の確保などを支援することで、持続可能な商業活動を実現します。
- ・市の玄関口として、駅前の機能を強化し、まちなかを買い物や飲食、宿泊、新しい挑戦や交流を楽しめる空間として活用することで中心市街地の魅力向上を図ります。

継続して発展する【工業】

- ・地域資源を活用した製品開発や生産性向上を図るとともに、デジタル技術の導入による既存企業の発展を促進します。
- ・起業支援を含む新規事業創出や若い世代の参入を促し、地域産業の基盤のさらなる強化を目指します。
- ・産業基盤の整備への支援などを通じて、安定した事業経営と持続的な成長による工業の活性化を図ります。

人も企業も力を発揮できる【雇用】

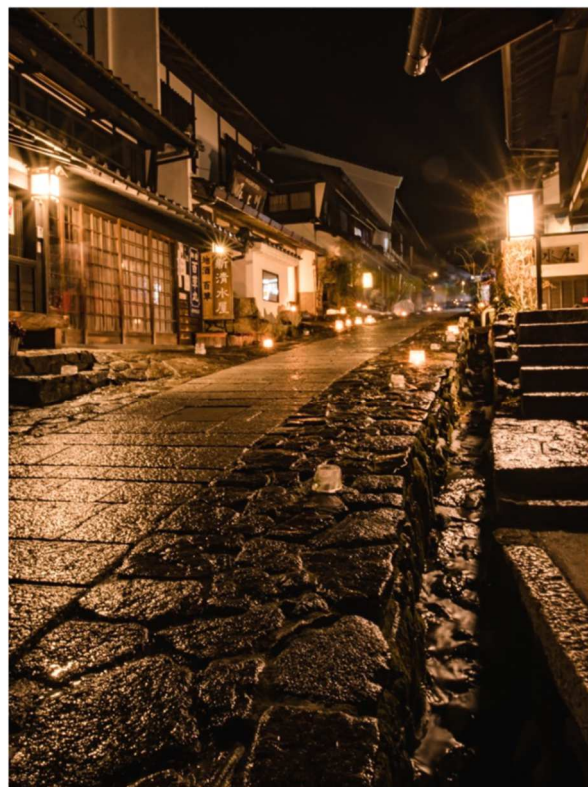
- ・年齢、国籍、性別を問わず、誰もがその能力を発揮し、活躍できる雇用環境を目指します。
- ・労働環境の改善や多様な働き方への対応を進め、職場における働きやすさを向上させることで、生活の安定、安心と働く意欲が持てる環境を整えます。

活力を生み出す【誘致】

- ・ 成長性のある企業の誘致を推進し、市内経済の基盤を強化するとともに、新たに挑戦を行う企業や人を支援することで、若者や都市部の人材が求める業種の進出を促します。
- ・ 交通インフラや地の利を強みに広域的な視点で企業活動に適した環境を整え、雇用創出や地域産業との連携を推進します。

活気を呼び込む【観光】

- ・ 自然、歴史、文化、食などの地域の魅力に加え、リニアの開業効果を周辺地域や県内へ波及できるよう、観光関連産業を活性化させ、持続可能な観光産業の発展に取り組みます。
- ・ リニア中央新幹線のアドバンテージを最大限に活用できる交通インフラを整備し、観光施設間のアクセス性向上と観光需要の拡大を図ります。
- ・ 市の魅力を国際的に発信し、インバウンド観光を活性化するとともに、その受入れの体制を整備します。
- ・ 観光の産業としての発展を支援し、地域住民と観光が調和する持続可能な観光の実現を目指します。



地域資源を最大限に活用し、持続可能かつ多様性に富む産業と暮らしを支えます。産業分野の広がり連携を深めることで、次世代に誇れるまちづくりを実現します。市民一人ひとりが安定した生活と将来への希望を持ち、誇りをもって生活できるまちをつくります。

目指す姿

守り続ける【農業】

- ・農地の集積化、担い手の育成、遊休農地の削減などに取り組むとともに、6次産業化、ブランド化、特色ある農業の活性化により付加価値を向上させ、農業収入の安定化を図ります。
- ・農地の適切な保全、農業施設の維持管理、鳥獣害対策の強化、担い手の確保に取り組み、農地と生態系を持続可能な形で保つことにより、農地の持つ多面的機能を守ります。

新たな価値を広げる【林業】

- ・豊かな森林資源を活用した林業の活性化を目指して、林業従事者を育成するとともに、林業施設を適切に維持管理することで計画的に森林整備を進め、持続可能な林業につなげます。
- ・木材利用の拡大や安定供給体制の強化により、木材関連産業の成長を支援します。
- ・森林資源の多面的機能を最大限に活用することで、環境保全と経済活動の両立に向けて、多角的な取り組みを実施します。

安定して広がる【畜産業】

- ・後継者の育成や自給飼料の活用、地域農業との連携などにより安定した経営基盤の構築を推進し、持続可能な畜産生産体制を確立します。
- ・地域の畜産物のブランド価値を高め、稼ぐ力を向上させるとともに、需要拡大を図ります。

未来につなぐ【地場産業】

- ・市内で生産される木材や農畜産物、工芸品や食品などのさまざまな地場産品の高付加価値化やブランド化を進め、稼ぐ力を高めることで未来につなぎます。
- ・後継者の育成・確保により将来にわたって地場産業を持続させることで、地域全体の資源と活力を守ります。



さまざまな取り組みを通じて計画的に基盤整備を進めることで、快適で安定した生活を実現するとともに、新たな取り組みにより未来への期待を創出することで、活力ある地域社会を生み出し、快適に暮らせるまちをつくれます。

目指す姿

利便性の高い【交通】

- ・道路や橋りょうの整備・維持管理を適正に行い、地域内外を円滑に結ぶ交通インフラの充実により地域経済の活性化を図ります。
- ・市内の交通の利便性を高め、安全で安心な交通インフラを整えることで、通勤や通学の時間短縮、医療機関や商業施設へのアクセス性を向上させ、市民の日常生活の質を向上させます。

安心して使える【上下水道】

- ・上下水道の整備、適切な維持管理を行い、地域の水環境を守ることで、持続可能で衛生的かつ快適な暮らしを支えます。
- ・健全で効率的な上下水道事業の経営により、将来にわたって安定した水道水供給と汚水処理を実現します。

にぎわいを生み出す【リニア】

- ・リニア中央新幹線の開業に向けて、リニア駅周辺の発展を促進し、広域交通の結節点としての機能を強化します。
- ・リニア駅周辺を「岐阜らしさ」「中津川らしさ」が感じられるエリアとするとともに、リニア駅周辺のにぎわいを創出し、にぎわいと住環境との調和のとれた魅力的なエリアとすることを目指します。
- ・多くの工事が集中する工事期間中において、安全・安心な市民生活を確保します。

快適に生活できる【都市計画】

- ・ 良好な街並みと景観を整備し、官民で連携して地域の歴史と文化などの特性に応じた活気のあるまちづくりを行います。
- ・ 開発と保全の調和した秩序ある土地利用を実施することで、将来にわたって持続可能な規模のまちを形成します。
- ・ 市民が安らげる公園や緑地を適切に管理、整備するとともに、居住環境の整備や空き家対策を促進し、市民、若者、移住者が住みたくなる環境を整えます。

快適につながる【公共交通】

- ・ 公共交通の整備と充実を図り、人材の確保なども含めた持続可能な環境を実現することで、すべての人が利用しやすい交通網を構築し、快適に住み続けられる環境を整備します。
- ・ 広域交通網、市内の交通網と地域内の拠点をつなげることで、市内外の交流と往来を活発にします。



行政運営の透明性、公平性、効率性を高め、適切に行政としての責任を果たすことで、市民が将来にわたって安心して快適に暮らすことができるまちをつくれます。

目指す姿

聴き、届ける【広報・広聴】

- ・市民が知りたい情報、行政が市民に伝えたい情報をわかりやすくタイムリーに提供します。
- ・市民参加型の行政運営を推進し、市民の声を施策に反映するための体制を整え、自らの声が地域づくりに生かされていることを市民が実感できる環境を整えます。
- ・市内外に中津川市の魅力を発信し、市政への関心を高め、市への愛着を醸成します。

希望に応える【行政運営】

- ・公共施設を適正な規模で計画的に配置し維持管理することで、市民が安心して便利に利用できる環境を整えます。
- ・広域的な連携による公共サービスや施設整備を進め、効率的、効果的な行政運営を目指します。
- ・DXの推進により行政サービスの質を向上させ、多様化する市民ニーズに迅速かつ適切に対応します。
- ・自ら施策や事業を見直し、絶えず改善を行うことで、真に市民が求める行政サービスを提供します。

安定して持続させる【財政運営】

- ・安定した行政サービスを行うため、自主財源の確保に努めるとともに、国・県等の補助金の積極的な活用などにより、効率的・効果的な財政運営を継続します。

第7章 土地利用構想

7-1 基本的な考え方

持続可能なまちを形成するために、土地利用の面では開発と保全が調和した秩序ある土地利用に加え、人口減少を見据えた土地利用を進める必要があります。

開発と保全が調和した秩序ある土地利用では、豊かな自然環境や里山景観、歴史的文化遺産など将来にわたって守るべき財産を守りつつ、安全性や利便性、快適性など暮らしやすさにつながる基盤の整備を関係法令との整合を保ちながら進める必要があります。

また、人口減少を見据えた土地利用として、市全体では持続可能な規模の都市構造とする観点からインフラの整備や維持、拠点間ネットワークの構築を行いつつ、市内各地域では都市拠点・広域交通拠点・地域拠点など地域特性に応じた拠点形成に取り組み、拠点ごとの魅力向上や地域コミュニティの活性化を進める必要があります。

7-2 土地利用の方針

(1)全体方針

市町村合併により行政区域が拡大した本市では、市域全域に広く薄く居住が分布し、地域ごとに生活拠点が形成されています。このため、JR中津川駅を核とする都市拠点を中心としつつ、各地域拠点においても拠点単位でまとまりのある生活圏を形成し、公共交通によって各地域拠点が有機的に結ばれたコンパクトなまちづくりを進めていく必要があります。

(2)都市拠点

本市における人口集中地区を含む中津地区は、市全体にとっての都市的生活の拠点として、本市の顔となるまちづくりを目指します。そのため、都市機能誘導区域への商業・金融・文化などの都市機能の立地誘導や、居住誘導区域への緩やかな居住の誘導を図ります。

(3)広域交通拠点

リニア岐阜県駅が設置され、それに伴う区画整理事業をはじめとするリニア関連事業が進められている坂本地区は、現在市内でも人口が微増している地域であり、リニア開業を見据え周辺の土地需要の更なる高まりも予想されることから、岐阜県の東の玄関口となる広域交通拠点として、開発と保全が調和した秩序ある土地利用を推進します。

(4)地域拠点

都市拠点・広域交通拠点以外の市内各地域でも、人口減少を見据え、地域の核（コア）となる生活圏を形成する必要があります。そのために、各地域の総合事務所などの行政施設や医療・福祉施設、商業施設などの生活利便施設周辺に緩やかな居住の集積を図ります。

(5)集落・農業エリア

農地等の保全と既存集落の住環境の維持・形成を図るエリアを「集落・農業エリア」と位置付けます。優れた農業地域や農業生産基盤の維持・保全を図るとともに、保水機能などの農地の持つ多面的機能の維持に努めます。

(6)森林エリア

地域森林計画対象民有林に指定されている地域で、自然環境・景観を維持・保全するエリアを「森林エリア」と位置付けます。

自然環境や景観を阻害するような林地開発を抑制し、緑豊かな森林の保全に努めるとともに、林業基盤の整備、自然景観地としての利用推進を図ります。また、土砂災害のおそれのある区域では、開発を抑制し、防災機能の保全に努めます。



第2編 基本計画-前期

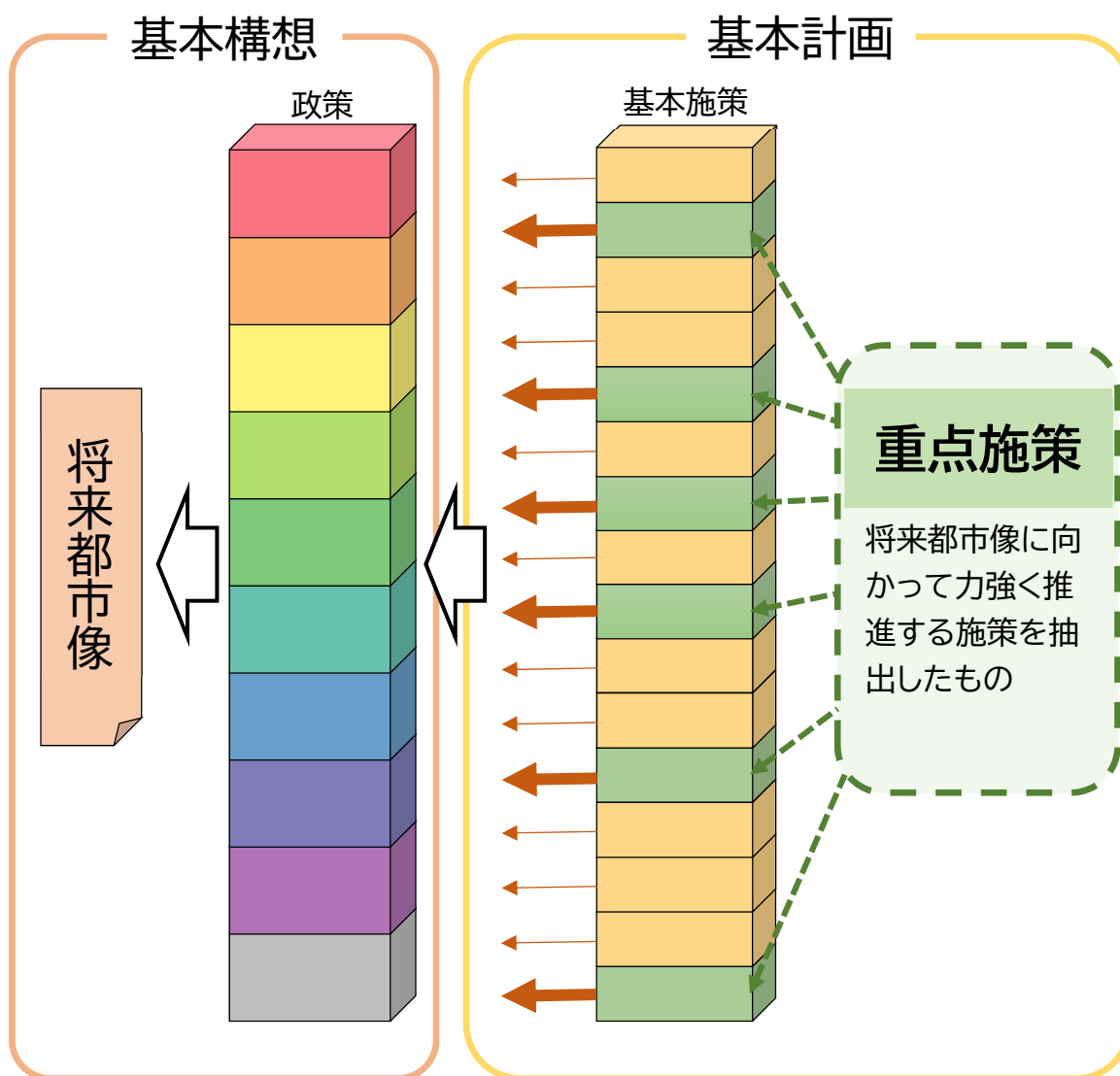
第1章 基本計画の概要

1-1 計画の概要

基本計画では、基本構想で示した将来都市像を実現するために取り組む施策を定めます。基本構想で定めた10の政策に対して35の施策を定め、体系的に取り組めます。

1-2 基本となる施策と重点的に取り組む施策

施策では、さまざまな行政分野に網羅的に取り組む基本施策を定め、その中から重点施策として将来都市像の実現に大きく資する施策について分野を横断して抽出します。



基本施策と重点施策のイメージ

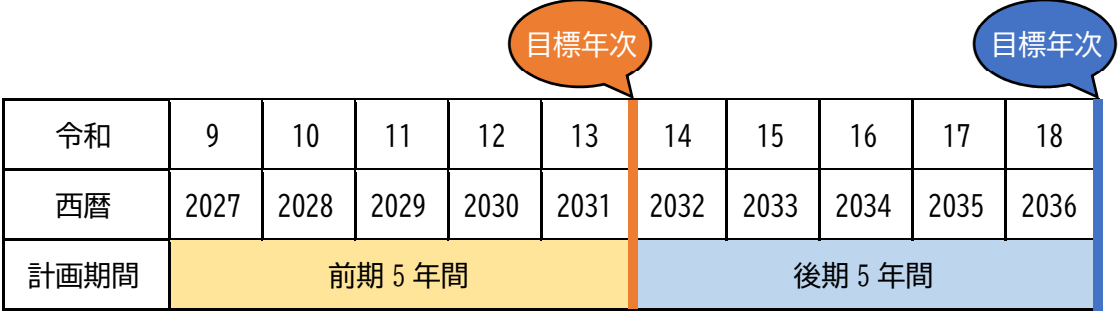
1-3 計画の期間、目標年次と数値目標

基本計画は、時代の変化に柔軟に対応して見直しができるように前期と後期に分けることとし、それぞれの計画期間と目標年次は次のとおりとします。

また、それぞれの目標年次において各政策の目指す姿にどの程度近づいているかを確認するために指標を設定し、数値目標を定めることとします。

計画の取り組みに対する数値目標は、市の取り組みに対して市民の視点から評価を行うために、原則としてアンケート調査による市民満足度を用いることとします。

単純な施策の実施数などではなく、市民がどう実感したかを指標とすることで、市の自己満足ではなく、市民のニーズに応える取り組みが行われているかを評価します。



令和	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
西暦	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
計画期間	前期 5 年間					後期 5 年間				

1-4 計画の体系



基本計画

施策		
1	1	子育て 重点
	2	教育 重点
2	1	健康 重点
	2	福祉
3	1	共生
	2	グローバル
	3	人権
	4	協働
	5	移住・定住
4	1	生涯学習
	2	文化
	3	スポーツ
5	1	防災・減災
	2	消防・救急
	3	交通安全・防犯
6	1	自然環境
	2	脱炭素
	3	生活環境
7	1	商業
	2	工業
	3	雇用
	4	誘致 重点
	5	観光 重点
8	1	農業
	2	林業
	3	畜産業
	4	地場産業
9	1	交通
	2	上下水道
	3	リニア 重点
	4	都市計画
	5	公共交通
10	1	広報・広聴
	2	行政運営
	3	財政運営

第2章 重点施策

2-1 重点的に取り組むべき課題

全国的に若者の都市部への流出が続く中で、中津川市の人口は、1995年の85,387人をピークに、2020年の国勢調査では76,570人と大きく減少しています。

人口減少は、労働力不足や消費の縮小、担い手不足による地域コミュニティの衰退、社会保障制度の崩壊などを招き、長期的視点に立った継続的な対応が必要となります。

また、今後出生率が大きく回復したとしても、現在の子育て世代が減少しているため、容易に出生数は増加せず、人口減少を食い止めるためには、長い年月が必要となります。

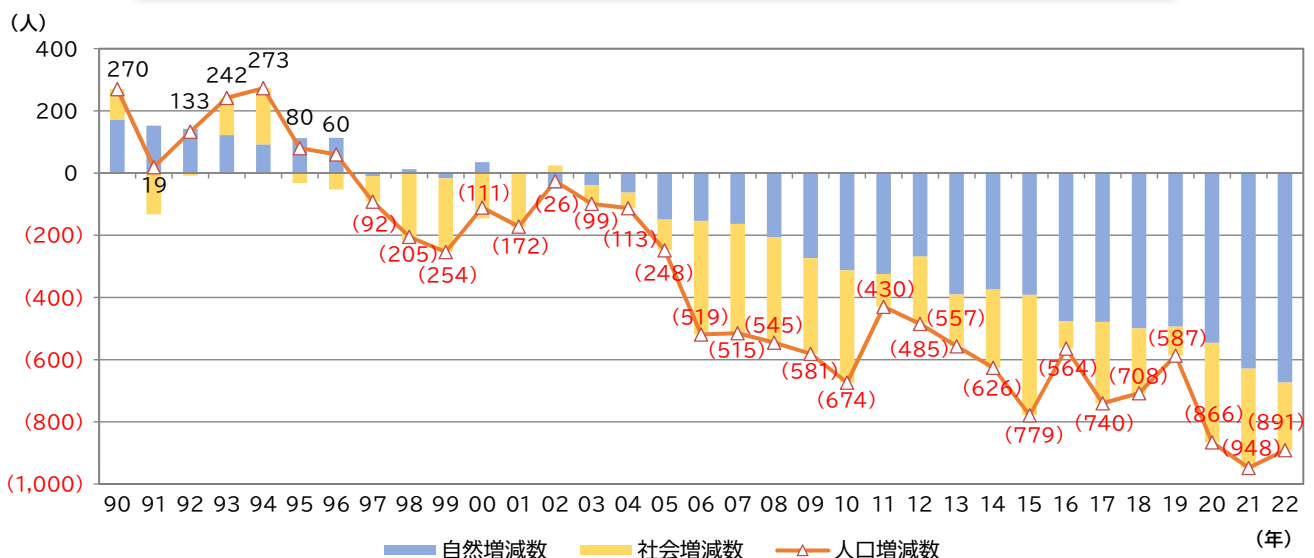
その中で、当面は、人口が減少した社会にあっても、持続可能で市民が幸せに暮らすことができる環境を維持することが重要です。そのためには、人口を現在中津川市に住む定住人口としてだけ捉えるのではなく、中津川市で働く就労人口や中津川市に訪れる交流人口を含めて広く捉え、中津川市の活力を持続させる必要があります。

以上により、中津川市が重点的に取り組む課題を次のとおりとします。

課題

人口減少社会の中で

- ・ 将来的に人口減少を食い止める
- ・ 自分らしく幸福に暮らせるまちを守る



人口の増減数（自然増減・社会増減）

2-2 重点施策の目指すところ

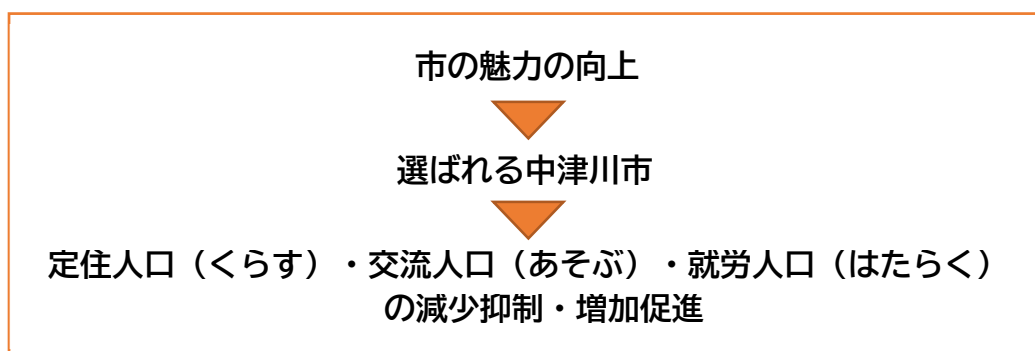
課題を解決し、将来都市像を実現するには「定住人口（くらす）」、「交流人口（あそぶ）」、「就労人口（はたらく）」それぞれの減少抑制と増加促進が必要です。そして、その実現のためには、大きく変化する社会の中で、魅力にあふれ、選ばれる中津川市となる必要があります。

中津川市には、森林や清流、そこで育まれた歴史文化など、古くから守り育ててきた豊かで素晴らしい資源があります。さらに、リニア開業によって生み出される大都市圏や海外とのアクセス性、最先端技術による生活の利便性など、これから新たに資源となり得るものも数多くあります。

前期基本計画においては、元々ある多様な資源を守り、磨き上げるとともに、新たな資源を作り上げ、それらをつなぐことで生まれる相乗効果により、市の魅力を最大限に引き出すことに重点的に取り組みます。

人口減少、少子高齢化が進む時代にあっても、市の魅力を高め、選ばれる中津川市となることで、人口の減少を抑制し、増加を促進させて、市民の豊かな暮らしを守り、今後も持続していくまちを目指します。

以上により、重点施策の目指すところは次のとおりとします。



2-3 重点施策の取り組み


重点施策の目指す姿の実現に向けて、各分野から重点的に取り組むものと、主な取り組みの内容を抽出します。

各分野での重点的な取り組みによって、市民に、市外の人々に、企業に選ばれる中津川市を実現し、将来にわたって持続的に定住人口、就労人口、交流人口の減少抑制・増加を目指します。

分野	目指す姿	主な取り組み
子育て	・地域や地元企業などさまざまな人と協働し、地域資源の活用を通じて、子どもたちが地元への愛着を育み、未来を担う人材として成長できる環境を整えます。	・地域を支える人材の育成
	・子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援の強化、交流の場の積極的な整備を進めます。	・子育て支援の充実 ・安心して子育てできる環境の整備
教育	・子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整え、基礎的な学力の向上に加え、自立心や多様な価値観を培います。	・教育内容の充実 ・市民が参加する教育体制の整備
健康	・市民が安心して医療が受けられるように、人材の確保などに取り組むことで地域医療を安定して供給し、誰もが便利に医療を利用することができる環境の整備を進めます。	・医療施設の適切な整備（新病院建設の検討） ・市民が安心して利用できる医療の提供
誘致	・成長性のある企業の誘致を推進し、市内経済の基盤を強化するとともに、新たに挑戦を行う企業や人を支援することで、若者や都市部の人材が求める業種の進出を促します。	・リニアの開業に向けたさまざまな誘致 ・意欲的な起業の推進
観光	・自然、歴史、文化、食などの地域の魅力を活用することにより、持続可能な観光産業の発展に取り組めます。	・持続可能な観光関連産業の推進 ・戦略的な視点による観光の取り組みの推進
リニア	・リニア中央新幹線の開業に向けて、リニア駅周辺の発展を促進し、広域交通の結節点としての機能を強化します。	・リニア岐阜県駅周辺の整備 ・広域道路網の整備
	・リニア駅周辺を「岐阜らしさ」「中津川らしさ」が感じられるエリアとすることにより、リニア駅周辺のにぎわいを創出します。	

2-4 重点指標

将来都市像の実現に向けて、選ばれる中津川市となるために、市の魅力の上昇度合いを測る指標を重点指標とし、令和6年度を現状値、令和13年度を将来値として増加させることを目標として定めます。

指標名	現状値	目標	将来値
中津川市が暮らしやすいと思っている市民の割合(%)	65.45	+3.64 	69.09
中津川市に誇りや愛着を感じている市民の割合(%)	60.72	+4.55 	65.27
中津川市に住み続けたいと思っている市民の割合(%)	65.63	+6.91 	72.54

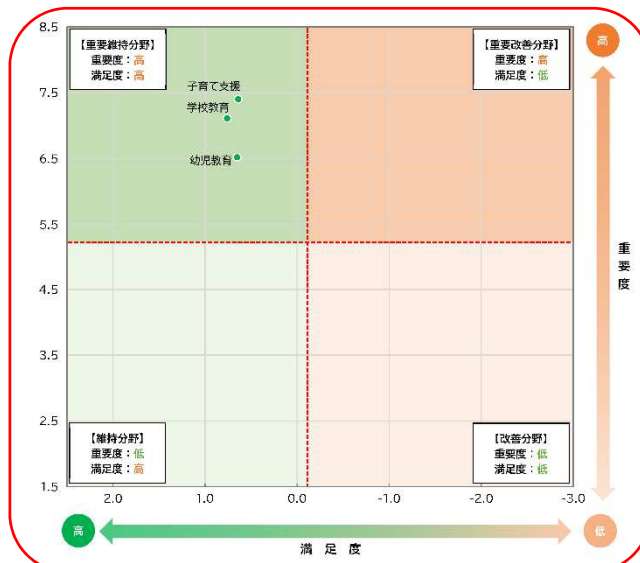
第3章 基本施策

基本施策の見方

政策1 心身共にたくましい子を育てるまちづくり

特徴と課題

- ✓ 人口減少の割合が全国平均、岐阜県平均よりも高く、人口減少への対応が必要である。
- ✓ 子育て支援の強化が求められている。
- ✓ 「子育てのまち」がまちの将来イメージとして捉えられている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
子育て施策への満足度	0.63	+0.60	1.23
教育施策への満足度（学校教育・幼児教育）	0.69	+0.60	1.29

◆政策

将来都市像の実現するための分野別の方向性であり、具体的な施策を取りまとめたものです。

◆満足度と重要度

各分野の満足度と重要度をスコア化して散布図で表したものです。右に行くほど満足度が低く、上に行くほど重要度が高くなっています。

◆数値目標

将来都市像にどの程度近づいているかを確認するため、現状値、目標、将来値を示しています。

<参考>

【市民満足度スコアの計算方法】

■市民意向調査による満足度から以下のようにスコアを算出しました。

<アンケート回答>

選択肢	点数
満足	10
ある程度満足	5
どちらでもない	0
あまり満足でない	-5
満足でない	-10

算出式：スコア＝合計点数／無回答を除く回答数

【算出例】：

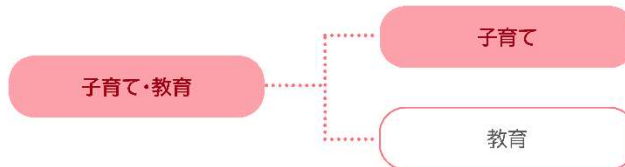
$$\{(20 \times 10) + (149 \times 5) + (256 \times 0) + (76 \times -5) + (23 \times -10)\} / 524 = 0.64$$

項目	満足度					市民満足度スコア
	高	←	→	低		
	10	5	0	-5	-10	
1. 子育て支援の推進	20	149	256	76	23	0.64

施策1-1 子育て

◆施策

政策を具現化するための分野ごとの取り組みを取りまとめたものです。



◆目指す姿

基本構想に定める施策ごとの目指す具体的な姿です。

目指す姿

市民の希望をかなえる【子育て】

- ✓ 市民一人ひとりが結婚や出産、子育てに対して希望を持ち、その希望がかなうまちを実現します。
- ✓ 子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援の強化、子どもの居場所づくり、交流の場の積極的な整備を進めます。
- ✓ 地域や地元企業などさまざまな人と協働し、地域資源の活用を通じて、子どもたちが地元への愛着を育み、未来を担う人材として成長できる環境を整えます。

取り組みの内容

- ✓ 結婚支援の充実
出会いの場を創出するなど、未婚者の出会いをサポートします。
- ✓ 妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援の充実
安心して妊娠・出産、子育てができるよう、関係機関と連携して母子への健康診査や相談、子育て支援など、すべてのライフステージでサポートします。

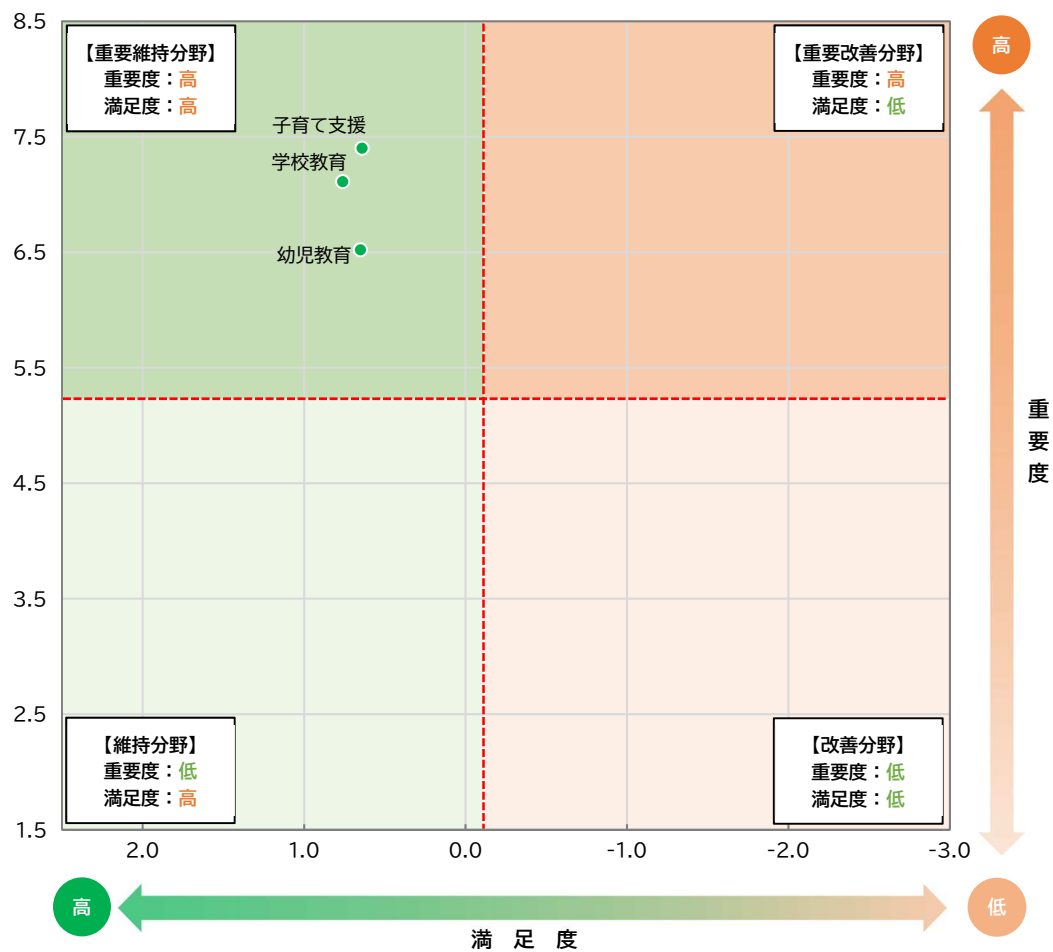
◆取り組みの内容

主だった施策の具体的な取り組みです。

政策1 心身共にたくましい子を育てるまちづくり

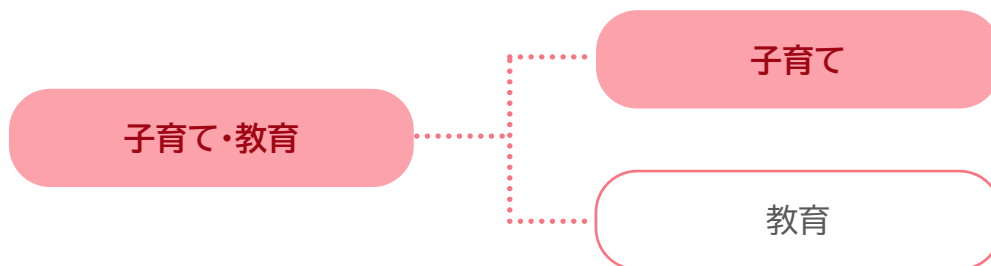
特徴と課題

- ✓ 人口減少の度合が全国平均、岐阜県平均よりも高く、人口減少への対応が必要である。
- ✓ 子育て支援の強化が求められている。
- ✓ 「子育てのまち」がまちの将来イメージとして捉えられている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
子育て施策への満足度	0.63	+0.60 	1.23
教育施策への満足度（学校教育・幼児教育）	0.69	+0.60 	1.29

施策1-1 子育て



目指す姿

市民の希望をかなえる【子育て】

- ✓ 市民一人ひとりが結婚や出産、子育てに対して希望を持ち、その希望がかなうまちを実現します。
- ✓ 子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援の強化、子どもの居場所づくり、交流の場の積極的な整備を進めます。
- ✓ 地域や地元企業などさまざまな人と協働し、地域資源の活用を通じて、子どもたちが地元への愛着を育み、未来を担う人材として成長できる環境を整えます。

取り組みの内容

- ✓ 結婚支援の充実
出会いの場を創出するなど、未婚者の出会いをサポートします。
- ✓ 妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援の充実
安心して妊娠・出産、子育てができるよう、関係機関と連携して母子への健康診査や相談、子育て支援など、すべてのライフステージでサポートします。

取り組みの内容

✓ 安心して子育てできる環境の整備

子育ての当事者が、経済的な不安や孤立感、過度な使命感や負担を抱かず、ゆとりを持って子どもと向き合い、安心して子育てできるよう支援します。

子どもの遊び場、親の交流の場を充実し、利用しやすい環境を整えます。

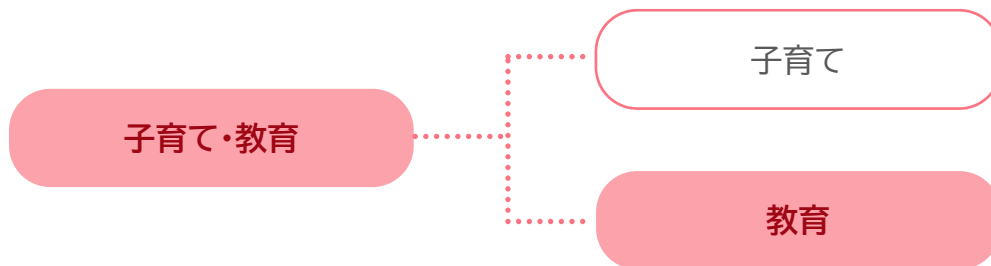
子育て世代が子どもを育てながら安心して働けるよう、子どもの居場所づくりを推進するとともに、民間との協働を進め、保育サービスの充実を図ります。

✓ 地域を支える人材の育成

キャリア教育を充実させ、地域企業や専門家と連携して職場体験などを実施し、子どもたちを実社会と触れ合わせることで、将来の選択肢を広げ、将来の地域やまちづくり、未来を担っていくことができる人を育てます。



施策1-2 教育



目指す姿

たくましい子を育てる【教育】

- ✓ 児童・生徒が安心して、安全に楽しく生活・学習できる環境を整備します。
- ✓ 確かな学力とたくましい体、豊かな心、集団の中でたくましく生きていく力を持つ子どもを育てます。
- ✓ 安心して通学・通園できる環境の整備や、安全・安心・快適な幼児教育、保育環境の整備を行い、地域全体で子どもたちの成長を守る体制を築きます。

取り組みの内容

- ✓ 教育・保育環境の整備
学校施設等について計画的な適正配置の推進と長寿命化、建て替えを含めて検討するとともに、学校運営の効率化などを図るための情報基盤の整備を推進します。

取り組みの内容

✓ 教育内容の充実

生徒一人ひとりに合わせた「個別最適な学び」を推進し、学力の向上と、生活や学習の基礎基本、それらを応用する力を獲得させるとともに、子どもたちが自ら考え、行動し、表現する力を育みます。

集団の中で生きていくための力と多様な価値観を培い、自立した社会人となることができるサポート体制の充実に努めます。

児童一人ひとりの発達を見通し、小学校教育とのつながりを考えるとともに、質の高い幼児教育・保育を展開します。

✓ 市民が参加する教育体制の整備

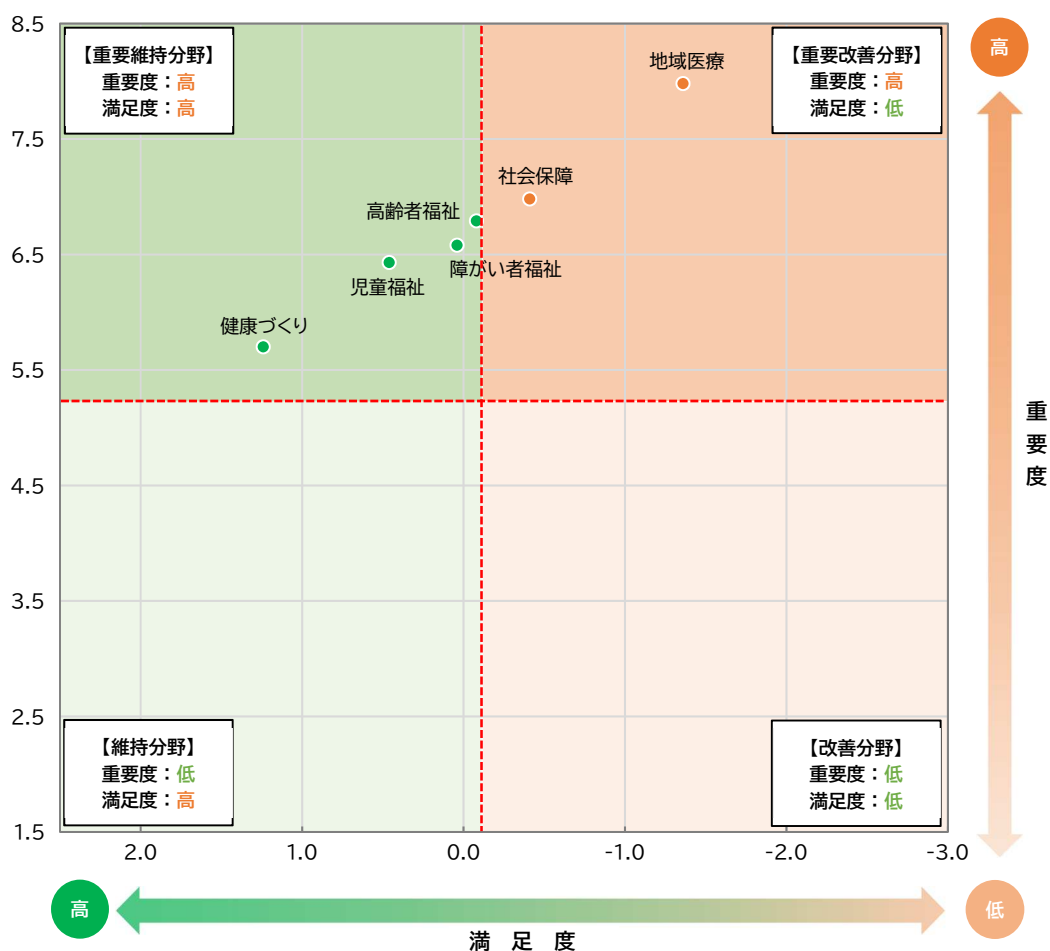
積極的に情報を提供し、地域に開かれた学校、園づくりを進め、市民の参画を得て地域の教育力を最大限に活用し、学校の授業だけでは身につけることのできない総合力・実践力・発展的な力をつけられる体制を整備します。また、地域住民や保護者との交流や活動を通じて子どもの成長を地域全体で支援します。



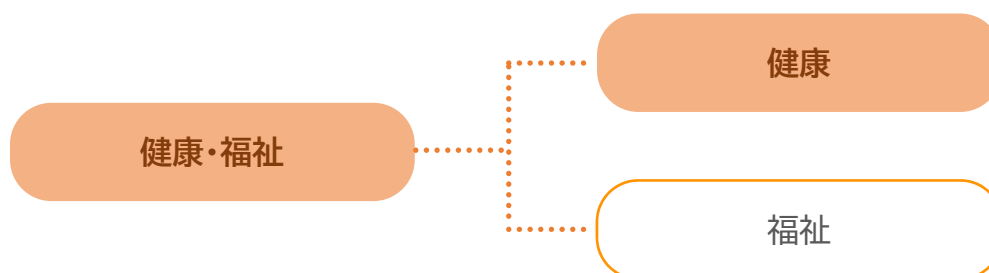
政策2 住み慣れた地域で、自分らしく健やかに安心して暮らせるまちづくり

特徴と課題

- ✓ 健康・福祉では、地域医療の充実が重要視されている。
- ✓ 担い手不足への対応や、さまざまな分野への幅広い支援が求められている。
- ✓ 「健康・福祉のまち」がまちの将来イメージとして捉えられている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
中津川市民の健康寿命（歳）	80.8(男) 85.0(女)	+0.4(男) +0.7(女)	81.2(男) 85.7(女)
地域医療への満足度	-1.36	+0.79	-0.57
福祉施策への満足度（児童福祉、障がい福祉、高齢者福祉）	0.13	+0.63	0.76



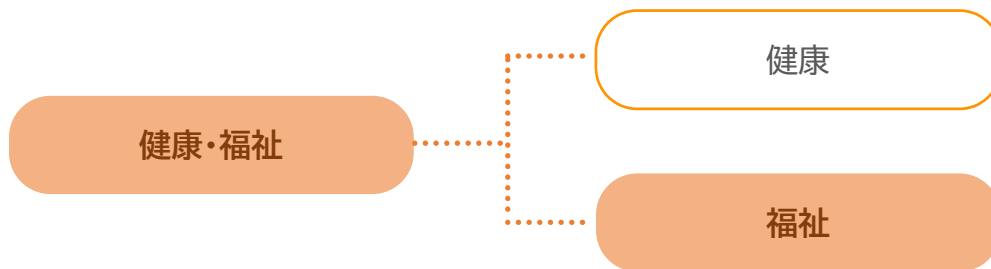
目指す姿

健やかに暮らせる【健康】

- ✓ 健康寿命の延伸に向けて、健康意識の向上や予防医療を推進するとともに、日常的な運動習慣の定着を促進します。
- ✓ 安心して医療が受けられるように、人材の確保などに取り組むことで地域医療を安定して供給できる環境と、誰もが円滑に医療を利用することができる環境の整備を進めます。

取り組みの内容

- ✓ 健康づくりの推進
全世代で、それぞれのライフスタイルに対応した健康づくりを関係機関と連携しながら推進します。
- ✓ 市民の健康意識向上
市民の健康意識を高めるため、各種健診の受診勧奨、出前講座や各種教室などの健康教育を通じて、健康づくりの意識向上を推進します。
- ✓ 医療施設の適切な整備
広域医療圏を見据えて、新病院建設の検討を進めます。
- ✓ 市民が安心して利用できる医療の提供
公立病院の健全経営を維持し、地域の医療機関との連携強化に努め、医療スタッフの確保と定着推進を図るとともに、地域医療サービス体制の維持に努めます。



目指す姿

安心して暮らせる【福祉】

- ✓ 子どもや障がいのある人などを含め、すべての人が環境に左右されことなく健全に成長し、平等に社会参加することで、生きがいを持って生活するための支援体制と環境を整備します。
- ✓ 高齢者が自立して生活し、安心して便利に介護を利用できる環境を整備することで、尊厳を持って暮らすことができる地域づくりを促進します。
- ✓ 支え合いや助け合いの仕組みを地域社会全体で強化し、共助の精神に基づくまちの絆を育みます。
- ✓ 多様化し、複雑化していく課題に対して包括的な支援を行き届かせることで、市民が自立し、健康で安心して暮らせる社会を目指します。

取り組みの内容

- ✓ 困難な状況にある子どもへの支援
育児不安や児童虐待の早期発見に努めるとともに、子どもの現在と将来が生まれ育った環境や障がい、貧困などによって左右されることのないよう、一体的な体制で支援します。
- ✓ 障がいのある人への支援
市民の障がいに対する理解を深め、地域やまち全体で支え合えるように、切れ目のない支援を行います。

取り組みの内容

✓ 高齢者が生き生きと暮らすための支援

住み慣れた地域で自分らしく生活し続けられるよう、保健、医療、介護の各分野で連携して、地域が一体となり介護予防や認知症への取り組みを推進します。

✓ 誰もが暮らしやすい環境の整備

気軽に運動ができる環境の整備や施設のバリアフリー化、アクセス性の向上などにより、誰もが健康で暮らしやすい環境を整えます。

✓ 安定した地域福祉・社会保障の実施

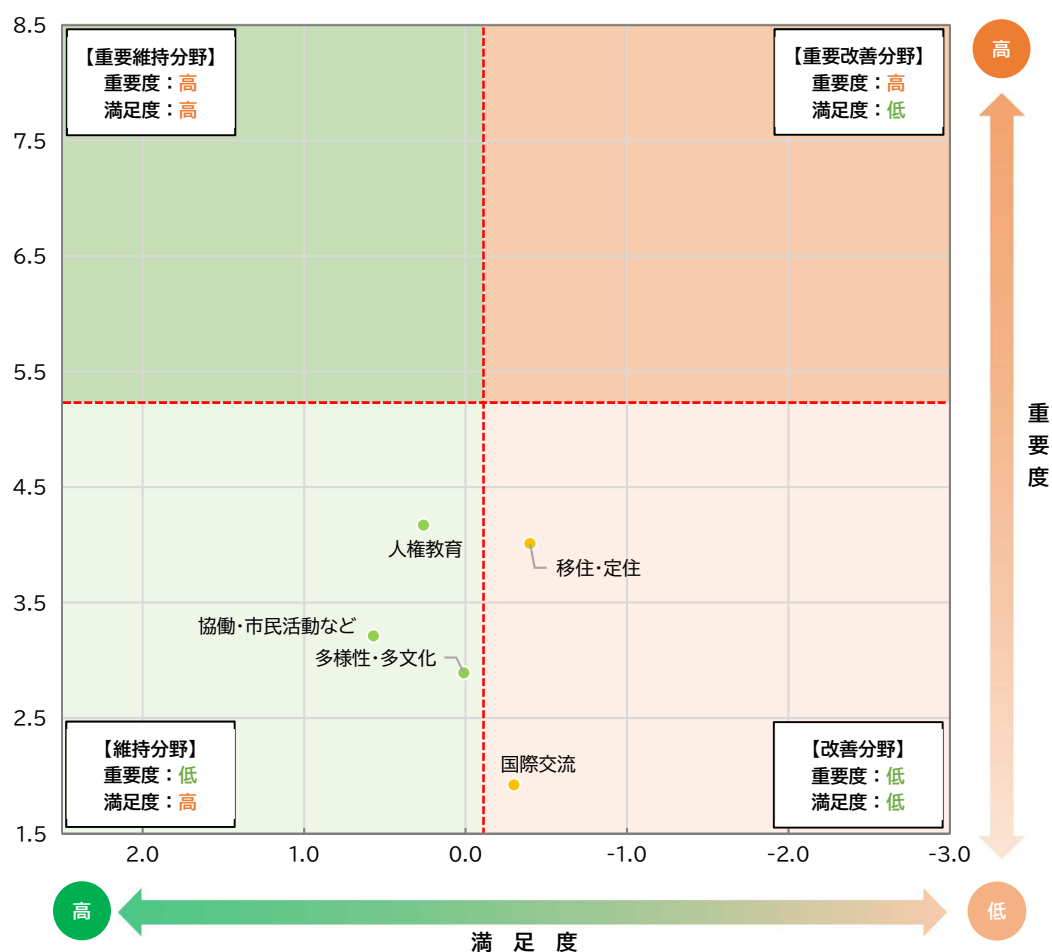
地域の支え合い活動を推進するため、地域福祉を推進する各種団体や各種委員の活動を支援します。また、安心して生活ができるよう安定した社会保障を実施します。



政策3 さまざまな人々が尊重し合い、共に活躍できるまちづくり

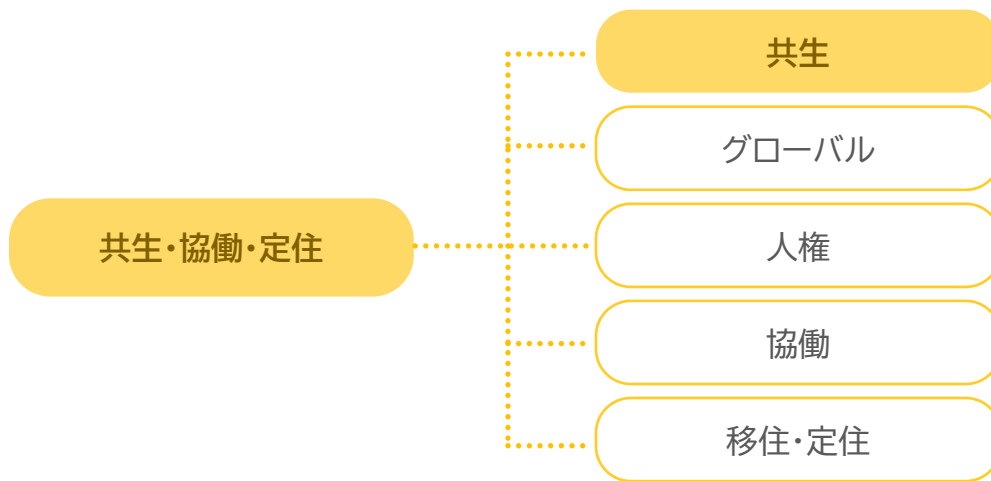
特徴と課題

- ✓ 少子高齢化などにより地域の活力が低下していると捉えられており、若者の移住・定住の取り組みが必要とされている。
- ✓ 中津川市に住んでよかった理由の上位に人のやさしさ、温かさ、親切さが入っている。
- ✓ 市内各地区それぞれに地域性が色濃くある。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
共生社会の推進への満足度 (多様性の尊重・多文化共生の推進、国際交流の充実、人権教育の推進)	0.00	+0.61	0.61
協働・市民活動・コミュニティ活動の充実への満足度	0.56	+0.61	1.17
移住・定住施策への満足度	-0.40	+0.69	0.29

施策3-1 共生



目指す姿

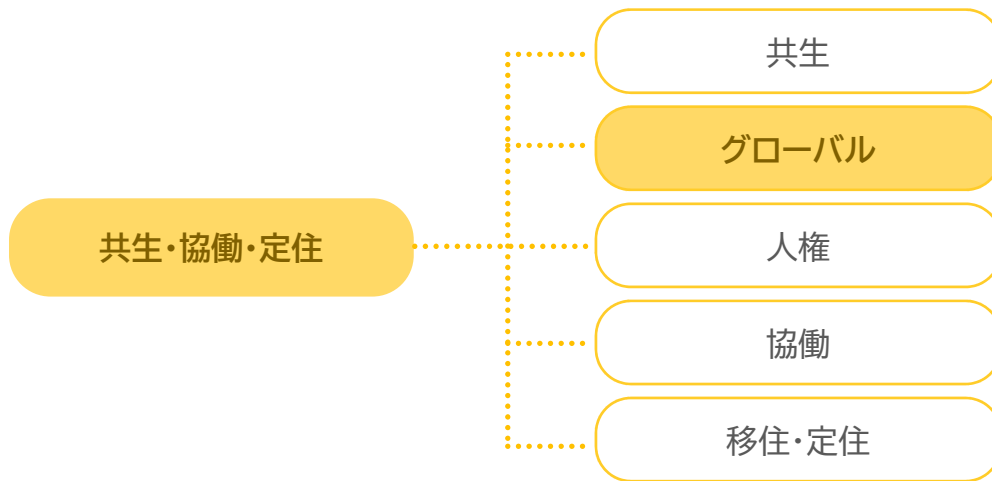
共に認め合う【共生】

- ✓ 国籍や年齢、性別などさまざまな背景を持つ人々が互いに尊重し、支え合い、受け入れ合い、自分らしく活躍できる共生社会づくりを進めます。
- ✓ 男女共同参画社会や多文化共生の理解を深めるための教育や活動を通じて、多様性を力とする持続可能な地域社会づくりを進めます。

取り組みの内容

- ✓ 男女共同参画の推進
性別に関係なく共に仕事と生活の調和がとれた社会を実現できる地域づくりを進めます。
- ✓ 市民活動の促進
地域コミュニティを維持していくため、まちづくり組織の活動を支援します。
また、地域づくりの中心となる人材の確保や育成に努めます。
- ✓ 外国人住民への支援
多文化共生社会を推進し、外国人住民が地域社会の一員として、安全・安心に暮らすことができる環境を実現します。

施策3-2 グローバル



目指す姿

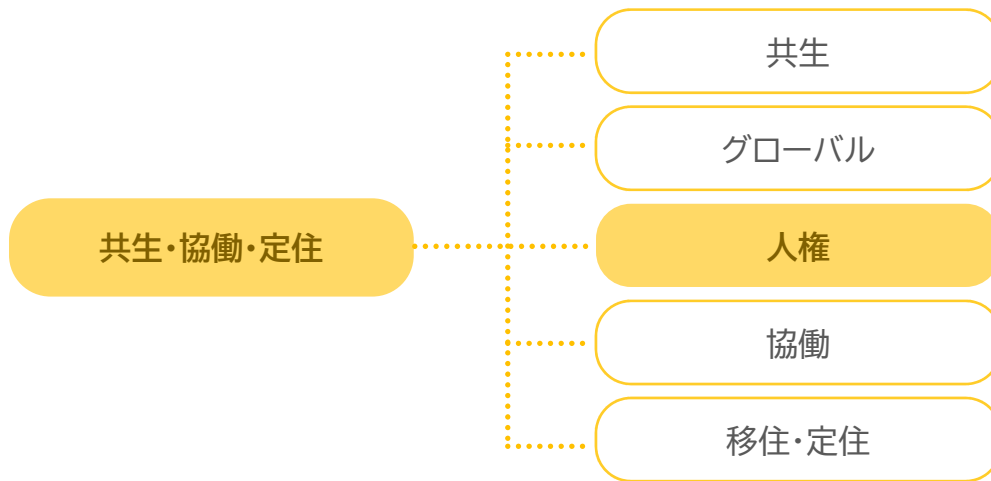
国際感覚を根付かせる【グローバル】

- ✓ 国際理解と交流を促進し、地域在住の外国人や海外からの観光客との交流を深め、相互理解を助ける取り組みを進めます。
- ✓ 市民がグローバルな視点を身につける機会を提供し、国際感覚豊かな次世代の育成と地域の国際化を推進します。

取り組みの内容

- ✓ 国際交流の推進
若い世代が国際的な視野を広げ、多様な文化を持つ人々と交流を図り、国際感覚を持った人材の育成を推進します。
- ✓ 地域内交流の推進
外国籍の市民の地域内での交流を推進します。

施策3-3 人権



目指す姿

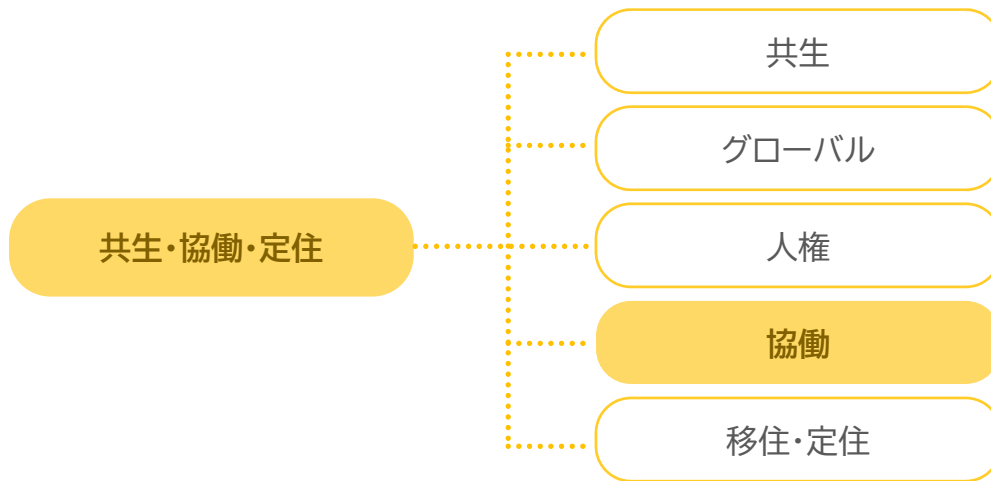
尊厳を守る【人権】

- ✓ 子どもや高齢者、障がいのある人など、あらゆる人が人権の主体として尊重され、また、他者を尊重できるように、学校や地域をはじめとした多様な場において、人権についての学びの機会を充実させ、誰もが安心して生活できる地域社会を築きます。
- ✓ 市民一人ひとりが互いを思いやり、不当な差別や偏見をなくす取り組みに積極的に参加できる環境を整えます。

取り組みの内容

- ✓ 人権啓発の推進
広く市民に人権を尊重することの重要性を認識してもらうための人権啓発活動や、人権意識の高揚を図るための研修などを実施します。
- ✓ 人権教育の推進
幼児教育、学校教育を通じて幼児期からの人権を尊重することの大切さを学ぶための教育を推進するとともに、社会教育の機会を通して人権意識の向上を図ります。
- ✓ 人権相談体制の充実
多様な人権相談に対応するため、人権相談所を開設し、相談体制の充実を図ります。

施策3-4 協働



目指す姿

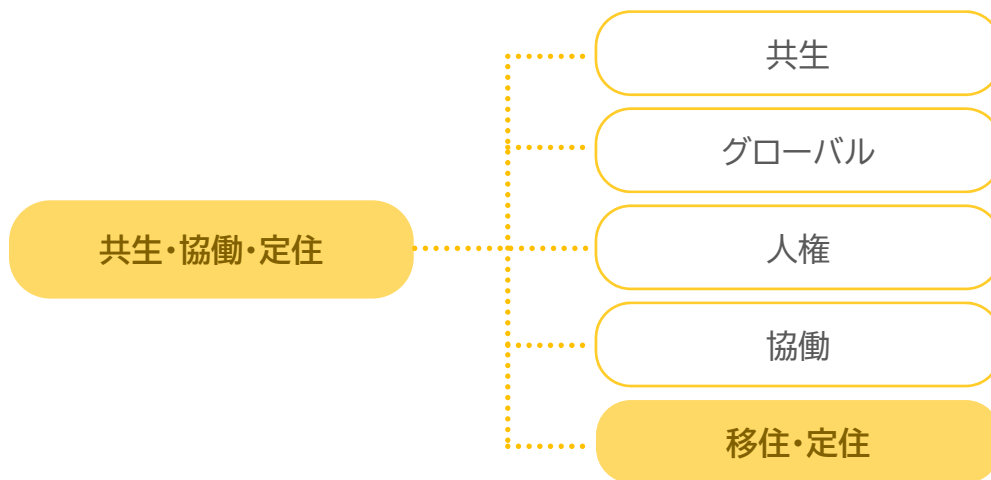
共に地域をつくる【協働】

- ✓ 市民活動やコミュニティ活動を支援するための情報提供や活動基盤の整備を進め、市民が主体的に地域課題の解決に取り組む土壌を育てます。
- ✓ 若い世代の地域との交流を推進し、地域の文化や歴史などを通じて誇りや愛着を醸成することで、定住やふるさと回帰を推進します。

取り組みの内容

- ✓ 地域活動の推進
地域の人が気軽に集まり、交流できる環境・機能を整え、地域づくり組織の強化と支援を行うとともに、地域の在り方について検討を進め、地域課題の解決に向けた活動や地域の特性を生かした取り組みなどを支援します。
- ✓ 域学連携の強化
市内外の幅広い学生による域学連携活動を推進することで、若者の地域への誇りと愛着を醸成するとともに、関係人口の創出と地域の活性化を進めます。
- ✓ 国内交流の推進
交流協定などを結んでいる自治体と、まちの魅力や個性、郷土の魅力に触れる交流を実施します。

施策3-5 移住・定住



目指す姿

中津川に住もう【移住・定住】

- ✓ 中津川市の自然、文化、教育、福祉などの地域資源を活用し、市に移住を希望する人々を積極的に受け入れる仕組みを整えます。
- ✓ 移住者と地域住民が調和しながら共に歩む地域づくりを支援します。
- ✓ 働きやすさ、住みやすさの向上を図り、若い世代や移住者が活力ある新しい生活を始められる環境を整備します。

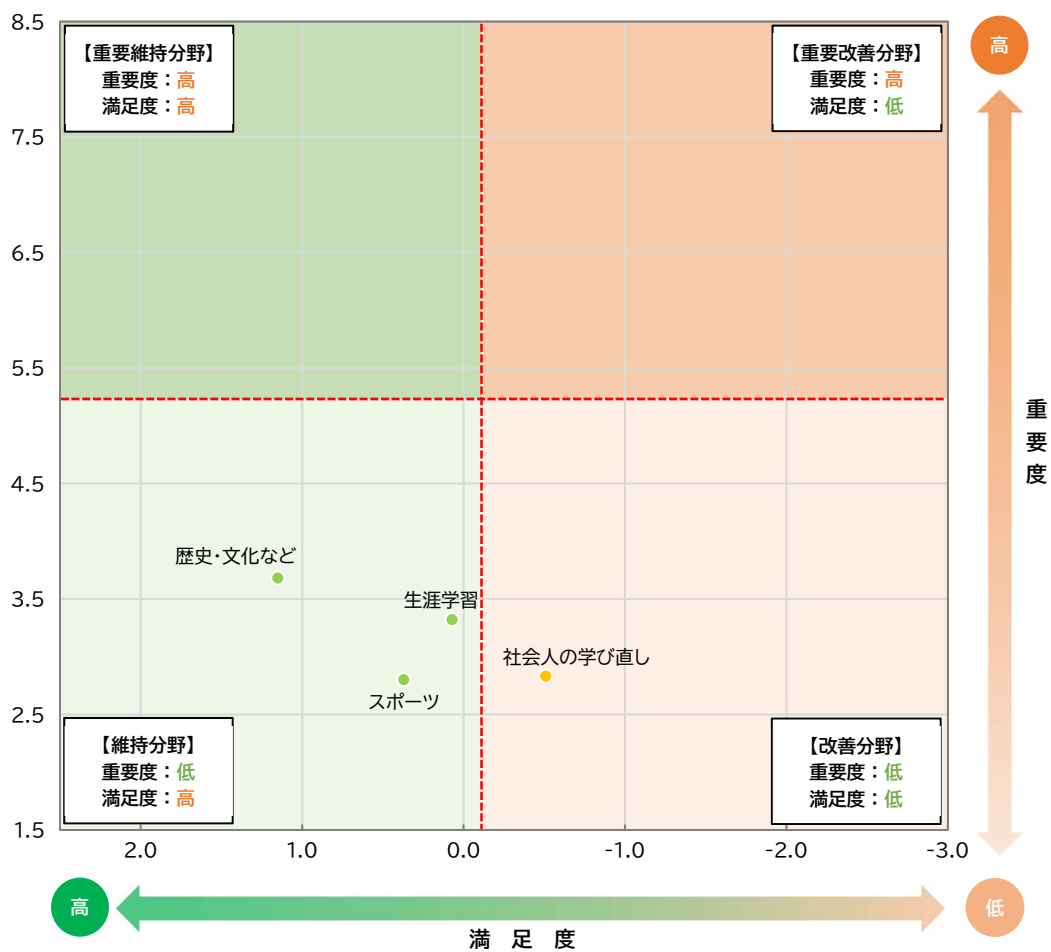
取り組みの内容

- ✓ 移住支援
相談窓口の強化や移住への支援を行うとともに、市の魅力や支援の情報を広く発信します。
- ✓ 若者の定住促進
市外転出による人口減少を食い止めるため、若者の地元定着に向けた支援と空き家の利活用への支援を行います。

政策4 人々が学びや活動を通して、いきいきと暮らすことができるまちづくり

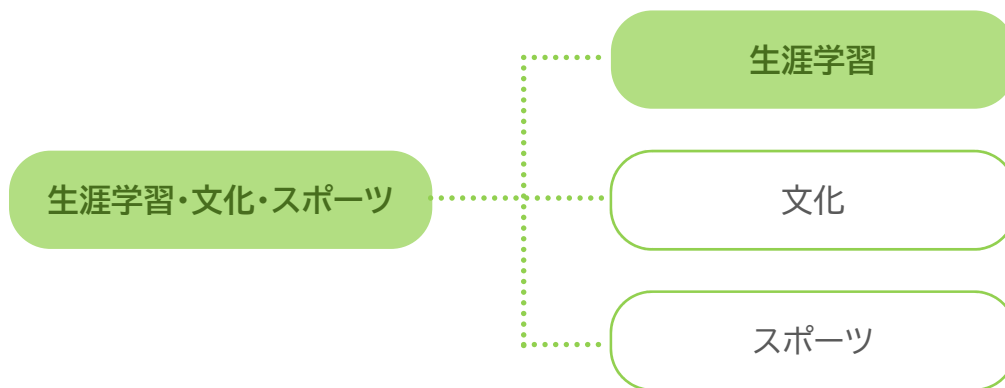
特徴と課題

- ✓ 学んだ成果を活用する場や人材の育成が求められている。
- ✓ 市内には多くの魅力があるものの、それを生かし切れていない。
- ✓ 市の強みとして、歴史・文化の豊かさや伝統芸能などの資源が認識されている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
生涯学習の充実への満足度	0.07	+0.60 	0.67
歴史・文化、伝統芸能の保全・伝承・利活用への満足度	1.15	+0.48 	1.63
スポーツの振興への満足度	0.37	+0.60 	0.97

施策4-1 生涯学習



目指す姿

学びを楽しみ、いかす【生涯学習】

- ✓ 市民が生涯にわたって主体的に学ぶことができる環境を整えることで、生き生きと自由に学びを続けられる環境を整えます。
- ✓ 市民が新たな知識やスキルを習得できる機会を整え、学び直しを支援するとともに、学んだ成果を生かす機会を創出することで、知識の習得やスキル向上を地域の成長につなげます。
- ✓ 幼いころから本への興味を育み、読書習慣の定着、促進を図ることで、幅広い世代が生涯にわたり学びの喜びを実感し、さらに深めていくことができる環境を提供します。

取り組みの内容

✓ 生涯学習の推進

多様な学習ニーズに対応する講座や図書館・博物館を活用した学習機会の提供などにより、市民の好奇心を刺激する学びの場を提供するとともに、市民講師としての登用や、サークル活動などを支援することで、学んだ知識や技能を生かせる環境を整えます。

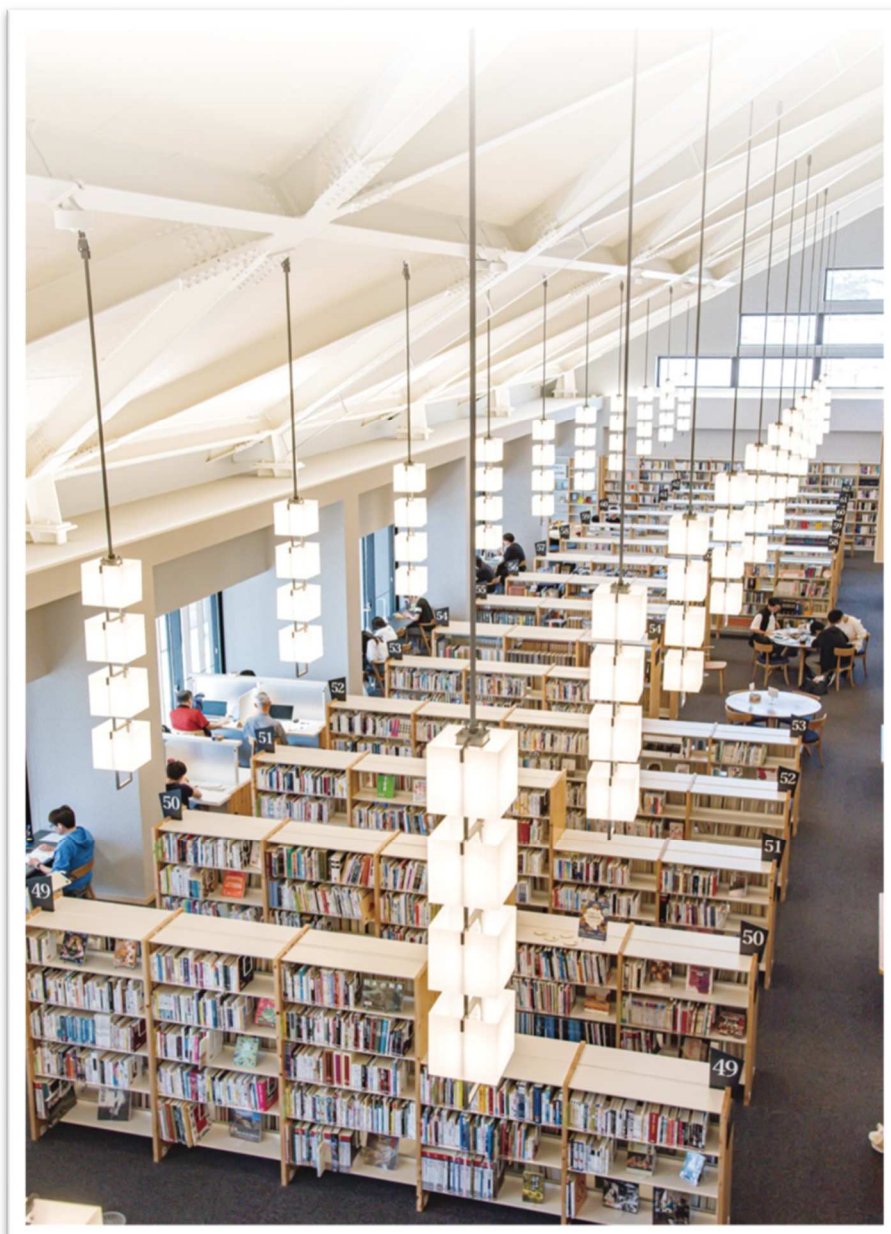
取り組みの内容

✓ 読書の推進

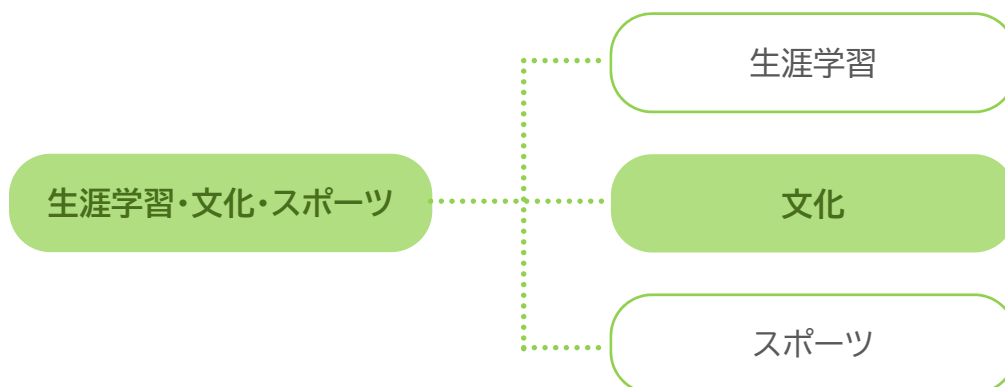
図書館が核となり家庭・地域・学校が連携し、幅広い世代に向けた読書推進活動を展開することで、読書の輪を広げるとともに、読書に親しむことができる環境を整えます。

✓ 生涯学習施設の整備検討

計画的に施設の統合と複合化の検討を進めるとともに、地域の拠点機能の充実を図り、地域の実情にあった公民館とするため、必要に応じた整備を検討します。



施策4-2 文化



目指す姿

歴史、伝統を守り、いかす【文化】

- ✓ 地域の歴史的資源や文化的価値を適切に保全し、地域の歴史や文化に親しむ環境を整えることで郷土愛を育み、地域への誇りを抱かせ、次の世代に継承します。
- ✓ 伝統芸能や地域文化が持続可能な体制を確立し、継続した活動が維持できるよう支援するとともに、その魅力を発信することで資源としての活用促進を図ります。
- ✓ 幼いころから優れた文化や芸術に触れることができる機会と環境を整えることで、豊かな心を育みます。
- ✓ 地域の文化を共有・発展させる基盤を築き、市民が積極的に文化的活動に参加できる環境を形成します。

取り組みの内容

- ✓ 歴史文化の魅力発信と活用
幅広い年代の市民に市の歴史文化の魅力を伝える取り組みを推進します。また、歴史文化資源を活用することで地域の活力を生み出し、地域への誇りや愛着を醸成するとともに、市の魅力を市外へ発信します。
- ✓ 文化資源の保存管理環境の整備
市内各所に収蔵している歴史的資料などについて、散逸を防ぐため保管場所などの検討を進め、市の文化資源を適切に保存管理できる環境を整えます。

取り組みの内容

✓ 伝統芸能の活動支援と継承

伝統的な行事を行っている団体がその活動を続けられるよう支援するとともに、後継者の育成を推進し、各地域の特色ある伝統芸能を持続可能な形で次世代につなげます。

✓ 芸術活動の推進

市ゆかりの先人を顕彰するとともに芸術に親しむことができる取り組みを推進します。

✓ 歴史文化資源の保存と活用

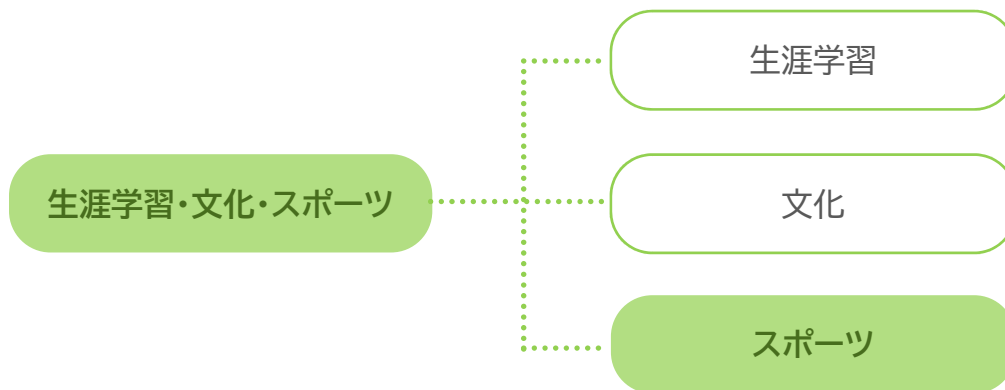
苗木城跡や落合宿本陣をはじめとした歴史文化資源を、健全な姿で後世に伝えるとともに、歴史的価値を維持しながら、観光資源として活用を推進します。

✓ 文化・芸術を核とした拠点の整備検討

市ゆかりの前田青邨画伯をはじめとした著名な芸術家の作品に触れる機会の創出を図り、「文化のまち」としての発信力を高め、市内の周遊促進を図るため、既存施設の活用を含めた文化・芸術の拠点の整備検討を進めます。



施策4-3 スポーツ



目指す姿

こころと体を育む【スポーツ】

- ✓ スポーツ活動の推進を通じて、市民の健康を増進し、生きがいをつくりだすとともに、スポーツを通じた人と人とのつながりを促進し、地域コミュニティの一体感を醸成します。
- ✓ 幼いころからスポーツに親しむ環境を整えることで、子どもたちの自信と誇り、豊かな心を育みます。

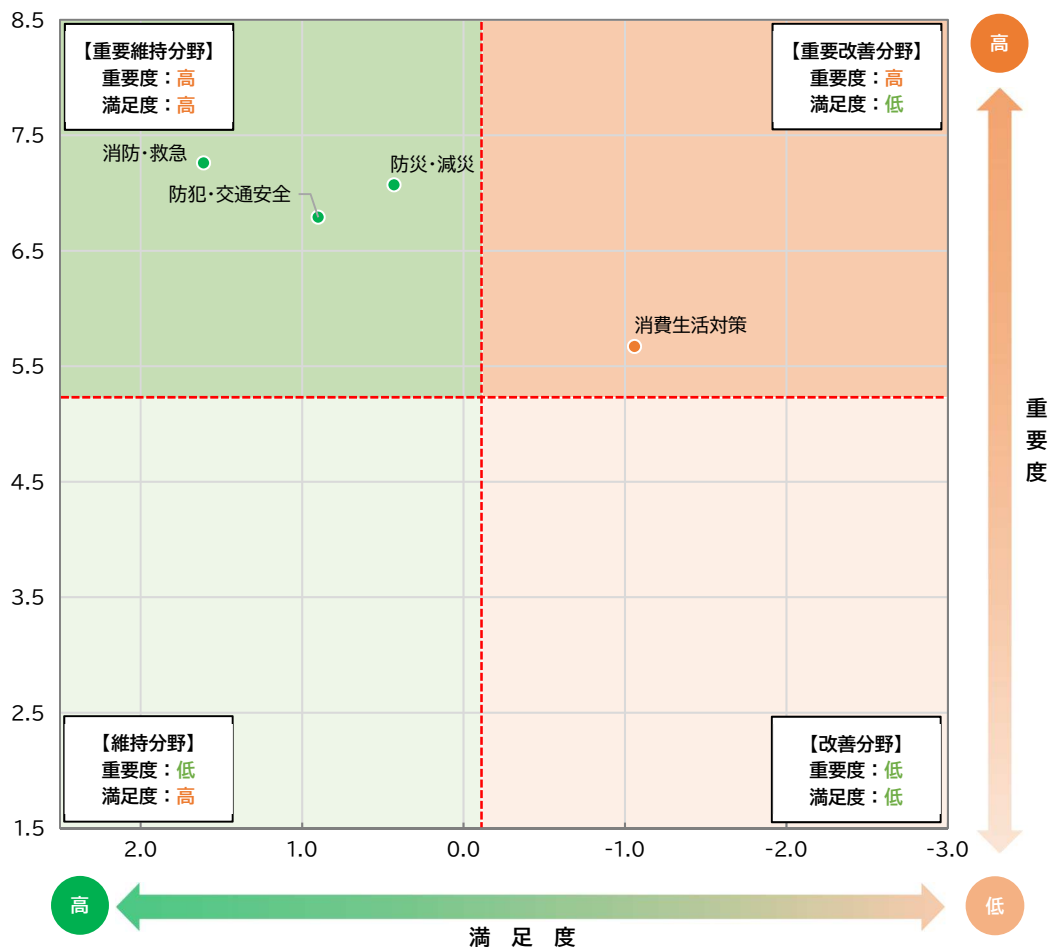
取り組みの内容

- ✓ スポーツの振興と健康増進
スポーツ競技力を向上するために、各種スポーツ団体の活動を支援するとともに健康をテーマにしたイベントなどの開催により、地域全体のスポーツの振興とスポーツを通じた健康の増進に取り組みます。
- ✓ スポーツによる生きがいづくりと地域づくり
地域で身近にスポーツに親しむことができる取り組みへの支援や、各種イベントの実施などにより、スポーツを通じた生きがいづくりと地域づくりを推進します。
- ✓ スポーツ環境の整備
スポーツ施設の適切な整備・管理により、地域住民が安全・安心・快適にスポーツを楽しめる環境を整えます。

政策5 支えあい、安全・安心に暮らせるまちづくり

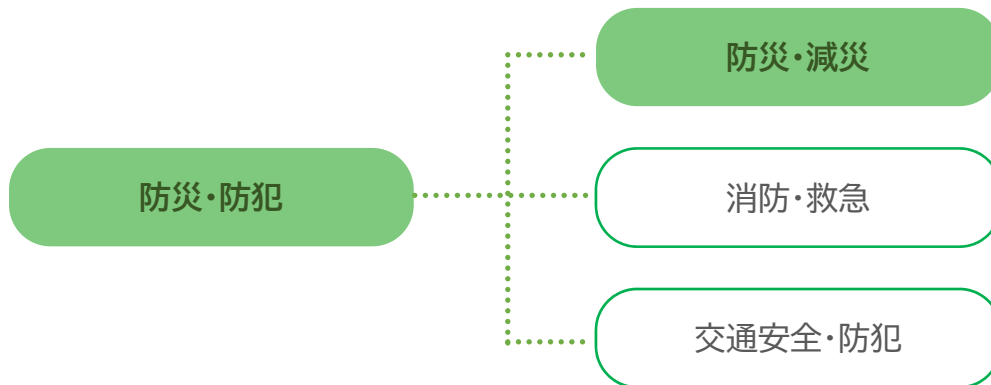
特徴と課題

- ✓ 市民の防災意識の向上とインフラの耐震化などが求められている。
- ✓ 治安の良さや自然災害の少なさが強みとして認識されている。
- ✓ 防災・減災対策の充実が重要度の高い施策として認識されている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
防災・減災対策の充実への満足度	0.42	+0.60	1.02
消防・救急体制の充実への満足度	1.61	+0.49	2.10
防犯・交通安全対策の充実への満足度	0.90	+0.59	1.49

施策5-1 防災・減災



目指す姿

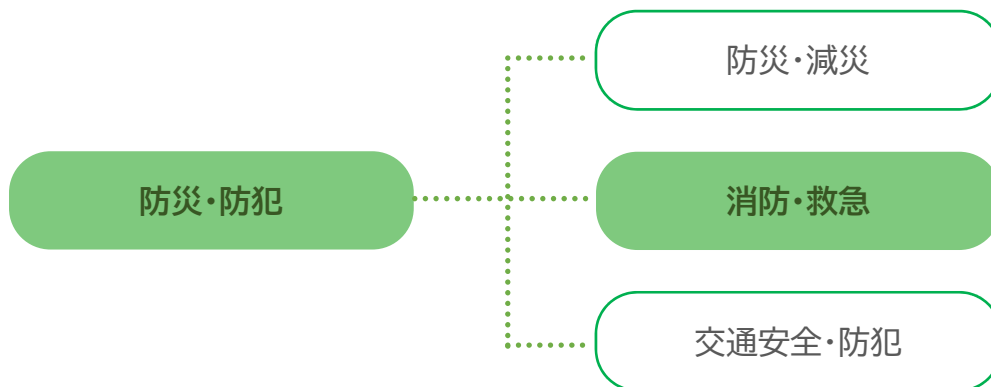
市民を守る【防災・減災】

- ✓ 市民一人ひとりに高い防災意識を醸成し、事前防災と自助・共助の重要性の理解を深めることで、地域全体で命を守る体制を構築します。
- ✓ 防災に関する適切な情報が伝わる環境と、緊急時にも迅速かつ安全に避難できるインフラを整備します。
- ✓ 道路・橋りょう、河川、水路などの整備と適正な維持管理を行うとともに、住宅等の耐震化や森林、農地の適正な管理を推進することで防災・減災力を高め、安全な住環境を整えます。

取り組みの内容

- ✓ 防災意識の向上
広報紙や SNS などを利用して防災情報を積極的に発信すると共に、防災訓練の実施や防災講演会の開催により、市民の防災意識の向上を図ります。
- ✓ 災害に強い環境の整備
橋りょう、住宅などの耐震化や道路、河川などの適切な管理、災害の危険性が低い場所への居住の誘導などにより、市民が安全・安心に暮らすことができる環境を整備します。
- ✓ 事前防災の推進
情報伝達手段の整備、災害に備えた資源の確保などにより災害発生時にも被害を最低限に抑えられる環境を整備します。

施策5-2 消防・救急



目指す姿

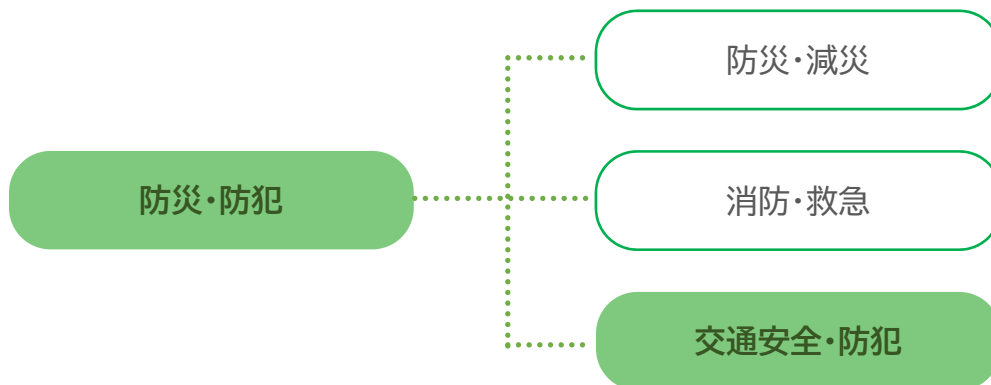
安心して生活できる【消防・救急】

- ✓ 災害時に迅速に対応するための専門設備や災害被害を最小限に抑える設備を整備するなど、市民の命を守る確固たる基盤を築き上げます。
- ✓ 防災に携わる人材の確保に努めるとともに、消防および救急体制の充実に努めることで、地域全体の安全を守ります。

取り組みの内容

- ✓ 広報活動の推進
地域や市民一人ひとりの防災意識の向上や、いのちを守るための知識習得の必要性、防災組織の重要性などについて、さまざまな媒体を用いて地域全体を守るための広報活動を実施します。
- ✓ 消防・救急体制の整備
災害時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急設備や災害被害を軽減するインフラの整備を進めるとともに、消防・救急に必要な人材の確保と育成を進めます。

施策5-3 交通安全・防犯



目指す姿

安全・快適に暮らせる【交通安全・防犯】

- ✓ 行政と市民、地域企業などが協力し合い、地域全体で交通安全・防犯活動に取り組むことで、持続的に安心して暮らせる環境を整えます。

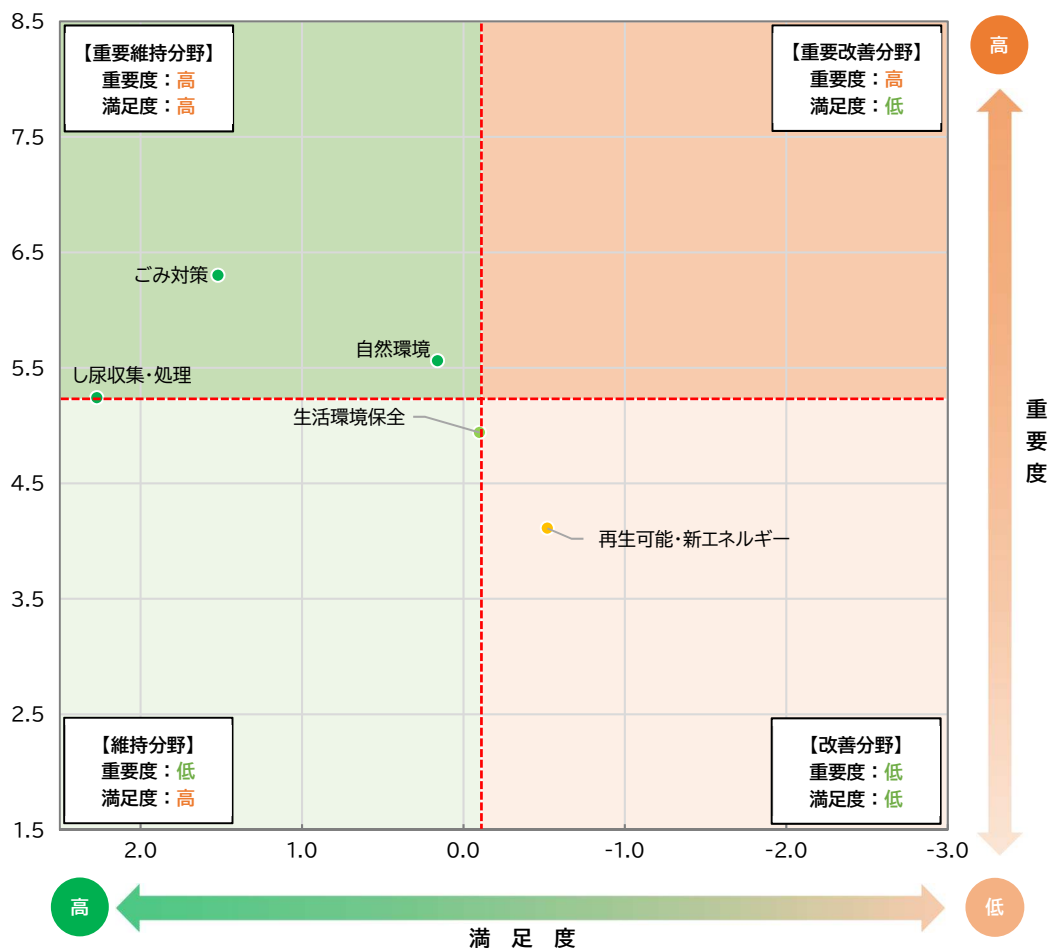
取り組みの内容

- ✓ 交通安全の推進
交通安全運動などの啓発活動、市民参加型の各種交通安全イベントや交通安全教室などの実施、道路交通環境の整備などにより交通安全の推進に取り組みます。
- ✓ 生活安全体制の強化
地域安全ボランティアへの支援や広報、啓発活動などを充実させ、市民と連携した安全・安心なまちづくりを目指すとともに、空き家対策、犯罪抑止などの生活安全体制の強化に取り組みます。

政策6 恵まれた自然を守り、生かすまちづくり

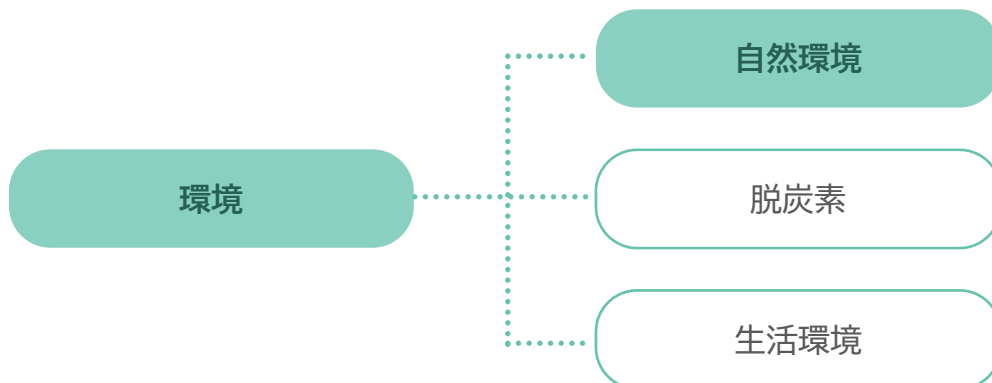
特徴と課題

- ✓ 自然環境保全の担い手不足と高齢化、また、ごみ処理施設などのインフラの老朽化が進行している。
- ✓ 将来像として「自然」に言及するキーワードが多く、森林・清流などの自然資源が強みと認識されている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
自然環境の保全への満足度 (自然環境の保全、再生可能エネルギー・新エネルギー導入の推進)	-0.18	+0.64	0.46
市民1人一日当たりのごみ排出量(g)	884	-62	822
ごみ・し尿・汚水の処理対策への満足度 (ごみ対策の充実、し尿収集・処理の充実)	1.88	+0.47	2.35

施策6-1 自然環境



目指す姿

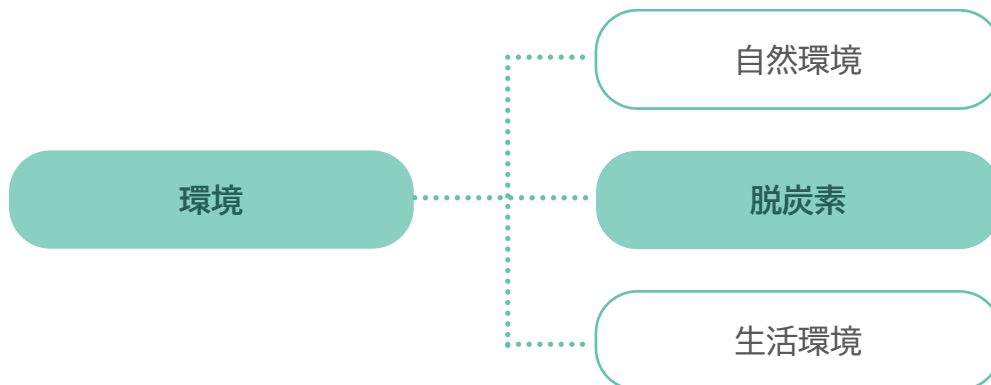
みんなで守る【自然環境】

- ✓ 地域の豊かな自然の重要性を市民全員が共有することで、次世代へ継承し、持続可能な形で保全します。
- ✓ 環境を保全する意識の高い市民を市全体で育てることで、地域の生態系を尊重し、自然との共生を実現します。

取り組みの内容

- ✓ 自然と共生した地域づくりの推進
自然環境を保全するための仕組みづくりを推進するとともに、自然に対する理解を深め、その自然を生かすことで自然環境と共生した地域づくりを推進します。
- ✓ 安全・安心な環境づくりの推進
大気、水、土壌などの環境を保全するとともに、不法投棄の防止やまちの美化活動を通じて、安全で、快適な安心できる環境づくりを推進します。
- ✓ 環境保全に向けた人づくりの推進
環境教育の実施などにより地域における担い手を育成するとともに、さまざまな関係機関と連携して環境保全を推進するための人づくりを推進します。

施策6-2 脱炭素



目指す姿

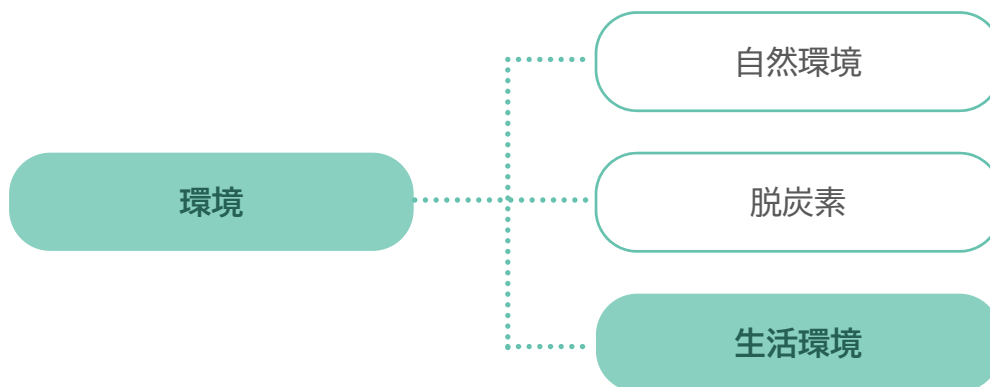
一体となって目指す【脱炭素】

- ✓ 2050年のゼロカーボンシティの実現を目指し、再生可能エネルギーや新エネルギーの導入を積極的に推進します。
- ✓ 地域のエネルギー供給の多様性を確保し、二酸化炭素排出の削減を図るとともに、環境に優しい持続可能な社会の実現を目指します。

取り組みの内容

- ✓ エネルギーの効率的な利用促進
家庭や事業活動における省エネルギー活動を推進するとともに、行政が率先して省エネルギー活動を実施することで、エネルギーの効率的な利用を促進します。
- ✓ 再生可能エネルギーの導入促進
さまざまな再生可能エネルギーの導入を促進することで、脱炭素の推進のみならず、防災や地域の活性化につなげます。
- ✓ 脱炭素施策の推進
エコカーや環境にやさしい交通システムの促進などによる脱炭素化推進のほか、森林の整備などによるカーボンニュートラルにつながるさまざまな取り組みを推進します。

施策6-3 生活環境



目指す姿

快適な生活を守る【生活環境】

- ✓ 廃棄物の適正な管理、収集、運搬を効率的に実施し、適切なおみ処理や、し尿の処理により、地域の衛生的な環境を保ちます。
- ✓ 循環型社会の形成に向けたリサイクル推進とごみの減量化を市民と協働して徹底することで、衛生的で持続可能な環境を整え、次世代に引き継ぎます。
- ✓ 斎場や墓地の適切な管理と整備を行うなど、多様化する市民ニーズに適正に対応できる環境を整えることで、地域社会における快適な生活を守ります

取り組みの内容

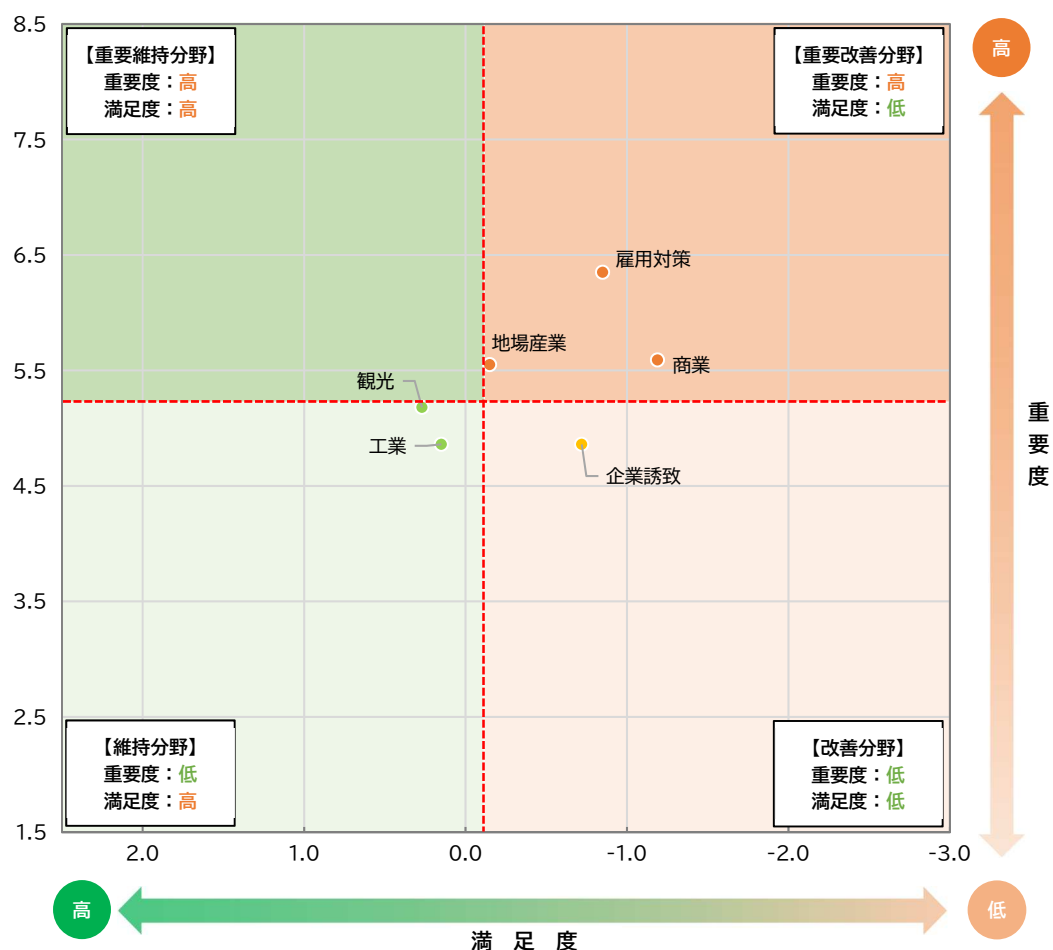
- ✓ 適正なおみ・し尿・汚水の処理の実施
ごみ・し尿・汚水の廃棄物の安全かつ適正な収集運搬と施設運営を実施し、効率的・安定的な処理を実施します。
- ✓ 循環型社会づくりの推進
4R の推進（refuse（ごみになるものを断る）、reduce（ごみを減らす）、reuse（繰り返し使う）、recycle（資源として再利用））の推進により、循環型社会づくりを推進します。
- ✓ 適切な施設管理の実施
老朽化した斎場の更新や、火葬業務、墓地管理の円滑な遂行により、市民に安心と安らぎを提供できるよう、適切な管理運営を実施します。








政策7 商工業や観光業などが活発で、市内に活気があるまちづくり

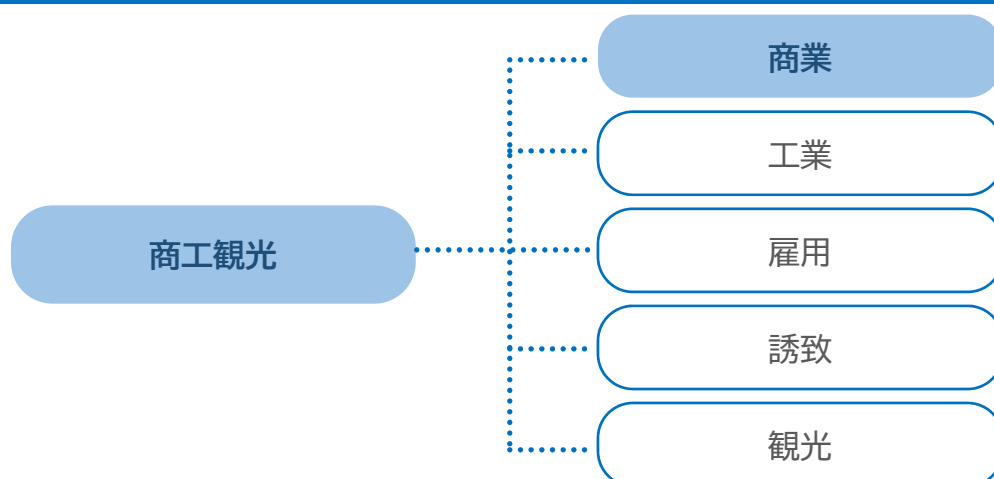
特徴と課題

- ✓ 市内には商業施設を含む遊ぶ場所が不足しており、若者からは不満の意見が多い。
- ✓ リニアを生かした若者の雇用機会の確保が求められている。
- ✓ 観光資源が多く、観光の効果を地域全体に波及させる取り組みが必要とされている。
- ✓ 広域交通網が発達しており交通アクセスに恵まれている。
- ✓ 大規模な製造業が集積している。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
年間商品販売額（卸売・小売業） ※5年毎に調査(百万円)(R3)	122,053	+5,825 	127,878
商業の振興への満足度	-1.19	+0.80 	-0.39
市内製造品出荷額(百万円)(R4)	432,512	+47,488 	480,000
工業の振興への満足度	0.14	+0.57 	0.71
市内観光消費額(推計)(百万円)	18,045	+3,518 	21,563





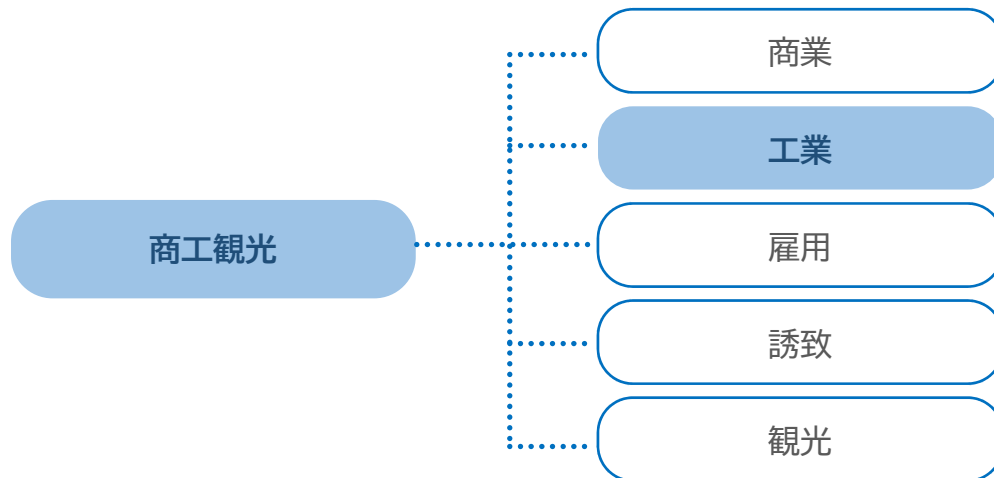
目指す姿

活気あふれる【商業】

- ✓ 地域の文化や中山道の歴史的な風情などを活用して、市内外からの人の流れを創出し、市内全域の商業活動を活性化します。
- ✓ 地域産品の販路拡大や消費者との新たなつながりを生み出す取り組み、担い手の確保などを支援することで、持続可能な商業活動を実現します。
- ✓ 市の玄関口として、駅前の機能を強化し、まちなかを買い物や飲食、宿泊、新しい挑戦や交流を楽しめる空間として活用することで中心市街地の魅力向上を図ります。

取り組みの内容

- ✓ 市内商業の活性化
商工団体と協力し、市民生活を支える事業者の活動や事業承継、創業を支援することで、商業による市内の交流人口拡大を図り、経済と地域の活性化を促進します。
- ✓ 地域産品による中津川市の魅力発信
歴史ある文化と高い技術によって生み出された和菓子や食品、酒、木製品などの地域産品の消費拡大と知名度を高めるため、事業者団体による情報発信や販路拡大などの活動支援を通して中津川市の魅力を発信します。
- ✓ 中心市街地の魅力向上
公共空間や既存の施設などを活用して、まちの玄関に求められる機能の充実を図るとともに、商工団体や商店街、まちづくり会社などと連携した活性化イベントの開催や出店へのサポートをすることで、中心市街地のにぎわいと魅力を向上させます。



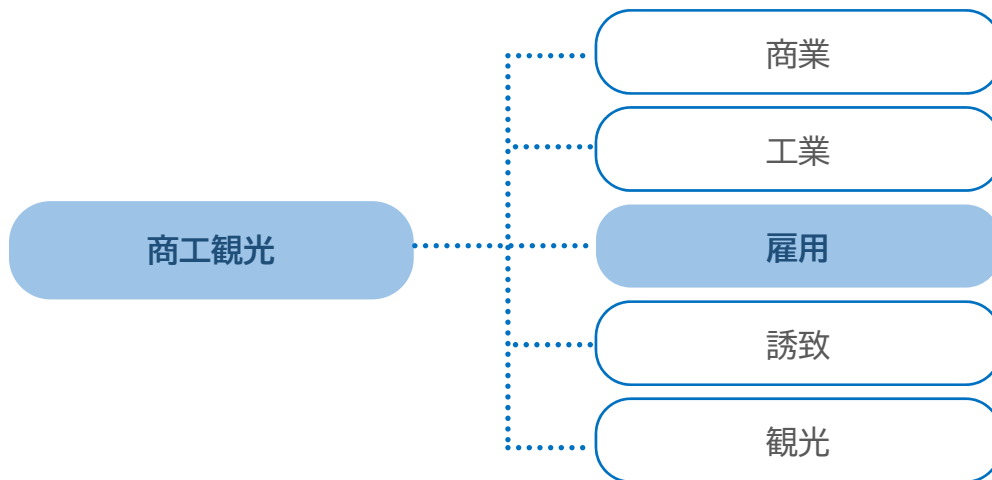
目指す姿

継続して発展する【工業】

- ✓ 地域資源を活用した製品開発や生産性向上を図るとともに、デジタル技術の導入による既存企業の発展を促進します。
- ✓ 起業支援を含む新規事業創出や若い世代の参入を促し、地域産業の基盤のさらなる強化を目指します。
- ✓ 産業基盤の整備への支援などを通じて、安定した事業経営と持続的な成長による工業の活性化を図ります。

取り組みの内容

- ✓ 市内企業の生産性向上推進
人材育成、設備投資などへの支援や、デジタル技術などの新たな手法の導入への支援により市内企業の生産性向上を推進します。
- ✓ 市内企業の事業拡大推進
新分野への進出に伴う市場の開拓、新市場の開拓や販路の拡大への支援により、市内企業の事業規模の拡大を推進します。



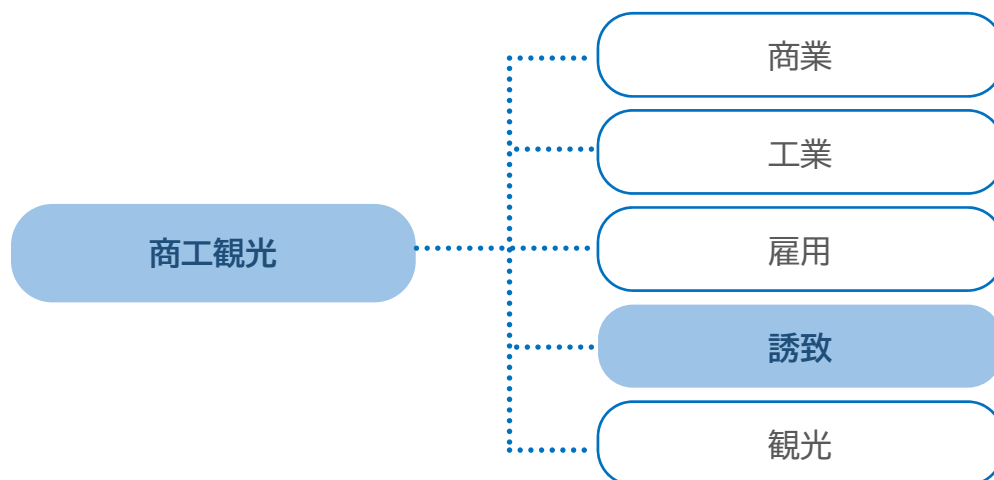
目指す姿

人も企業も力を発揮できる【雇用】

- ✓ 年齢、国籍、性別を問わず、誰もがその能力を発揮し、活躍できる雇用環境を目指します。
- ✓ 労働環境の改善や多様な働き方への対応を進め、職場における働きやすさを向上させることで、生活の安定、安心と働く意欲がもてる環境を整えます。

取り組みの内容

- ✓ 労働環境の改善推進
労働者が安心して長く働き続け、子育てや介護などと両立しながら、十分にその力を発揮できるよう、働きやすい環境の整備を推進します。
- ✓ 企業と労働者のマッチング推進
若者や子育て世代、高齢者や外国人など多様な人々が、希望する働き方でその力を発揮することができるように、また、市内企業が求める人材を確保できるように企業と労働者のマッチングを推進します。
- ✓ 労働者のスキルアップ推進
技術・技能などの研さんや人材育成の取り組みを支援し、労働者のスキルアップと市内企業への定着、生産性の向上を推進します。



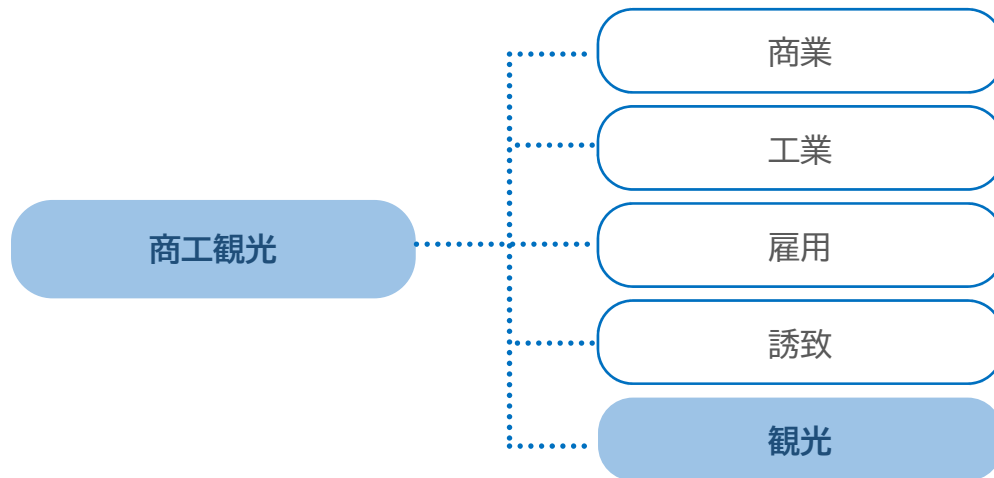
目指す姿

活力を生み出す【誘致】

- ✓ 成長性のある企業の誘致を推進し、市内経済の基盤を強化するとともに、新たに挑戦を行う企業や人を支援することで、若者や都市部の人材が求める業種の進出を促します。
- ✓ 交通インフラや地の利を強みに広域的な視点で企業活動に適した環境を整え、雇用創出や地域産業との連携を推進します。

取り組みの内容

- ✓ リニア開業に向けた誘致
リニア駅と中部総合車両基地ができるまちに、企業の本社機能や研究施設のほか、今後の中津川市のまちづくりに寄与する事業者などを誘致するため、西部テクノパークの整備やリニア関連工事後の跡地活用を推進します。
- ✓ 意欲的な起業の推進
市内の既存企業と親和性のある事業者や地域課題の解決につながる事業者など、市内の意欲的な起業を推進します。
- ✓ 道路交通網の整備
企業などの進出を推進するため、西部テクノパークなどへの交通利便性を高めるための道路整備のほか、広域的な視点による交通インフラを整備します。



目指す姿

活気を呼び込む【観光】

- ✓ 自然、歴史、文化、食などの地域の魅力に加え、リニアの開業効果を周辺地域や県内へ波及できるように、観光関連産業を活性化させ、持続可能な観光産業の発展に取り組みます。
- ✓ リニア中央新幹線のアドバンテージを最大限に活用できる交通インフラを整備し、観光施設間のアクセス性向上と観光需要の拡大を図ります。
- ✓ 市の魅力を国際的に発信し、インバウンド観光を活性化するとともに、その受入れの体制を整備します。
- ✓ 観光の産業としての発展を支援し、地域住民と観光が調和する持続可能な観光の実現を目指します。

取り組みの内容

- ✓ 持続可能な観光関連産業の推進
観光に関連するさまざまな団体の自主性と強みを生かした取り組みを推進するとともに、観光客の受入れ環境を整え、地域住民の生活環境との調和を図ることで、観光産業の発展と持続可能な観光関連産業の活性化を推進します。
- ✓ 戦略的な視点による観光の取り組みの推進
広域的な交通網を活用し、さまざまな団体と連携をすることで魅力ある観光ルートの開拓や効果的なプロモーションを実施し、戦略的な視点による観光の取り組みを推進します。

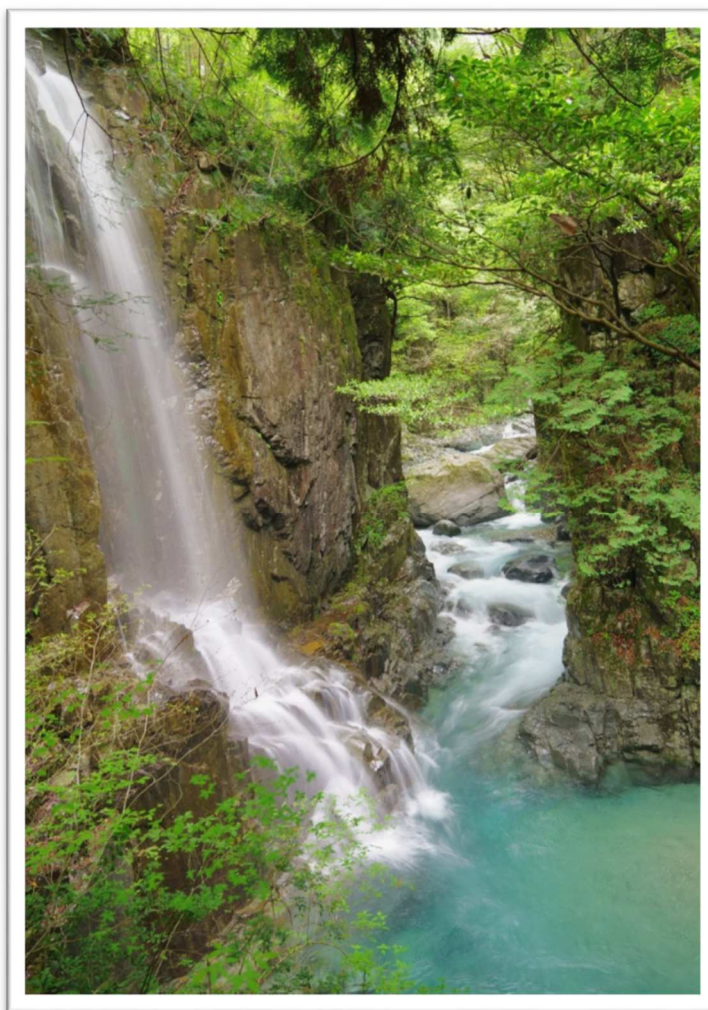
取り組みの内容

✓ 観光資源の確立

森林や清流に代表される自然や歴史・文化などのもともとある魅力と今後新たに生まれる魅力を磨き上げてプロモーションをすることで、観光資源としての確立とオフシーズンの魅力の掘り起こしを図り、訪れたい中津川市を目指します。

✓ 観光施設の拠点化と整備・検討

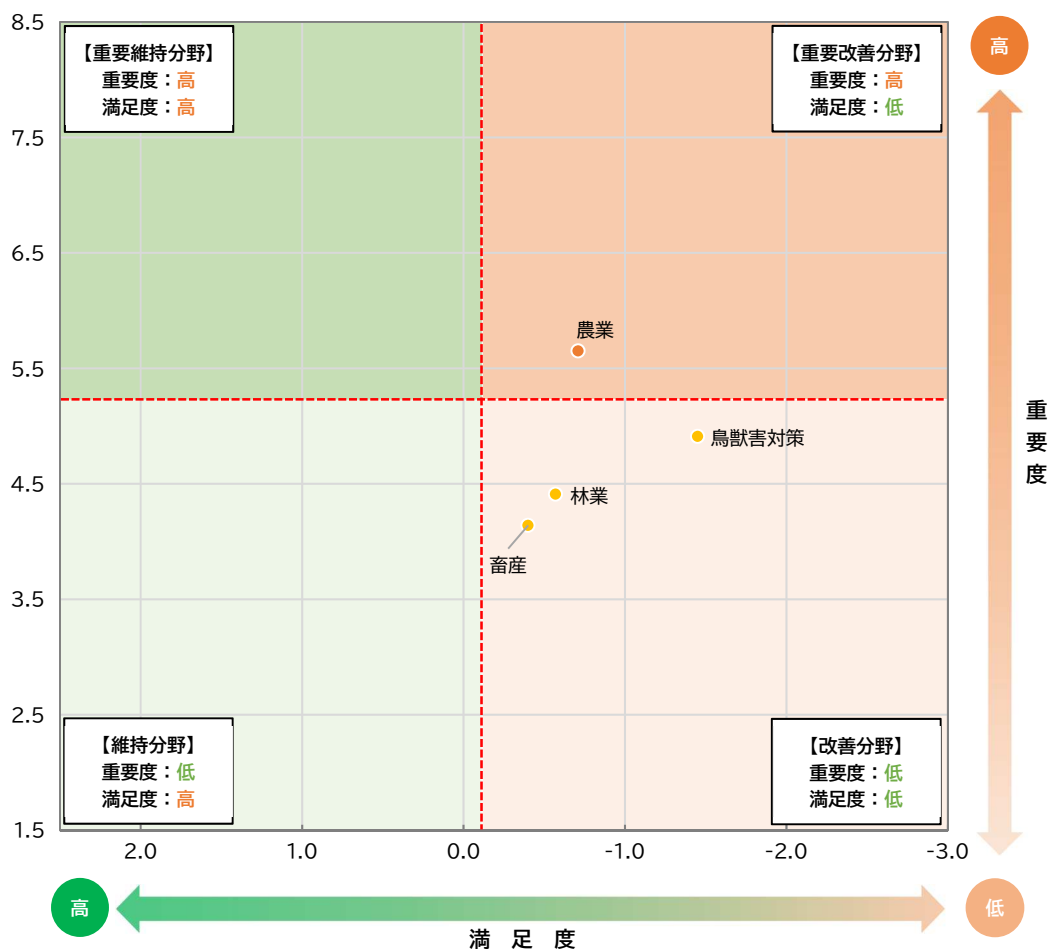
市内に多くある観光資源のうち、誘客のハブ機能を持たせることのできる観光施設を選定し、将来にわたり持続可能なものとするための検討・整備を進めます。



政策8 恵まれた資源を活用し、さまざまな産業が活発なまちづくり

特徴と課題

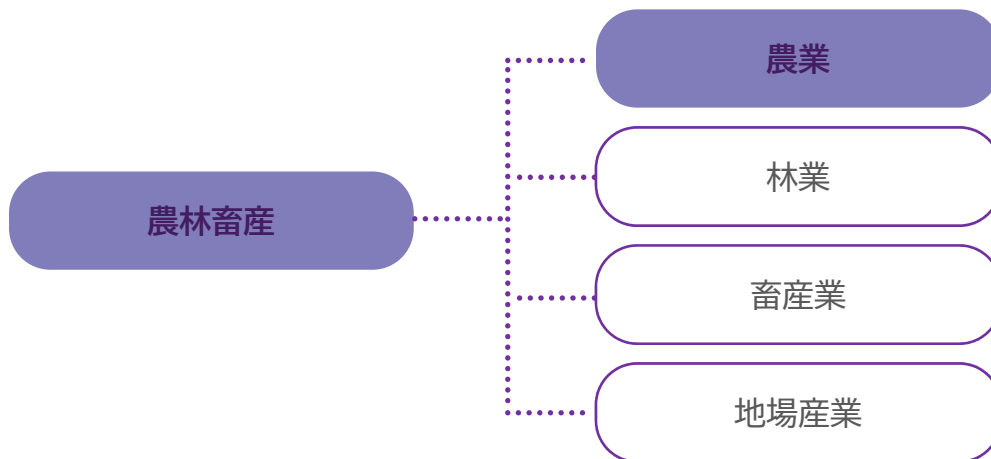
- ✓ 農林畜産業では人材不足が深刻であり、担い手の育成が必要である。
- ✓ 夏秋トマト、栗、飛騨牛などの特産物がある。
- ✓ 森林資源が豊富であると認識されている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
主要品目(米、トマト、ナス、栗)の生産量(t)	7,694	+6	7,700
市内畜産産出額(千万円)	603	±0	603
森林整備面積(ha) [※]	287	+2,150	2,437

※森林整備面積について、計画期間外である令和6～8年度の整備面積は含めない。

施策8-1 農業



目指す姿

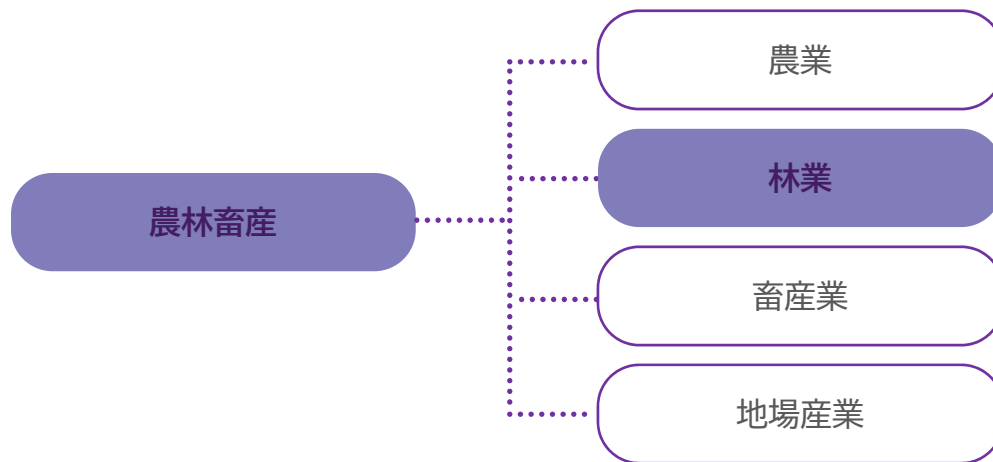
守り続ける【農業】

- ✓ 農地の集積化、担い手の育成、遊休農地の削減などに取り組むとともに、6次産業化、ブランド化、特色ある農業の活性化により付加価値を向上させ、農業収入の安定化を図ります。
- ✓ 農地の適切な保全、農業施設の維持管理、鳥獣害対策の強化、担い手の確保に取り組む、農地と生態系を持続可能な形で保つことにより、農地の持つ多面的機能を守ります。

取り組みの内容

- ✓ 地域農業を支える担い手の確保
担い手に対する支援を行うとともに、関係機関と協力し、新規就農者などの確保・育成を推進します。
- ✓ 農業経営基盤の強化
持続可能な農業を目指し、スマート農業技術の導入など、農作業の効率化を推進する取り組みや、生産物の6次産業化とブランド力の向上を図るための取り組みなどを支援します。
- ✓ 適切な農地の保全と施設管理
生産条件の悪い中山間地域の農地維持を目指し、農地の多面的機能を守る取り組みに対する支援や、増加傾向にある有害鳥獣に対する被害対策を推進します。
用水路、ため池などの農業施設を適切に維持管理します。

施策8-2 林業



目指す姿

新たな価値を広げる【林業】

- ✓ 豊かな森林資源を活用した林業の活性化を目指して、林業従事者を育成するとともに、林業施設を適切に維持管理することで計画的に森林整備を進め、持続可能な林業につなげます。
- ✓ 木材利用の拡大や安定供給体制の強化により、木材関連産業の成長を支援します。
- ✓ 森林資源の多面的機能を最大限に活用することで、環境保全と経済活動の両立に向けて、多角的な取り組みを実施します。

取り組みの内容

- ✓ 林業を支える担い手の確保と育成
木育を通じて林業を体験する機会を創出するとともに、林業従事者を目指す学生や新規林業就業者、林業労働者への支援を行い林業労働力の確保と育成を図ります。

取り組みの内容

✓ 森林の適切な管理

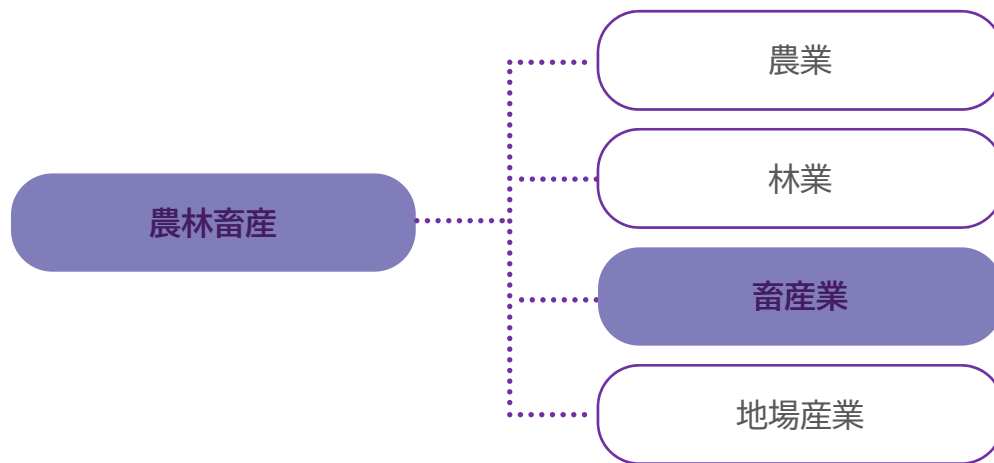
森林環境譲与税を活用して個人で管理ができない人工林を整備するなど、山地災害の防止をはじめとする森林の多面的機能が発揮されるよう森林を管理します。

✓ 持続的な林業・木材産業の振興

東濃桜のPR、市産材の利用拡大により、木材産業を振興するとともに、カーボנקレジットの取り組みなどを推進することで森林に対する関心を高め、持続可能な林業の確立や次代を担う子どもたちへ、木材産業を引き継いでいける仕組みをつくります。



施策8-3 畜産業



目指す姿

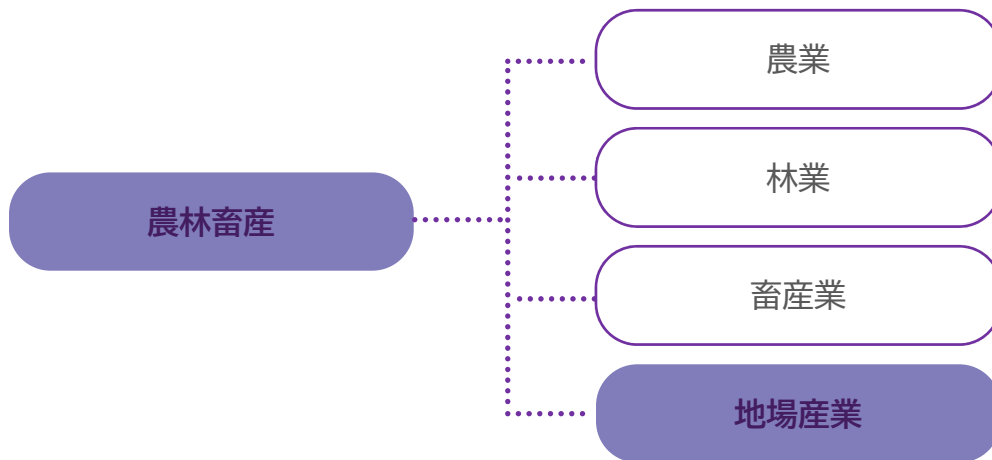
安定して広がる【畜産業】

- ✓ 後継者の育成や自給飼料の活用、地域農業との連携などにより安定した経営基盤の構築を推進し、持続可能な畜産生産体制を確立します。
- ✓ 地域の畜産物のブランド価値を高め、稼ぐ力を向上させるとともに、需要拡大を図ります。

取り組みの内容

- ✓ 畜産業を支える担い手の確保
飛騨牛の県内有数の産地として、関係機関と連携・協力し、新規就農者の確保や、後継者の育成を推進します。
- ✓ 畜産経営基盤の強化
畜産の主産地として、経営規模の拡大や生産コストの低減を目指す取り組みなどを支援するとともに、獣医師の確保を進めます。
- ✓ 飛騨牛のブランド力向上
飛騨牛のブランド力の向上を図るため、優良な雌牛の確保を推進するとともに、生産団体などへの支援を実施します。

施策8-4 地場産業



目指す姿

未来につなぐ【地場産業】

- ✓ 市内で生産される木材や農畜産物、工芸品や食品などのさまざまな地場産業の高付加価値化やブランド化を進め、稼ぐ力を高めることで未来につなぎます。
- ✓ 後継者の育成・確保により将来にわたって地場産業を持続させることで、地域全体の資源と活力を守ります。

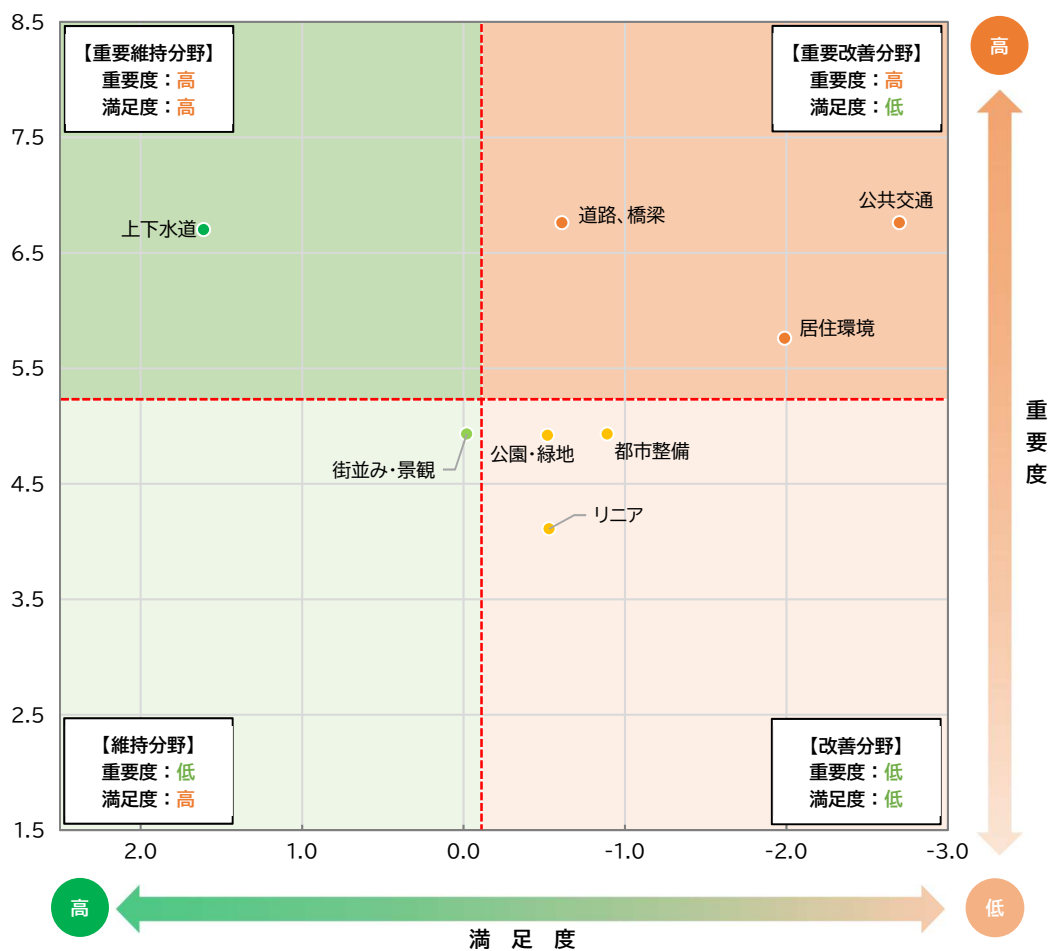
取り組みの内容



- ✓ 地場産業を支える人材の確保と育成
若者と企業の交流の推進や、企業と学校、行政の連携による地場産業を知る機会の確保などにより、地場産業を支える人材の確保と育成を推進します。
- ✓ 地場産業の振興
地場産業の効果的なプロモーションや販路拡大を促進するとともに、高付加価値化、ブランド化を支援することで、持続可能な地場産業の確立を目指します。

政策9 計画的に整備されたまちの中で、快適に暮らせるまちづくり

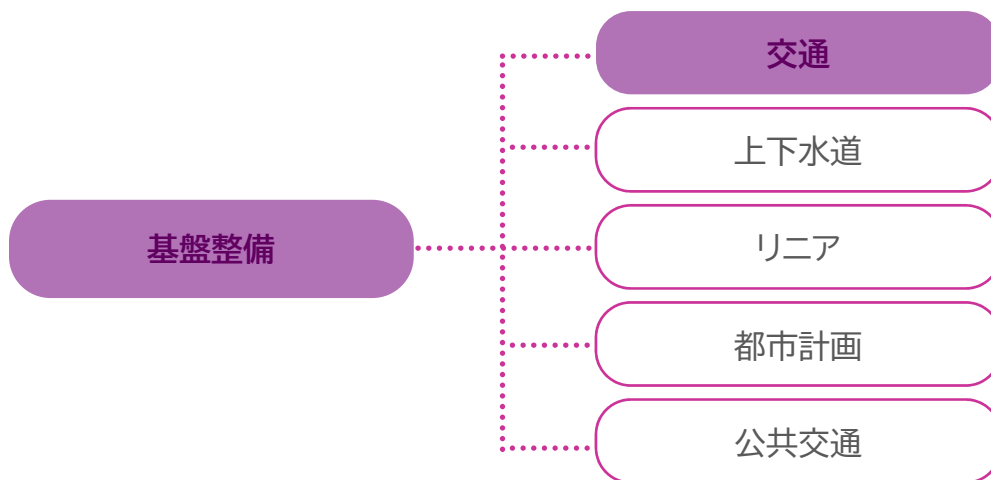
特徴と課題

- ✓ 道路網などのインフラの老朽化が進行している。
- ✓ 公共交通の重点的な改善が求められている。
- ✓ リニア中央新幹線整備による市の発展のポテンシャルが強みと捉えられている。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
社会基盤の整備・維持管理への満足度 (道路、橋りょうの整備・維持管理、上下水道の整備・維持管理)	0.50	+0.58 	1.08
リニアを生かした基盤整備への満足度	-0.53	+0.68 	0.15
都市整備・公共交通・居住環境への満足度 (良好な街並み・景観の整備、計画的な都市整備の推進、公園・緑地の整備・維持管理、公共交通機関の整備・充実、居住環境の整備)	-1.22	+0.73 	-0.49





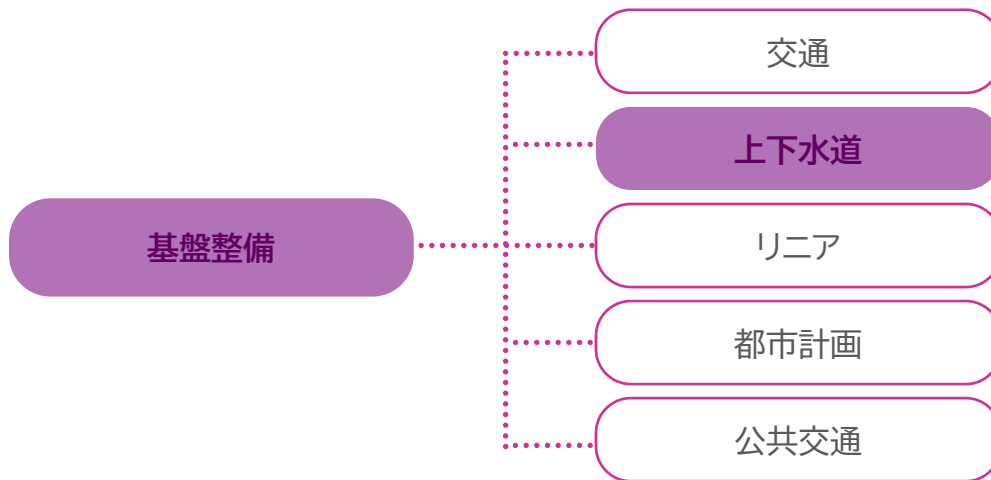
目指す姿

利便性の高い【交通】

- ✓ 道路や橋りょうの整備・維持管理を適正に行い、地域内外を円滑に結ぶ交通インフラの充実により地域経済の活性化を図ります。
- ✓ 市内の交通の利便性を高め、安全で安心な交通インフラを整えることで、通勤や通学の時間短縮、医療機関や商業施設へのアクセス性を向上させ、市民の日常生活の質を向上させます。

取り組みの内容

- ✓ 道路・橋りょう・河川などの適切な管理
優先順位をつけて、計画的に道路・河川などの構造物の点検を進めます。
- ✓ 道路インフラの整備・維持管理
利便性の高い道路整備を進めるとともに、計画的に道路の舗装補修を実施します。



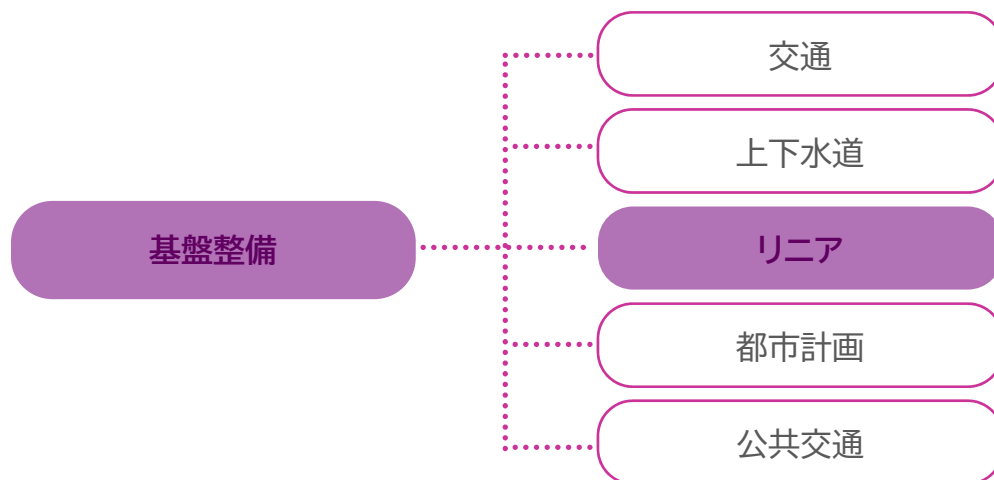
目指す姿

安心して使える【上下水道】

- ✓ 上下水道の整備、適切な維持管理を行い、地域の水環境を守ること、持続可能で衛生的かつ快適な暮らしを支えます。
- ✓ 健全で効率的な上下水道事業の経営により、将来にわたって安定した水道水供給と汚水処理を実現します。

取り組みの内容

- ✓ 安全で安心な水道水の安定供給
計画的な耐震化と効果的な漏水対策を推進するとともに、適正な水道料金の検討、施設の統廃合や広域化の検討を実施し、安全で安心な水道水を提供します。
- ✓ 下水道事業の効率的な経営
適切な施設維持管理、適正な下水道使用料の検討、施設統合や広域化と官民連携などによる効果的な経営の調査、研究を積極的に進め、健全で効率的な事業経営を継続します。



目指す姿

にぎわいを生み出す【リニア】

- ✓ リニア中央新幹線の開業に向けて、リニア駅周辺の発展を促進し、広域交通の結節点としての機能を強化します。
- ✓ リニア駅周辺を「岐阜らしさ」「中津川らしさ」が感じられるエリアとするとともに、リニア駅周辺のにぎわいを創出し、にぎわいと住環境との調和のとれた魅力的なエリアとすることを目指します。
- ✓ 多くの工事が集中する工事期間中において、安全・安心な市民生活を確保します。

取り組みの内容

- ✓ リニア岐阜県駅周辺の整備
土地区画整理事業により、必要な道路、駅前広場等の整備と宅地の利用増進を図り、広域交通の結節点として利便性が高く、人々が集い、にぎわいが感じられるリニア駅周辺整備を行います。
- ✓ 安全・安心なリニア関連工事の推進
多くの工事が集中するなかで、関係する事業者との調整により、工事による市民生活への影響低減を図るとともに、一元的に管理した工事情報を市民にわかりやすく発信します。

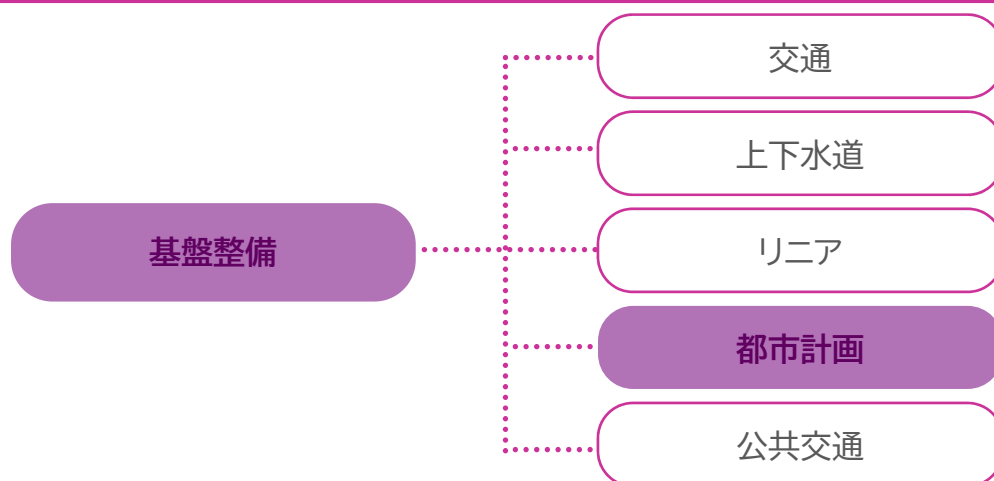
取り組みの内容

✓ 広域道路網の整備

リニア駅を核とした道路ネットワークを充実させるため、都市間連絡道路や濃飛横断自動車道関連道路を整備します。



提供：J R東海



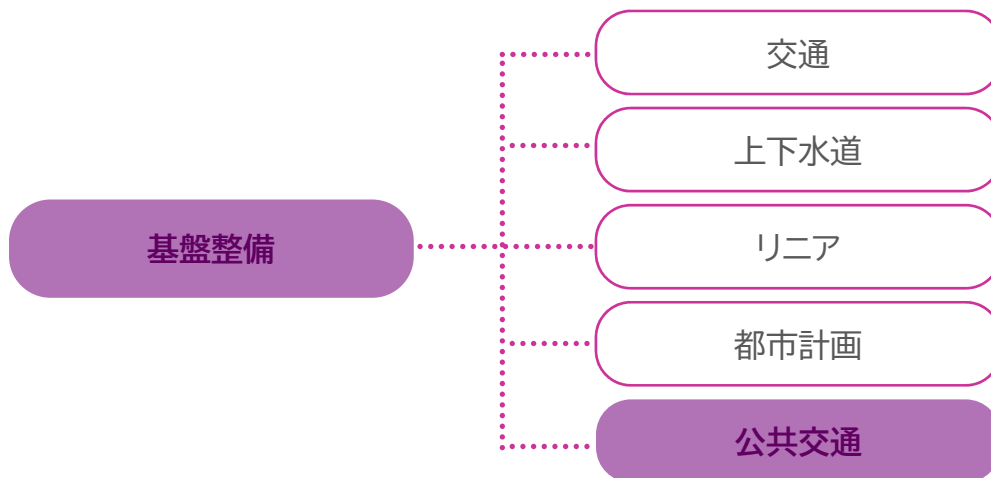
目指す姿

快適に生活できる【都市計画】

- ✓ 良好な街並みと景観を整備し、官民で連携して地域の歴史と文化などの特性に応じた活気のあるまちづくりを行います。
- ✓ 開発と保全の調和した秩序ある土地利用を実施することで、将来にわたって持続可能な規模のまちを形成します。
- ✓ 市民が安らげる公園や緑地を適切に管理、整備するとともに、居住環境の整備や空き家対策を促進し、市民、若者、移住者が住みたくなる環境を整えます。

取り組みの内容

- ✓ 中津川らしさを感じさせる街並みの整備
空き家や空き店舗の活用、公共空間の利活用、まちづくり人材の育成などにより、中津川らしさを感じることができる良好な街並みと景観を整備します。
- ✓ 土地の適正な管理と利用
地籍を調査し、土地の適切な把握を推進するとともに、将来にわたって暮らしやすいまちを形成するための土地利用の検討を進めることで、土地の適正な管理と利用を推進します。
- ✓ 公園などの適正な整備と管理
公園などの施設を適切に整備・管理することで、子育てや健康、防災などのさまざまな市民のニーズに応えます。
- ✓ 居住環境の整備
秩序ある宅地開発の推進や適切な公営住宅の維持・管理・改善などにより、市民の希望に沿った誰もが住みやすい良好な居住環境の整備を推進します。



目指す姿

快適につながる【公共交通】

- ✓ 公共交通の整備と充実を図り、人材の確保なども含めた持続可能な環境を実現することで、すべての人が利用しやすい交通網を構築し、快適に住み続けられる環境を整備します。
- ✓ 広域交通網、市内の交通網と地域内の拠点をつなげることで、市内外の交流と往来を活発にします。

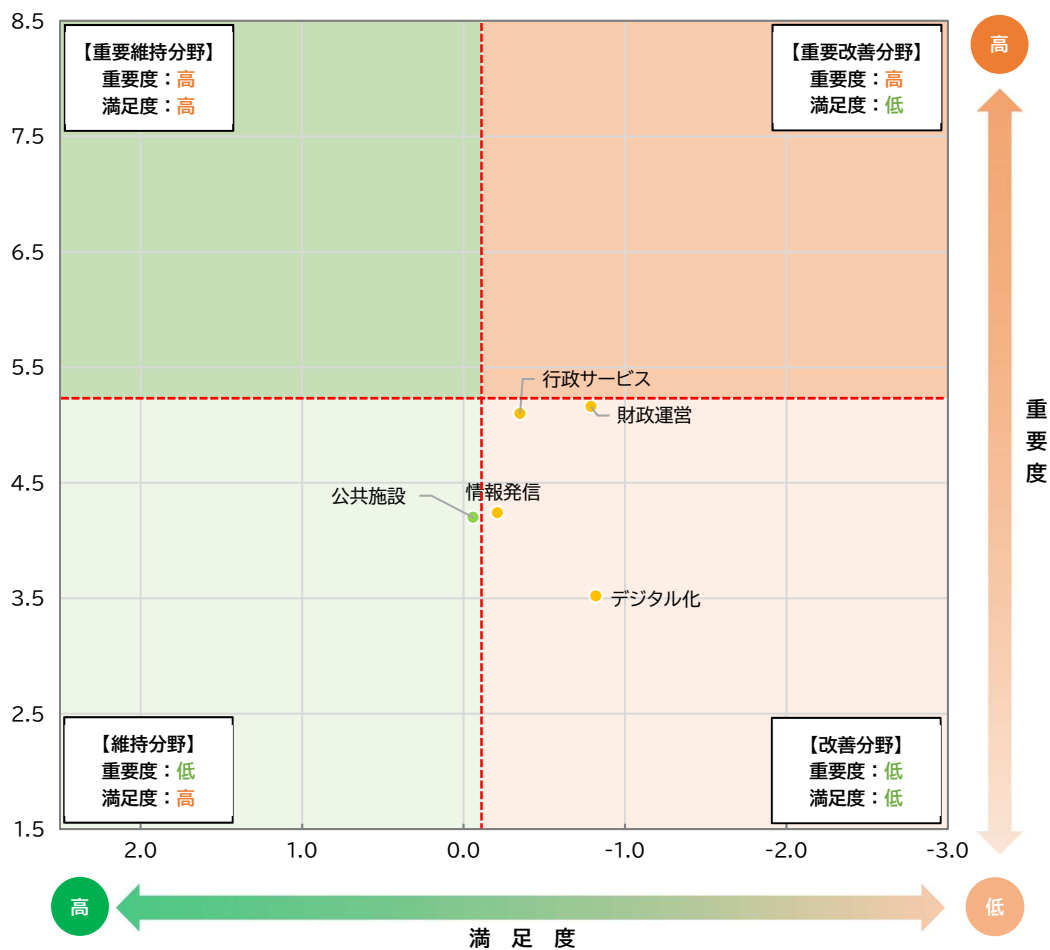
取り組みの内容

- ✓ 公共交通網の維持
市民や交通事業者と連携してより身近で利用しやすい移動手段として、公共交通の利用を促進し、公共交通網の維持を図ります。
- ✓ 広域交通網と市内ネットワークの整備推進
地域の特性に合った新たなモビリティサービスを検討し、各地域の拠点を結ぶ2次交通や拠点内を結ぶ3次交通の整備を推進します。

政策１０ 持続可能で安定した行政サービスが受けられるまちづくり

特徴と課題

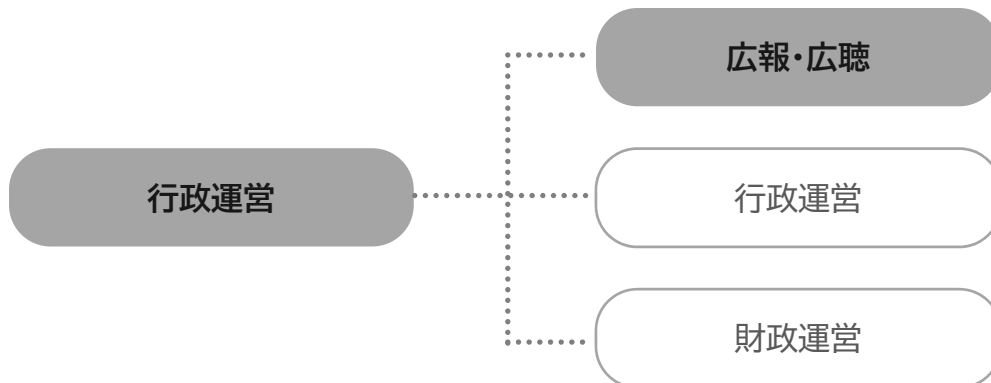
- ✓ 行政運営に関して、新規分野への取り組みが停滞しており、市が目指すビジョンが伝わっていないといった意見があり、これを払しょくする必要がある。
- ✓ 市が行っている取り組みの認知度が低く、周知不足を解決する必要がある。
- ✓ 現行総合計画の施策の実施状況は、概ね順調である。



数値目標			
指標名	現状値	目標	将来値
情報の発信への満足度	-0.21	+0.70	0.49
行政サービスの向上・適正化への満足度	-0.35	+0.70	0.35
自主財源比率(%)※	42.3	+0.70	43.0

※自主財源比率：歳入総額に対する自主財源（中津川市が自ら決定し、自主的に収入できる財源）の割合を示す指標

施策10-1 広報・広聴



目指す姿

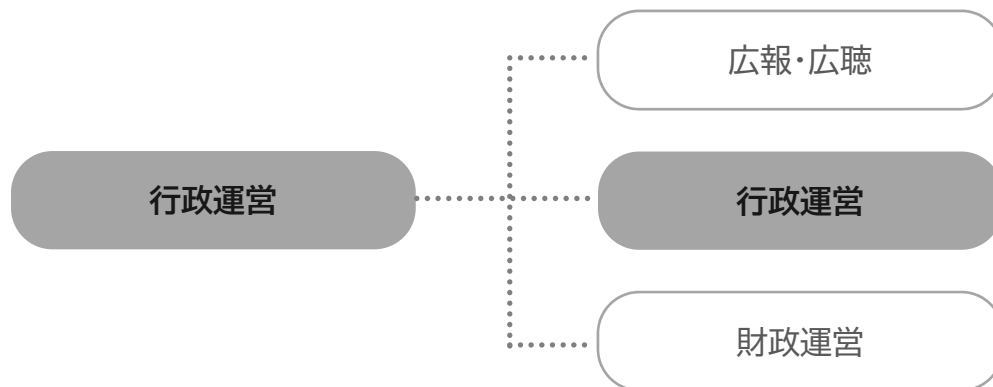
聴き、届ける【広報・広聴】

- ✓ 市民が知りたい情報、行政が市民に伝えたい情報をわかりやすくタイムリーに提供します。
- ✓ 市民参加型の行政運営を推進し、市民の声を施策に反映するための体制を整え、自らの声が地域づくりに生かされていることを市民が実感できる環境を整えます。
- ✓ 市内外に中津川市の魅力を発信し、市政への関心を高め、市への愛着を醸成します。

取り組みの内容

- ✓ 市の情報発信の充実
広報紙、ホームページ、SNS、メールなど、さまざまな広報媒体を活用し、わかりやすく、時機をとらえた情報発信を進めます。
また、効果的な情報発信を持続的に行うため、各広報媒体を随時見直し、発信環境の更新、最適化を図ります。
- ✓ 意見の聴取と施策への反映
市民の声を聴く仕組みを設け、いただいた意見などとそれに対する市の考えや対応を公表するなど、「見える化」を進めます。

施策10-2 行政運営



目指す姿

希望に応える【行政運営】

- ✓ 公共施設を適正な規模で計画的に配置し維持管理することで、市民が安心して便利に利用できる環境を整えます。
- ✓ 広域的な連携による公共サービスや施設整備を進め、効率的、効果的な行政運営を目指します。
- ✓ DXの推進により行政サービスの質を向上させ、多様化する市民ニーズに迅速かつ適切に対応します。
- ✓ 自ら施策や事業を見直し、絶えず改善を行うことで、真に市民が求める行政サービスを提供します。

取り組みの内容

- ✓ メモリアル施設・広域ごみ処理施設の整備
メモリアル施設、広域ごみ処理施設などの市民生活に必要な不可欠な施設を整備します。
- ✓ 公共施設の整備検討
市役所本庁舎、消防署、市民病院などの老朽化が進む施設の整備を検討します。
- ✓ マスタープランの推進
施設ごとに定めた方針に基づき、用途廃止や民間移譲などを進め、施設の維持更新費用の縮減を図ります。

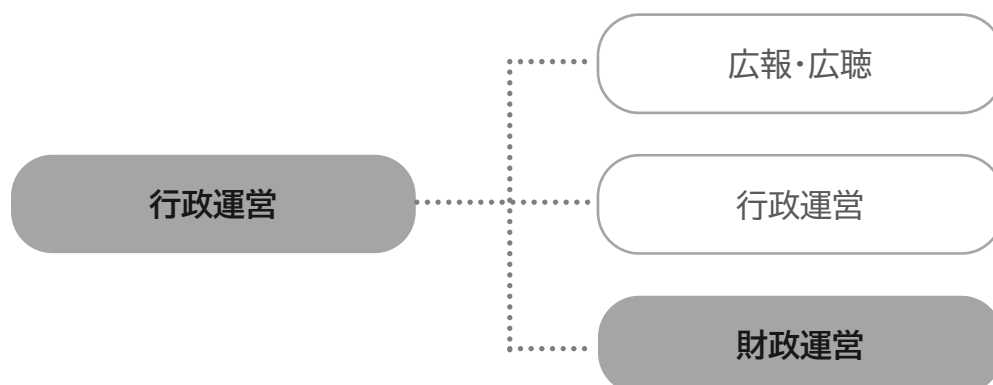
取り組みの内容

✓ 行政運営の効率化・適正化

職員の能力向上、職員が能力を発揮できる適正な配置や市民目線に立った行政サービス、業務プロセスの改革、施策の改善に向けた検証などを行い、行政運営の効率化・適正化を推進します。



施策10-3 財政運営



目指す姿

安定して持続させる【財政運営】

- ✓ 安定した行政サービスを行うため、自主財源の確保に努めるとともに、国・県等の補助金の積極的な活用などにより、効率的・効果的な財政運営を継続します。

取り組みの内容

- ✓ 自主財源の確保
公正・公平な市民負担、市有財産の有効活用、ふるさとづくり寄附金の効果的な募集などにより、自主財源の確保に努めます。

第4章 計画推進のために

4-1 計画の評価・検証

計画を着実に推進するためには、指標によって進捗を測るとともに、取り組みの方向性や効果などについて評価・検証が必要です。市民の意見や専門的知見、第三者の客観的な視点を取り入れることで、事業の有効性や効率性を検証し、その評価・検証の結果を広く公表することで透明性の向上を図ります。

4-2 絶え間ない事業の改善

計画の評価・検証の結果とともに、各施策に基づく事業が、施策に掲げる数値目標の達成に寄与しているかを自ら確認し、目標の達成を目指します。施策の実施状況に応じて適切な事業の新設・改善・拡大・縮小・廃止を行い、将来都市像の達成に向けて絶え間ない事業の改善を実施することで、効果的に計画を推進します。

4-3 新しい時代の流れの活用

AI・DXに代表されるデジタル化の進展やSDGsの理念など、新しい時代の流れにより急速に変化していく社会の中で、その変化を積極的に取り入れて活用します。新しい技術や考え方を柔軟に取り入れることで、社会変化に対応し、多様化する市民のニーズに対応するとともに、持続可能な行政運営を目指します。

4-4 さまざまな連携

複雑化・多様化する地域課題に対して、市内部における分野を横断した連携とともに、市内外の多様な主体との連携により取り組みます。市民・NPO・企業との協働により、地域の知恵と力により取り組みを推進し、近隣自治体や広域での連携により、行政サービスの効率化と充実を図ります。また、教育機関などとの連携を通じて政策の質を高めるとともに、国や県との協力関係を深め、効果的な事業展開を目指します。市の内部、外部を問わず、さまざまな主体がそれぞれの強みを生かし、つながりによる相乗効果を生み出すことで、計画を推進し、将来都市像を実現します。

<発行> 中津川市役所 電話：0573-66-1111

<編集> 市長公室 政策課